

デジタルカメラ
ZV-1F

お使いのカメラの本体ソフトウェアがVer.1.10以降の場合、スマートフォン用アプリケーションはCreators' Appをお使いください。Imaging Edge Mobile Plusは使えません。

Creators' Appについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sony.net/ca/>

ヘルプガイドのおすすめページ

MENU一覧から機能を探す

カメラのメニュー項目の一覧を確認できます。メニュー項目名から説明ページに移動することもできます。

Bluetoothリモコン

Bluetooth対応のリモコン（別売）やグリップ（別売）を使ってカメラを操作できます。

記録方式（動画）

動画を記録するときの記録方式を設定します。

スロー&クイック設定

肉眼では捉えられない一瞬を記録したり（スローモーション撮影）、長時間の現象を短い時間に短縮して記録したり（クイックモーション撮影）します。

よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）

よく使う機能をお好みのボタンに割り当てることができます。

サポート情報

撮影のコツなど役立つ情報を調べる

便利な機能・使いかたや設定例などを紹介しているWebサイトです。カメラを設定するときの参考にしてください。

ZV-1F : サポート情報

カメラ本体の基本情報やアクセサリーの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。

[ヘルプガイドの使いかた](#)

はじめに

[本体と付属品を確認する](#)

[使用できるメモリーカード](#)

必ずお読みください

[使用上のご注意](#)

[バッテリー/充電についてのご注意](#)

[メモリーカードについてのご注意](#)

[お手入れについて](#)

各部の名称

[各部の名称](#)

[画面上の基本的なアイコン](#)

本機の基本操作

[タッチパネルの操作](#)

[コントロールホイールを使う](#)

[静止画/動画/S&Q切替ボタンを使う](#)

[メニューを使う](#)

[ファンクションメニューを使う](#)

[C \(カスタム\) ボタンを使う](#)

[DISP \(画面表示切替\) ボタンを使う](#)

[削除ボタンを使う](#)

[キーボード画面を使う](#)

[カメラ内ガイド](#)

準備/基本的な撮影

充電する

[バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)

[市販のACアダプターやモバイルバッテリーでバッテリーを充電する](#)

[海外でバッテリーチャージャーを使う](#)

[外部電源でカメラを使う](#)

[メモリーカードをカメラに入れる/取り出す](#)

[カメラの初期設定を行う](#)

基本的な撮影

[撮影前に確認すること](#)

[動画を撮影する（おまかせオート）](#)

[静止画を撮影する（おまかせオート）](#)

[MENU一覧から機能を探す](#)

撮影機能を活用する

[この章の目次](#)

撮影モードを選ぶ

[撮影モード（動画）](#)

[撮影モード（スロー&クイックモーション）](#)

[撮影モード（静止画）](#)

[撮影モード（静止画）：おまかせオート](#)

[撮影モード（静止画）：プログラムオート](#)

[撮影モード（静止画）：絞り優先](#)

[撮影モード（静止画）：シャッタースピード優先](#)

[撮影モード（静止画）：マニュアル露出](#)

[オートスローシャッター](#)

自分撮り動画やVlog撮影に便利な機能

[商品レビュー用設定](#)

[背景のボケ切替](#)

[セルフタイマー（動画）](#)

フォーカス（ピント）を合わせる

[ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)

[ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)

[被写体を追尾する（トラッキング）](#)

[マニュアルフォーカス（フォーカス設定）](#)

被写体認識AF

[人の瞳にピントを合わせる](#)

[AF時の被写体認識（静止画/動画）](#)

[認識対象（静止画/動画）](#)

[右目/左目選択](#)

[被写体認識枠表示（静止画/動画）](#)

[個人顔登録](#)

[登録顔優先（静止画/動画）](#)

フォーカス機能を使う

[フォーカススタンダード](#)

[AF/MF切換](#)

[プリAF](#)

[MF時自動ピント拡大（静止画/動画）](#)

[ピント拡大](#)

[ピント拡大時間（静止画/動画）](#)

[ピント拡大初期倍率（動画）](#)

[ピント拡大初期倍率（静止画）](#)

[ピーキング表示](#)

露出/測光を調整する

[露出補正（静止画/動画）](#)

[ヒストグラムについて](#)

[Dレンジオブティマイザー（静止画/動画）](#)

[測光モード（静止画/動画）](#)

[マルチ測光時顔優先（静止画/動画）](#)

[AEロック](#)

[ゼブラ表示](#)

ISO感度を選ぶ

[ISO感度（静止画/動画）](#)

ホワイトバランス

[ホワイトバランス（静止画/動画）](#)

[基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する（カスタムホワイトバランス）](#)

[AWB時の優先設定（静止画/動画）](#)

画像に効果を加える

[クリエイティブルック（静止画/動画）](#)

[ピクチャープロフィール（静止画/動画）](#)

[美肌効果（静止画/動画）](#)

ドライブ機能を使う（連写/セルフタイマー）

[ドライブモード](#)

[連続撮影](#)

[速度優先連写](#)

[セルフタイマー（1枚）](#)

[セルフタイマー（動画）](#)

[インターバル撮影機能](#)

画質や記録形式を設定する

[JPEG画質](#)

[JPEG画像サイズ](#)

[アスペクト比](#)

[色空間](#)

[記録方式（動画）](#)

[動画設定（動画）](#)

[スロー&クイック設定](#)

[プロキシー設定](#)

タッチ機能を使う

[タッチ操作](#)

[アイコンタッチ機能](#)

[上方向にスワイプ](#)

[撮影時のタッチ機能](#)

[タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）](#)

[タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）](#)

[タッチ操作で撮影する（タッチシャッター）](#)

シャッターの設定

[サイレントモード \(静止画/動画\)](#)

[カードなしリリース](#)

ズームする

[本機で使用できるズームの種類](#)

[ズームする](#)

[ズーム範囲 \(静止画/動画\)](#)

[ズームスピード](#)

[ステップズーム倍率 \(静止画/動画\)](#)

[ズーム倍率について](#)

手ブレを補正する

[手ブレ補正 \(動画\)](#)

ノイズリダクション

[高感度ノイズ低減](#)

撮影中の画面表示を設定する

[オートレビュー \(静止画\)](#)

[グリッドライン表示 \(静止画/動画\)](#)

[グリッドラインの種類 \(静止画/動画\)](#)

[ライブビュー表示](#)

[ブライต์モニタリング](#)

[記録中の強調表示](#)

[マーカー表示](#)

[ガンマ表示アシスト](#)

[ガンマ表示アシスト方式](#)

動画の音声を記録する

[音声記録](#)

[録音レベル](#)

[風音低減](#)

[音声レベル表示](#)

[画像と音声をライブ配信する（USBストリーミング）](#)

カメラをカスタマイズする

[この章の目次](#)

[よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）（静止画/動画）](#)

よく使う機能をファンクションメニューに登録する

- └ [Fnメニュー設定](#)

よく使う機能をマイメニュータブに登録する

- └ [項目の追加](#)
- └ [項目の並べ替え](#)
- └ [項目の削除](#)
- └ [ページの削除](#)
- └ [全て削除](#)
- └ [マイメニューから表示](#)

シャッターボタンで動画を撮影する

- └ [シャッターボタンでREC（動画）](#)

モニターの表示を設定する

- └ [モニター反転表示](#)
- └ [DISP\(画面表示\)設定](#)

再生する

[この章の目次](#)

画像を見る

- └ [静止画を再生する](#)
- └ [再生画像を拡大する（拡大）](#)
- └ [拡大の初期倍率](#)
- └ [拡大の初期位置](#)
- └ [記録画像を自動的に回転させる（記録画像の回転表示）](#)
- └ [動画を再生する](#)
- └ [音量設定](#)
- └ [スライドショーで再生する（スライドショー）](#)

[インターバル連続再生](#)

[インターバル再生速度](#)

画像の表示方法を変える

[一覧表示で再生する \(一覧表示\)](#)

[静止画と動画を切り換える \(ビューモード\)](#)

[グループ表示](#)

[日時指定で画像表示](#)

撮影した画像を保護する (プロテクト)

画像に情報を追加する

[レーティング](#)

[レーティング カスタムキー設定](#)

[画像を回転する \(回転\)](#)

動画から静止画を切り出す

[動画から静止画作成](#)

画像を削除する

[不要な画像を選んで削除する \(削除\)](#)

[2度押しで削除](#)

[削除確認画面](#)

テレビと接続して画像を見る

[HDMIケーブルを使ってテレビで見る](#)

カメラの設定を変更する

メモリーカードの設定

[フォーマット](#)

[管理ファイル修復 \(静止画/動画\)](#)

[メディア残量表示 \(静止画/動画\)](#)

ファイルの設定

[ファイル/フォルダー設定](#)

[記録フォルダー選択](#)

[フォルダー新規作成](#)

[ファイル設定](#)

[シリアル番号書き込み（静止画/動画）](#)

ネットワークの設定

[Wi-Fi情報表示](#)

[SSID・PWリセット](#)

[Bluetooth設定](#)

[Bluetoothリモコン](#)

[機内モード](#)

[機器名称変更](#)

[ネットワーク設定リセット](#)

モニターの設定

[モニター明るさ](#)

電力設定

[モニター自動OFF（静止画）](#)

[パワーセーブ開始時間](#)

[モニター収納時の機能](#)

[自動電源OFF温度](#)

USB設定

[USB接続モード](#)

[USB LUN設定](#)

[USB給電](#)

外部出力設定

[HDMI解像度](#)

[HDMI出力設定（動画）](#)

[HDMI情報表示](#)

[HDMI機器制御](#)

一般設定

[エリア/日時設定](#)

[電子音\(撮影\)](#)

[電子音\(起動/終了\)](#)

[録画ランプ](#)

[バージョン](#)

[プライバシー通知](#)

[認証マーク表示](#)

[設定リセット](#)

スマートフォンでできること

[スマートフォンでできること \(Creators' App\)](#)

[カメラとスマートフォンをペアリングする \(スマートフォン接続\)](#)

スマートフォンをリモコンとして使う

[スマートフォンをリモコンとして使う](#)

[リモート撮影設定](#)

スマートフォンに画像を転送する

[カメラで選んで転送 \(スマートフォン転送\)](#)

[転送状態リセット \(スマートフォン転送\)](#)

カメラの電源OFF中に接続する

[電源OFF中の接続 \(スマートフォン\)](#)

[スマートフォンから位置情報を取得する](#)

パソコンでできること

[パソコンの推奨環境](#)

カメラとパソコンを接続/切断する

[カメラとパソコンを接続する](#)

[パソコンからカメラを取りはずす](#)

パソコンで画像を管理・編集する

[パソコン用ソフトウェアの紹介 \(Imaging Edge Desktop/Catalyst\)](#)

[パソコンに画像を取り込む](#)

パソコンからカメラを操作する

[パソコンからカメラを操作する](#)

[リモート撮影設定](#)

[画像と音声をライブ配信する \(USBストリーミング\)](#)

資料

[バッテリーの使用時間と撮影可能枚数](#)

[静止画の記録可能枚数](#)

[動画の記録可能時間](#)

[モニターに表示されるアイコン一覧](#)

[主な仕様](#)

[商標について](#)

[ライセンスについて](#)

故障かな?と思ったら

[困ったときにすること](#)

[自己診断表示](#)

[警告表示](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ヘルプガイドの使いかた



このヘルプガイドは、本機の機能や使いかたなどを説明している「Web 取扱説明書」です。ヘルプガイドで知りたい情報を探して、本機をご活用ください。



(このページのヘルプガイドの画面はイメージです。お使いの機種種のヘルプガイドと異なる場合があります。)



ヒント

- 本機に付属のスタートガイドには、基本的な使いかた、および本機を使う際の注意点を記載しています。あわせてご覧ください。

ヘルプガイド内で使用するアイコンについて

  S&Q : 静止画撮影モードのときに表示されるメニュー項目

  S&Q : 動画撮影モード/スロー&クイックモーション撮影モードのときに表示されるメニュー項目

  S&Q : 静止画撮影モード/動画撮影モード/スロー&クイックモーション撮影モードのいずれでも表示されるメニュー項目

各撮影モードについて詳しくは「[メニューを使う](#)」をご覧ください。

知りたい情報を探す

方法 (A) : 検索する

検索キーワード（「ホワイトバランス」「フォーカスエリア」など）を入力して、検索結果から見たい説明ページを表示します。複数のキーワードをスペース（空白）で区切って入力すると、入力したすべてのキーワードを含むページを検索することができます。

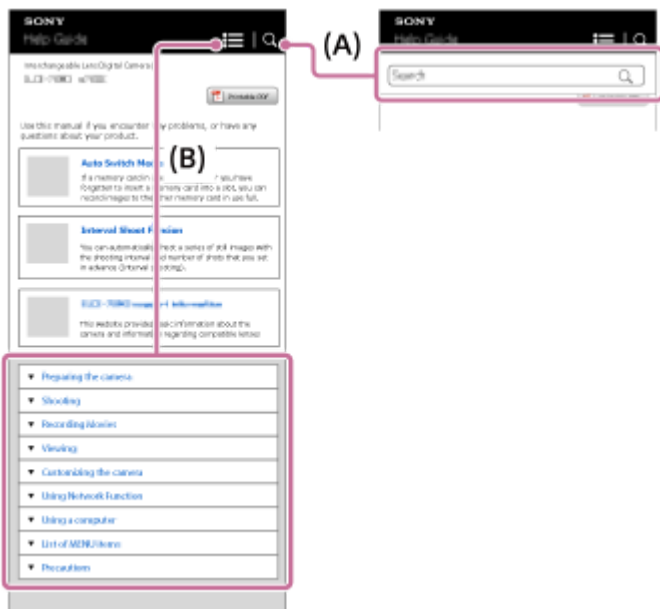
方法 (B) : 目次を見る

目次から見出しを選んで説明ページを表示します。

パソコンでの表示

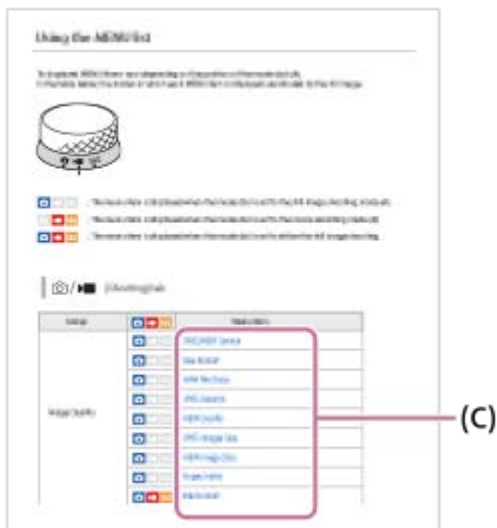


スマートフォンでの表示



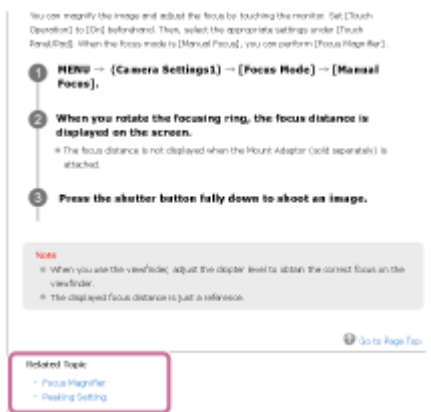
方法 (C) : メニューの一覧表から探す

カメラのメニュー画面と照らし合わせながら情報を探したいときは、「[MENU一覧から機能を探す](#)」ページを使うと便利です。一覧からメニュー項目名を選ぶと、その説明ページに直接移動することができます。



関連する機能の情報を見る

ページ下部の「関連項目」は、表示中の説明の関連情報が記載されているページです。あわせてご覧いただくと、より理解が深まります。



ヘルプガイド全ページを印刷する

トップページ右上の [印刷用PDF] ボタンから全ページを印刷できます。PDF 形式のファイルが表示されたら、ブラウザの印刷メニューで印刷してください。



表示中のページだけを印刷する（パソコンのみ）

ページ上部の [印刷] ボタンから表示中のページを印刷できます。印刷画面が表示されたら、プリンターを指定して印刷してください。



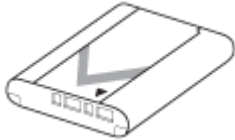
デジタルカメラ
ZV-1F

本体と付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

() 内の数字は個数です。

- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリーパックNP-BX1 (1)



- USB Type-Cケーブル (1)



- ウィンドスクリーン (1) (ウィンドスクリーンアダプターに装着)



- ウィンドスクリーンアダプター (1)
- レンズキャップ (1) (本機に装着)



- スタートガイド (1)
- 保証書 (1)

デジタルカメラ
ZV-1F

使用できるメモリーカード

本機はSDメモリーカードとメモリースティックに対応しています。

microSDメモリーカード、メモリースティックマイクロを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

使用可能なメモリーカードについての最新情報は、以下のページをご確認ください。

SDカード対応表

<https://www.sony.jp/rec-media/sd/compatibility/>

メモリースティック対応表

<https://www.sony.jp/rec-media/memorystick/compatibility/>

静止画撮影時

以下のメモリーカードを使用できます。

- SD、SDHC、SDXCカード
- メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック PRO-HG デュオ

動画撮影時

記録方式と対応メモリーカードは以下の通りです。

なお、[XAVC S 4K] では、スロー&クイックモーション撮影はできません。

記録方式	対応メモリーカード
XAVC S 4K 60Mbps*	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC、SDXCカード (Class10またはU1以上) ● メモリースティック PRO-HG デュオ
XAVC S HD 50Mbps以下*	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC、SDXCカード (Class10またはU1以上) ● メモリースティック PRO-HG デュオ
XAVC S HD 60Mbps	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC、SDXCカード (Class10またはU1以上) ● メモリースティック PRO-HG デュオ
XAVC S 4K 100Mbps*	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC、SDXCカード (U3)
XAVC S HD 100Mbps	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC、SDXCカード (U3)

* プロキシ記録時を含む

ご注意

- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。
- メモリーカード上の管理ファイルを修復する場合は、バッテリーを十分に充電してから実行してください。

関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [静止画の記録可能枚数](#)
- [動画の記録可能時間](#)
- [スロー&クイック設定](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

使用上のご注意

スタートガイド（付属）の「本機について/使用上のご注意」もあわせてお読みください。

数値について

- 性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（25℃）下でのものです。
- バッテリーについては、充電ランプ消灯まで充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

動作温度についてのご注意

- 動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。十分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

長時間撮影および4K動画撮影についてのご注意

特に4K動画撮影では低温環境下において撮影時間が短くなる場合があります。バッテリーを温めるか新しいバッテリーをお使いください。

他機での動画再生に際してのご注意

XAVC Sの動画は、対応機器以外では再生できません。

撮影・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機で撮影した画像や動画の他機での再生、他機で撮影/修正した画像や動画の本機での再生は保証いたしません。あらかじめご了承ください。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

メモリーカードのバックアップについて

以下の場合など、データが破壊されることがあります。データ保護のために必ずバックアップをお取りください。

- 読み込み中または書き込み中にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、本機の電源を切った場合
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

管理ファイルエラーについて

- 管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。

- 管理ファイルエラーが発生したときは、すべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- 強力な磁気のある場所
砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- 湿度の高い場所
レンズにカビが発生することがあります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所
正しく撮影・再生ができないことがあります。

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露を起こりにくくするために本機を寒い所から急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

持ち運び時のご注意

- 次の機構を搭載している機種は、その部分を持ったり、ぶつけたり、無理な力を加えないでください。
 - － レンズ部
 - － 可動式モニター部
 - － 可動式フラッシュ部
 - － 可動式ファインダー部
- 本機に三脚を取り付けたまま、持ち運ばないでください。三脚取り付け部が破損するおそれがあります。
- ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

本機の取り扱いについてのご注意

- 端子にケーブルを接続する際は、必ず端子の向きを確認してから、ケーブルをまっすぐに差ししてください。無理に抜き差しすると、端子部の破損の原因になります。
- 本機は磁石など磁気がある部品を使用しています。本機にクレジットカードやフロッピーディスクなど磁気の影響を受ける物を近づけないでください。
- 本機には磁石に反応するセンサーが搭載されています。磁石または磁石が内蔵されている製品を近づけるとカメラの電源が入る場合があります。磁石製品を近づけないようご注意ください。
- 撮影する前に確認する画像は、実際の撮影結果と異なることがあります。

保管方法

- レンズ一体型カメラのとき
使用しないときは、必ずレンズキャップを付けてください。（付属品にレンズキャップのある機種のみ）
- レンズ交換式カメラのとき

使用しないときは、必ずレンズフロントキャップまたはボディキャップを付けてください。ボディキャップを付ける際には、本機内部にほこりが入るのを防ぐため、ボディキャップのほこりを落としてから付けてください。

- 使用後に汚れた場合は、本機を清掃してください。水、砂、ほこり、塩分などが本機に残っていると、故障の原因になります。

レンズについてのご注意

- 電動ズーム使用時に物や指を引き込まれないように注意してください。（電動ズーム機構搭載機種またはレンズ交換式カメラのみ）
- やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。（付属品にレンズキャップのある機種またはレンズ交換式カメラのみ）
- 太陽光や強い光源がレンズからカメラに入ると、カメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。本機の保管時はレンズキャップを取り付けて保管してください。また逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。光源を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがありますので、ご注意ください。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 被写体までの距離が短い場合、レンズに付着したごみや指紋が写り込むことがあります。柔らかい布などを使って、レンズを拭いてください。

フラッシュについてのご注意（フラッシュ搭載機種のみ）

- フラッシュ部の近くに指を置かないでください。発光部が高温になるため危険です。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。
- フラッシュ使用後は、フラッシュを元の位置に戻してください。このときフラッシュ部に浮きがないように注意してください。（可動式フラッシュ搭載機種のみ）

マルチインターフェースシューについてのご注意（マルチインターフェースシュー搭載機種のみ）

- フラッシュなどのアクセサリを本機のマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。
- マルチインターフェースシューに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。

ファインダー、フラッシュについてのご注意（ファインダー/フラッシュ搭載機種のみ）

- ファインダー部やフラッシュ部を下げるときは、指や手を挟まないように注意してください。（可動式ファインダー/可動式フラッシュ搭載機種のみ）
- 上がったファインダー部やフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。（可動式ファインダー/可動式フラッシュ搭載機種のみ）

ファインダーについてのご注意（ファインダー搭載機種のみ）

- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。
- 接眼部を引き出した状態で無理にファインダーを押し込まないでください。故障の原因になります。（可動式ファインダー搭載機種で、さらに接眼部を引き出す構造の機種のみ）
- ファインダーをのぞきながらパンしたり、視線を上下左右に動かすと、ファインダーの画像が歪んだり、色合いが変わって見える場合があります。これはレンズや表示デバイスの特性によるもので、故障ではありません。なるべくファインダーの中央付近を見るようにして撮影してください。
- ファインダーの周辺部分の画像が少し歪んで見える場合がありますが、故障ではありません。構図の隅々まで確認して撮影したいときは、モニターも使用してください。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- ファインダーに向けてレーザーなどの光源を直接照射しないでください。ファインダー内部が破損し、カメラが故障することがあります。

モニターについてのご注意

- モニターを強く押さないでください。モニターにムラが出たり、モニターの故障の原因になります。
- モニターに水滴などがついてぬれてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置するとモニターの表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。
- カメラの端子にケーブルを接続していると、モニターの回転範囲が制限されることがあります。

イメージセンサーについてのご注意

低感度での撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。

ウインドスクリーンについてのご注意

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くで長期保管すると、変色することがあります。また、使用時や保管時の環境、経年により、風合いや起毛状態が変化することがあります。
- ウインドスクリーンにブラシをかけたり、強く引っ張ったりすると、毛が抜ける場合があります。
- ウインドスクリーンが濡れたときや汚れたときは、ウインドスクリーンアダプターから外さず、乾いた柔らかい布でふき取り、日陰で乾燥させてください。

画像の互換性について

本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”（DCF）に対応しています。

他社のサービス/ソフトウェアについて

本製品に搭載され、又は本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

インターネット接続時のご注意

本機のネットワークへの接続には、ルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。

別売りのアクセサリについて

- ソニー純正アクセサリの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

デジタルカメラ
ZV-1F

バッテリー/充電についてのご注意

バッテリー使用上のご注意

- 必ずソニー製純正のバッテリーをお使いください。
- 使用状況や環境によっては、残量表示は正しく表示されません。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの充電についてのご注意

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。
- 本機指定外のバッテリーを充電しないでください。バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプ（CHARGEランプ）が速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、正常に充電できないことがあります。
- すべての外部電源との動作を保証するものではありません。
- 充電終了後はACアダプターをコンセントからはずす、もしくは本体からUSBケーブルを抜いてください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- 充電終了直後またはそれに近い状態のバッテリーを未使用のまま、何度も充電を繰り返さないでください。バッテリーの性能に影響します。
- 充電中に本機の充電ランプが点滅した場合はバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。再びランプが点滅した場合はバッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入されている可能性があります。指定のバッテリーかどうか確認してください。
指定のバッテリーを入れている場合は、バッテリーを取りはずし、新品のバッテリーなど別のバッテリーを挿入して充電が正常に行われるか確認してください。充電が正常に行われる場合は、バッテリーの異常が考えられます。

バッテリーの残量について

- モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。



A : 残量多い
B : 残量なし

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- 電源を入れたまま一定時間操作しないと、自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP（画面表示切替）を押して表示してください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。ポケットの中に鍵などの金属物が入っている場合は、ショートしないようご注意ください。
- 連続撮影、電源の入り切りなどを頻繁にしたり、モニターを明るく設定すると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

バッテリーを長持ちさせるためには、長時間使用しない場合でも、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

デジタルカメラ
ZV-1F

メモリーカードについてのご注意

- モニターに [H] (温度上昇警告アイコン) が表示されたときは、カメラからメモリーカードをすぐに取り出さず、しばらくカメラの電源を切るなどして時間をおいてからメモリーカードを取り出してください。熱くなっているメモリーカードを触ってしまうと、メモリーカードを落下させるなどしてメモリーカードが破損してしまうことがあります。メモリーカードを取り出すときは充分ご注意ください。
 - 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化 (フラグメンテーション) して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、本機で [フォーマット] を行ってください。
 - アクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切らないでください。メモリーカードのデータが壊れることがあります。
 - データ保護のため必ずバックアップをお取りください。
 - すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
 - SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。
- 対応していない機器に接続した場合、フォーマット (初期化) を促す表示が出る場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。
- (exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)
- 水にぬらさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
 - 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所
 - 強い磁気のそばにメモリーカードを近づけたり、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、データが壊れることがあります。
 - 端子部には手や金属で触れないでください。
 - 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
 - 分解したり、改造したりしないでください。
 - 長時間使用した直後のメモリーカードは熱くなっています。ご注意ください。
 - パソコンでフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。本機で必ずフォーマットしてください。
 - お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
 - メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
 - メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。メモリーカードが取り出せなくなることがあります。
 - SDカードの書き込み禁止スイッチや誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると画像の記録や消去などができなくなります。この場合はロックを解除してください。
 - メモリースティック マイクロ、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合
 - 必ず専用のアダプターに入れてお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されると、メモリーカードが取り出せなくなる可能性があります。
 - メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。
 - メモリースティック PRO デュオとメモリースティック PRO-HG デュオについて
 - マジックゲート搭載のメモリースティックです。“マジックゲート”とは、暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
 - 本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

- パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しております。

関連項目

- [フォーマット](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

お手入れについて

レンズの清掃

- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用しないでください。
- レンズ面を清掃するときは、市販のプロアーでほこりなどを取り除いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽く拭いてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけないでください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

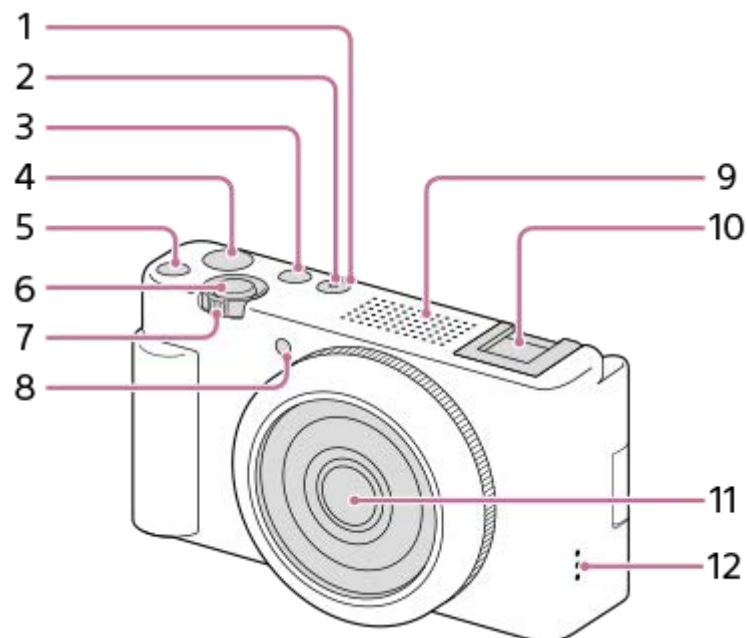
- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- 上記が手に付いたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触



モニターをきれいにする

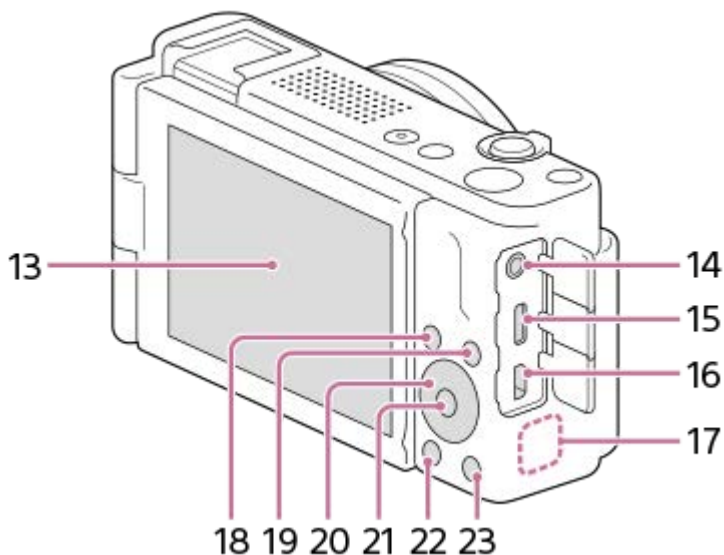
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとモニターに傷がつくことがあります。
- モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

デジタルカメラ
ZV-1F

各部の名称

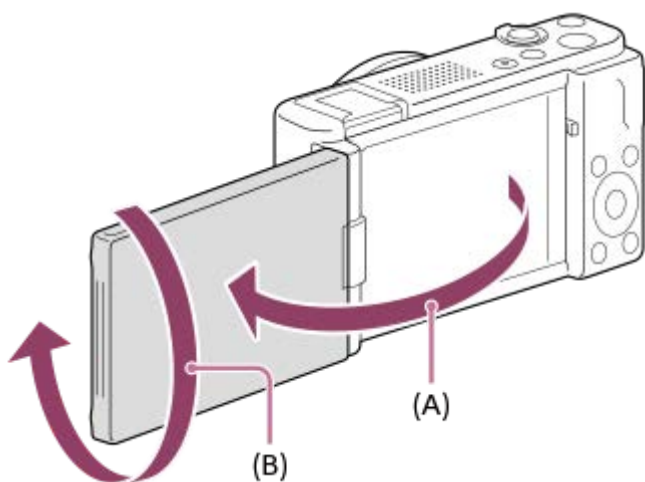


1. ON/OFF (電源) ボタン
2. 電源/充電ランプ
3. 静止画/動画/S&Q切換ボタン
4. MOVIE (動画) ボタン
5. C1 (カスタム1) ボタン/  (背景のボケ切換) ボタン
6. シャッターボタン
7. 撮影時: W/T (ズーム) レバー
再生時:  (一覧表示) レバー/再生ズームレバー
8. セルフタイマーランプ/録画ランプ
9. 内蔵マイク
 - 動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。
10. アクセサリーシュー
 - 本機のアクセサリーシューは電子接点を持たないため、外付けフラッシュとの連動や、ホットシュー端子からの音声入力などには対応していません。
11. レンズ
12. スピーカー



13. モニター/タッチパネル

- モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



- (A) : 約176度
- (B) : 約270度

- モニターを内側にして閉じた状態からモニターを開くと、電源が入ります。
- モニターを内側にして閉じたときに電源を切るかどうかを設定するには、MENU→ (セットアップ) → [電源オプション] → [モニター収納時の機能] で希望の設定を選んでください。
- 取り付ける三脚によってはモニターの角度が調整できなくなる場合があります。その場合、一度三脚ネジを緩めてからモニターの角度を調整してください。
- モニターを開閉または回転させるときに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

14. (マイク) 端子

- 外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

15. USB Type-C端子

16. HDMIマイク口端子

17. Wi-Fi/Bluetoothアンテナ (内蔵)

18. 撮影時 : Fn (ファンクション) ボタン

再生時 : (スマートフォン転送) ボタン

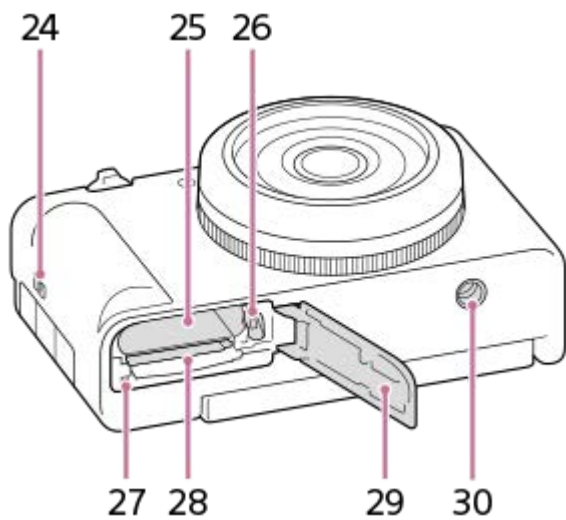
19. MENUボタン

20. コントロールホイール

21. 中央ボタン

22. (再生) ボタン

23. (削除) ボタン/ (商品レビュー用設定) ボタン



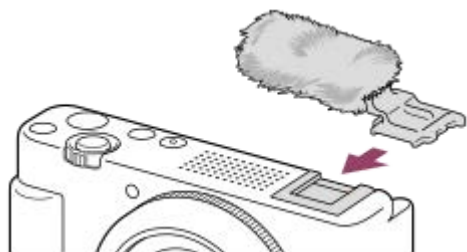
- 24. ストラップ取り付け部
- 25. バッテリー挿入口
- 26. バッテリーロックレバー
- 27. アクセスランプ
- 28. メモリーカード挿入口
- 29. バッテリー/メモリーカードカバー
- 30. 三脚用ネジ穴

1/4-20 UNCのネジに対応

- ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

ウインドスクリーン（付属）を使う

アクセサリースューにウインドスクリーンを取り付けると、動画撮影時に内蔵マイクで風音が記録されてしまう場合に風音を低減できます。



ご注意

- 取り付け時にウインドスクリーンをアクセサリースューに挟まないようご注意ください。

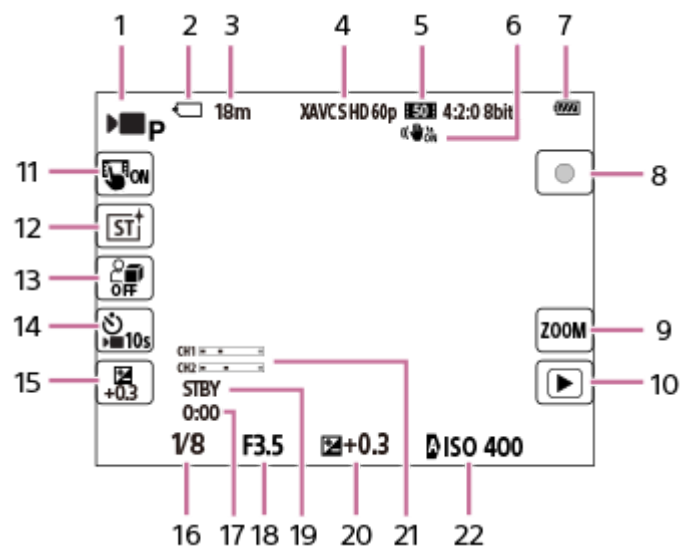
デジタルカメラ
ZV-1F

画面上の基本的なアイコン

撮影モードが **P** (プログラムオート) のときの画面表示について説明します。

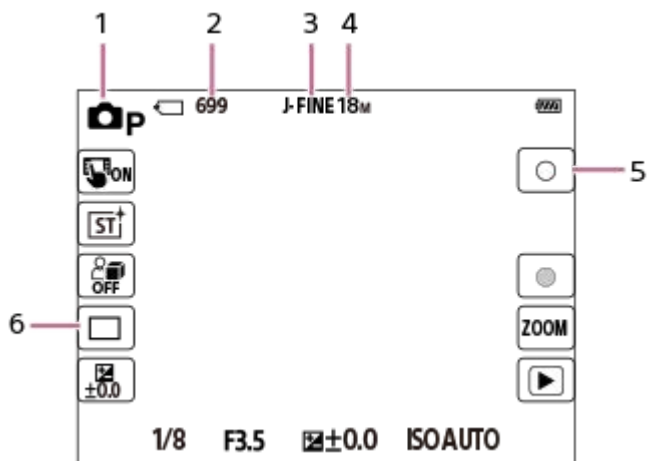
- 画面が全情報表示モードのときの表示例です。
- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。また、カメラの設定状態によっては、表示されないアイコンもあります。

動画撮影時



1. [▶ 撮影モード] が **P** [プログラムオート] に設定されている。
2. メモリーカード
3. 記録可能時間
4. [▶ 記録方式] が [XAVC S HD] に設定され、[記録フレームレート] が [60p] に設定されている。
5. [記録設定] が [50M 4:2:0 8bit] に設定されている。
6. [▶ 手ブレ補正] が [入] に設定されている。
7. バッテリー残量
8. 動画撮影時のスタート/ストップを切り換える。
9. ズーム倍率の設定画面を開く。
10. 再生モードに切り換える。(動画撮影中はショットマークボタンが表示され、撮影中の動画にショットマークを設定可能)
11. [アイコンタッチ機能] が [入] に設定されている。
12. [クリエイティブルック] が [ST] に設定されている。
13. [商品レビュー用設定] が [切] に設定されている。
14. [▶ セルフタイマー] が [10秒] に設定されている。
15. [露出補正] が [+0.3] に設定されている。
16. シャッタースピード
17. 動画の撮影実時間
18. 絞り値
19. 撮影スタンバイ
20. 露出補正值
21. [音声レベル表示] が [入] に設定されている。
22. [ISO感度] が [ISO AUTO] に設定されている。(カメラが自動で設定したISO値が表示される。)

静止画撮影時



1. [撮影モード] が P [プログラムオート] に設定されている。
2. 撮影可能枚数
3. [JPEG画質] が [ファイン] に設定されている。
4. [JPEG画像サイズ] が [L: 18M] に設定されている。
5. 静止画を撮影する。
6. [ドライブモード] が [1枚撮影] に設定されている。

ヒント

- 画面の左右両端のアイコンは [アイコンタッチ機能] が [入] のときタッチボタンとして機能します。直接タッチして撮影などの操作や設定を行うことができます。

関連項目

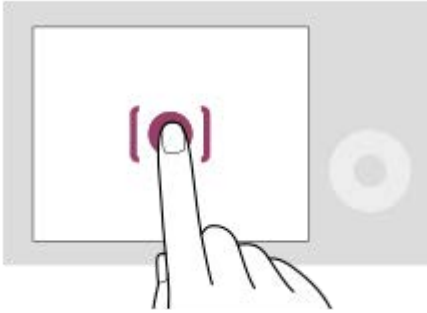
- [モニターに表示されるアイコン一覧](#)
- [アイコンタッチ機能](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

タッチパネルの操作

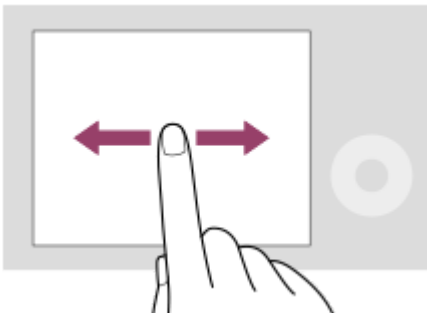
モニターはタッチパネルになっています。指でモニターに触れるタッチ操作で、撮影時のピント合わせや再生画面の操作などを直感的に行うことができます。

撮影画面でのタッチ操作

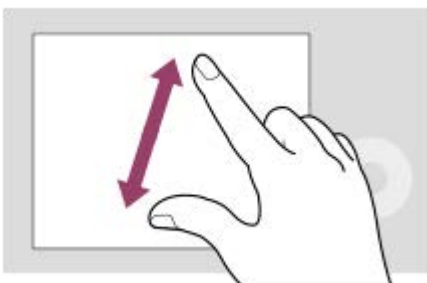


ピントを合わせる位置を画面でタッチして指定します（タッチフォーカス）。
被写体を追尾するトラッキング機能を使うときは、追尾する被写体をタッチします（タッチトラッキング）。
画面をタッチするだけで、被写体にピントを合わせて撮影まで行うこともできます（タッチシャッター）。
使用するタッチ機能を切り換える方法については「[撮影時のタッチ機能](#)」をご覧ください。

再生画面でのタッチ操作



画像の1枚再生中に画面を左右にスワイプして、前後の画像に移動します。



画面上で2本の指を開いたり閉じたりする操作（ピンチアウト/ピンチイン）で、1枚再生中の画像を拡大/縮小できます。

- 再生画像の拡大表示および解除はダブルタップでも行えます。
- 動画の再生時は、再生開始/一時停止などをタッチ操作で行うことができます。

ヒント

- 撮影画面で上方向にすばやくスワイプすると、Fnメニューを開くことができます。

- [アイコンタッチ機能] を [入] に設定すると、撮影画面や再生画面にタッチボタンが表示され、タッチボタンでカメラを操作できます。

関連項目

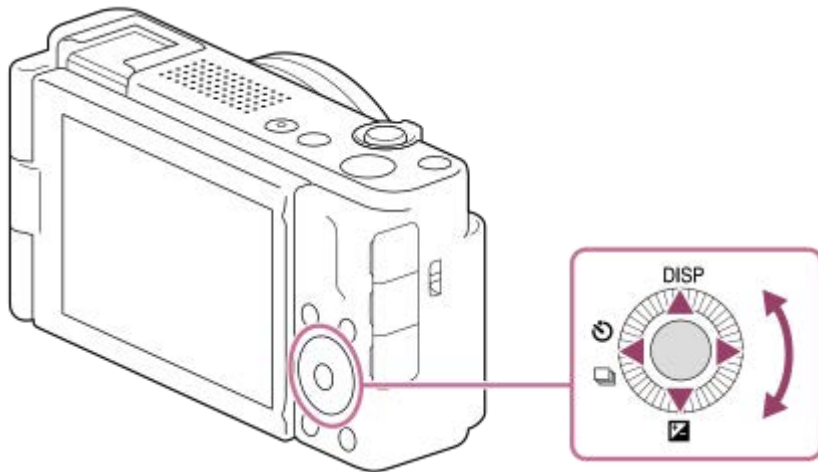
- [タッチ操作](#)
- [アイコンタッチ機能](#)
- [撮影時のタッチ機能](#)
- [タッチ操作でフォーカスを合わせる \(タッチフォーカス\)](#)
- [タッチ操作でトラッキングを開始する \(タッチトラッキング\)](#)
- [タッチ操作で撮影する \(タッチシャッター\)](#)
- [上方向にスワイプ](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

コントロールホイールを使う

メニュー画面やFnボタンを押して表示される画面で、コントロールホイールを回したり上下左右を押したりして、選択枠を動かします。選んだ項目はコントロールホイールの中央を押して決定します。



- コントロールホイールの上/下/左ボタンにはDISP（画面表示切替）、（ 露出補正）、 / （ セルフタイマー / ドライブモード）が割り当てられています。また、コントロールホイールの左/右ボタン、中央にはお好みの機能を割り当てることができます。
- 再生時にコントロールホイールの左/右ボタンを押す、またはコントロールホイールを回すことで再生画面を送ることができます。

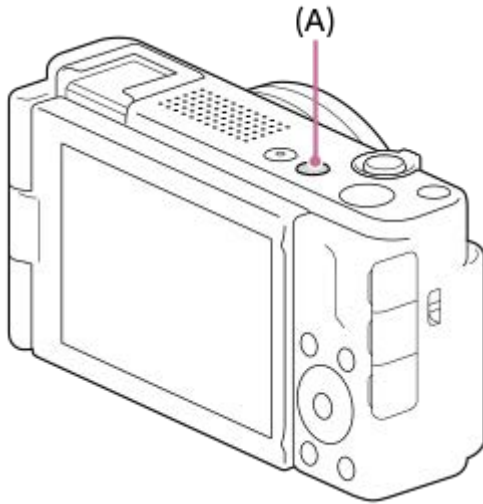
関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)（静止画/動画）

デジタルカメラ
ZV-1F

静止画/動画/S&Q切換ボタンを使う

静止画/動画/S&Q切換ボタン (A) で撮影モードを選びます。



静止画/動画/S&Q切換ボタンを押すたびに、静止画撮影モード、動画撮影モード、スロー&クイックモーション撮影モードの順に切り替わります。

ヒント

- 静止画/動画/S&Qのそれぞれの撮影モードによって、メニュー画面の [撮影] [露出/色] [フォーカス] タブで表示されるメニュー項目が異なります。これらの設定を行う場合は、あらかじめ静止画/動画/S&Q切換ボタンで希望の撮影モードを選んでください。

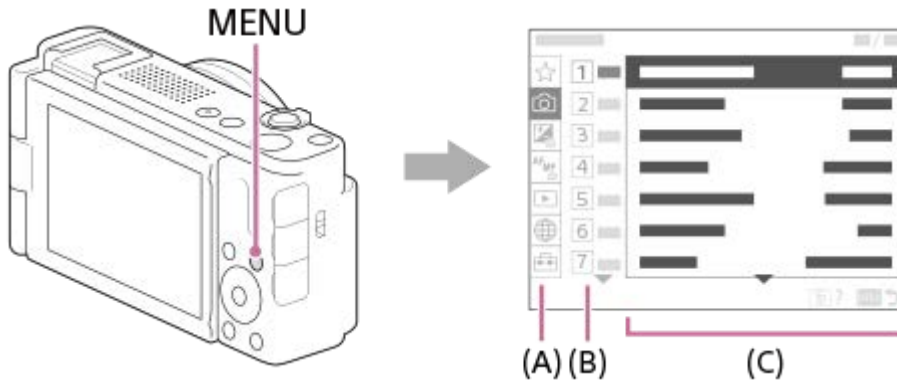
関連項目

- [メニューを使う](#)
- [動画を撮影する \(おまかせオート\)](#)
- [静止画を撮影する \(おまかせオート\)](#)
- [スロー&クイック設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

メニューを使う

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。撮影や再生をはじめ、カメラ全体に関する設定を変更したり、機能を実行したりすることができます。



(A) メニュータブ

撮影、再生、ネットワークなど、カメラの使用シーンで分類しています。

(B) メニューグループ

各タブの中で、メニュー項目を機能によりグループ分けしています。

グループに振られている番号はタブ内における通し番号です。使用中のグループの位置を把握するために参照してください。

(C) メニュー項目

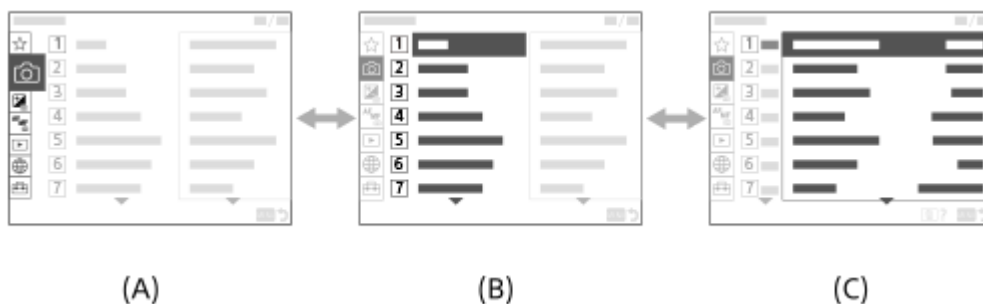
設定したり実行したりする機能を選びます。

ヒント

- 選択中のタブ名やグループ名が、画面上部に表示されます。
- [タッチ操作] を [入] にしていると、メニュー画面でのタッチ操作が可能です。

メニュー画面の基本操作

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示させる。
2. コントロールホイールの上/下/左/右を押してメニュー階層を移動しながら、希望のメニュー項目を探す。
 - 静止画撮影時と動画撮影時で、表示されるメニューの内容が異なります。



(A) メニュータブ

(B) メニューグループ

(C) メニュー項目

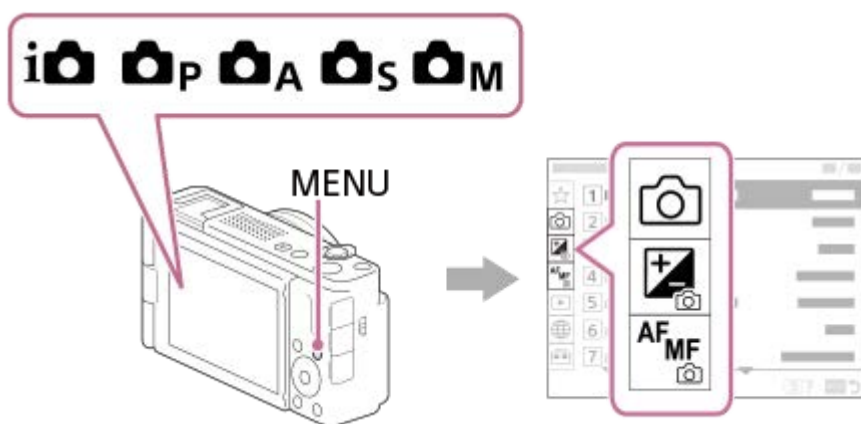
3. コントロールホイールの中央を押してメニュー項目を選ぶ。
選んだメニュー項目の設定画面または実行画面が開く。
4. 設定値を選択する、または機能を実行する。
 - 設定を変更せずに前の画面に戻るには、MENUボタンを押してください。
5. MENUボタンを押してメニュー画面を閉じる。
撮影画面や再生画面に戻る。

撮影モードとメニュー画面の関係

撮影モードによって、[撮影] [露出/色] [フォーカス] タブは表示されるメニューグループ、メニュー項目が異なります。

静止画撮影モード (AUTO/P/A/S/M)

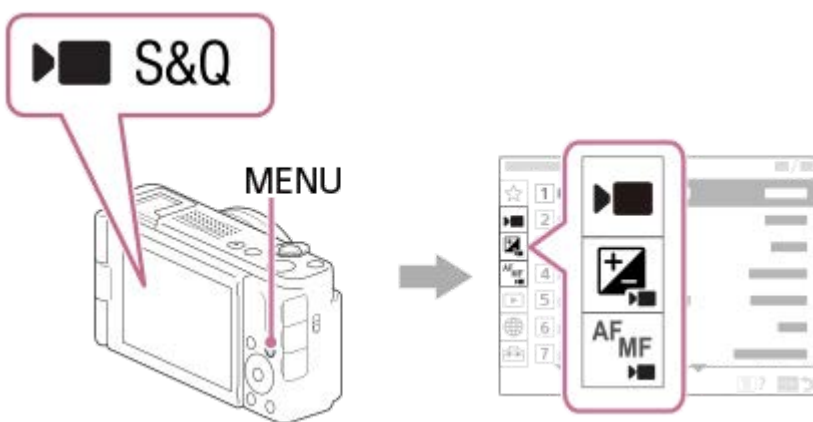
- 静止画撮影用のメニューが表示されます。*





* 静止画撮影モードでもMOVIE (動画) ボタンでの動画撮影が可能のため、一部の基本的な動画メニューも表示されます。



動画撮影モード (▶ /S&Q)



- 動画撮影用のメニューが表示されます。



ヘルプガイド内で使用するアイコンについて

  S&Q : 静止画撮影モードのときに表示されるメニュー項目

  S&Q : 動画撮影モード/スロー&クイックモーション撮影モードのときに表示されるメニュー項目

  S&Q : 静止画撮影モード/動画撮影モード/スロー&クイックモーション撮影モードのいずれでも表示されるメニュー項目

関連項目

- [項目の追加](#)
- [マイメニューから表示](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\) \(静止画/動画\)](#)
- [静止画/動画/S&Q切替ボタンを使う](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

ファンクションメニューを使う


撮影時にFn（ファンクション）ボタンを押すと、録音レベルやフォーカスモードなどよく使う機能を集めたメニュー（ファンクションメニュー）が画面に表示され、すばやく機能呼び出すことができます。

ファンクションメニューの例

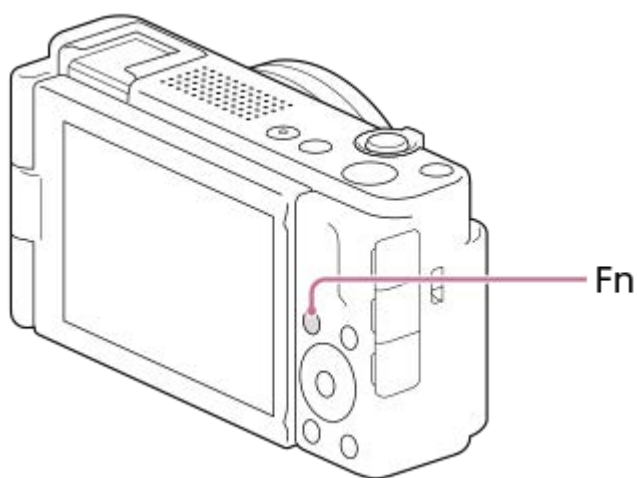
カメラの状態により表示される内容は異なります。



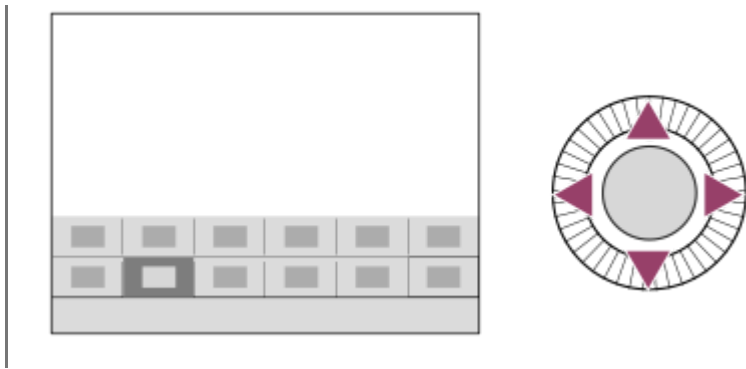
ヒント

- MENU → （セットアップ）→ [操作カスタマイズ] → [Fnメニュー設定] で、お好みの機能をファンクションメニューに登録できます。静止画撮影時の機能と動画撮影時の機能をそれぞれ12個ずつ別々に登録することができます。
- [タッチ操作] を [入] にしていると、メニュー画面でのタッチ操作が可能です。
- [タッチ操作] が [入] のときは、ファンクションメニュー中のアイコンを長押しすることでも [Fnメニュー設定] を開くことができます。
- [上方向にスワイプ] を [Fnメニューを開く] にしていると、撮影画面をタッチ操作で上方向にすばやくスワイプすることでもファンクションメニューを表示できます。
- Fnメニューの外のエリアから下にスワイプしたり、Fnメニューの外でタップしたりすると、Fnメニューを閉じることができます。

1 Fn（ファンクション）ボタンを押す。

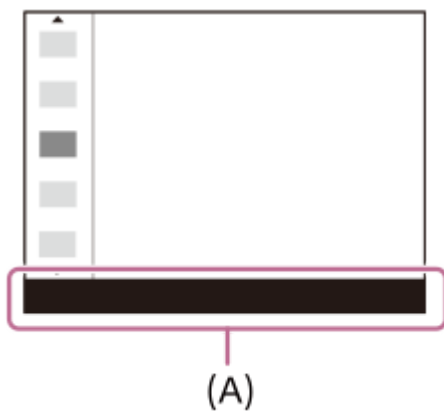


2 コントロールホイールの上/下/左/右を押して、設定する機能を選ぶ。



専用画面で設定するには

設定する機能のアイコンを選んでコントロールホイールの中央を押すと、その項目設定の専用画面になります。操作ガイド (A) に従って設定してください。



関連項目

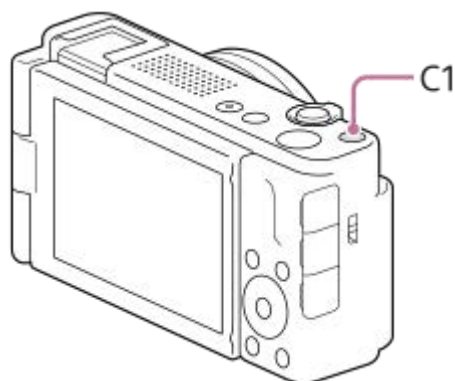
- [Fnメニュー設定](#)
- [上方向にスワイプ](#)

デジタルカメラ
ZV-1F





C (カスタム) ボタンを使う

あらかじめカスタムボタン (C1) によく使う機能を設定しておくことで、撮影時や再生時にボタンを押すだけですばやくその機能を呼び出すことができます。

お買い上げ時の設定では、カスタムボタンにはおすすめの機能が割り当てられています。



カスタムボタンの機能を確認/変更するには

MENU →  (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [ カスタムキー設定]、[ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] で現在割り当てられている機能名を確認できます。

カスタムボタンの機能を変更したい場合は、ボタンを選んだ状態でコントロールホイールの中央を押します。そのボタンに割り当て可能な機能が表示されるので、お好みの機能を選んでください。

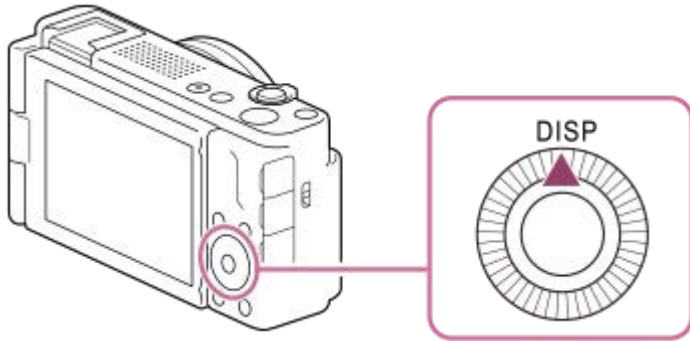
関連項目

- よく使う機能をボタンに割り当てる (カスタムキー設定) (静止画/動画)

デジタルカメラ
ZV-1F

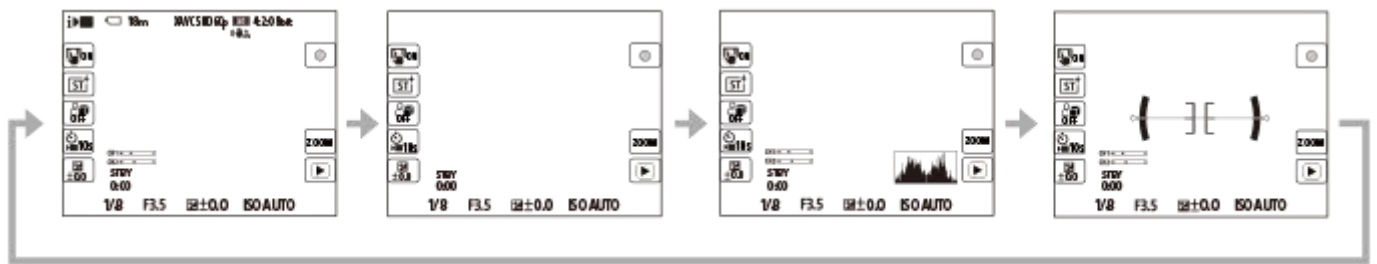
DISP（画面表示切換）ボタンを使う

DISP（画面表示切換）ボタンを押すと、撮影時や再生時の画面に表示される内容を切り換えることができます。DISPボタンを押すたびに、表示が切り替わります。



撮影時

全情報表示→情報表示 なし→ヒストグラム→水準器→全情報表示



再生時

情報表示あり→ヒストグラム→情報表示 なし→情報表示あり



- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します（白とび黒つぶれ警告）。
- 再生時の設定は、[📷 オートレビュー]でも反映されます。

ご注意

- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。


関連項目

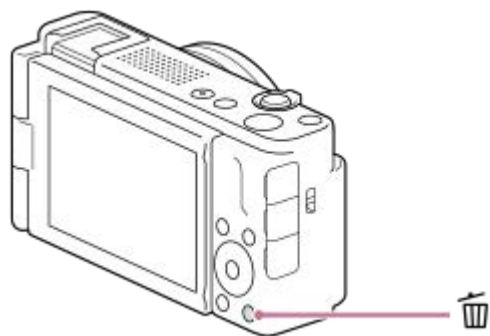
- [DISP\(画面表示\)設定](#)



5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F





削除ボタンを使う

削除したい画像を表示中に  (削除) ボタンを押すと、表示中の画像を削除することができます。



-  (削除) ボタンを押して確認のメッセージが出たら、コントロールホイールで [削除] を選び、中央を押します。
- 複数の画像を選んで一括で削除することもできます。MENU →  (再生) → [削除] → [削除] を選び、削除したい画像を選びます。

ヒント

- MENU →  (再生) → [削除] → [ 2度押しで削除] を [有効] に設定しておく、 (削除) ボタンを続けて2度押すことで画像を削除できます。
-  (削除) ボタンは、1枚再生画面以外では以下の使いかたもできます。
 - カスタムキー
 - カメラ内ガイド表示

関連項目

- [不要な画像を選んで削除する \(削除\)](#)
- [削除確認画面](#)
- [2度押しで削除](#)
- [C \(カスタム\) ボタンを使う](#)
- [カメラ内ガイド](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

キーボード画面を使う

文字入力が必要な機能では、キーボード画面を使用します。キーボード画面を使用する機能の例は、このページの最後に記載している「関連項目」でご確認ください。



1. 入力ボックス
入力した文字が表示されます。
2. 文字種切り換え
押すたびに、アルファベット/数字/記号に切り換えられます。
3. キーボード
押すたびに、表示されている文字が順番に表示されます。アルファベットを大文字に変えたいときは **↑** (上矢印) を押します。
4. **←** (左矢印)
入力ボックス内のカーソルを左に移動します。
5. **→** (右矢印)
入力ボックス内のカーソルを右に移動します。また、編集集中の文字を確定させて次の文字に進みます。
6. **✕** (削除)
カーソルの直前の文字を削除します。
7. **↑** (上矢印)
アルファベットの大小文字を切り換えます。
8. **␣** (スペース)
空白をあけます。
9. OK
入力が終わったら最後に押して、内容を確定させます。

ここではアルファベットを入力する手順を説明します。

- ① **コントロールホイールでカーソルを希望のキーに移動させる。**
 - コントロールホイールの中央を押すたびに文字が切り替わります。
 - 大文字に切り替えるには **↑** (上矢印) を押します。
- ② **入力したい文字が表示されたら **→** (右矢印) を押して確定する。**
 - 1文字ずつ確定してください。確定しないと次の文字は入力できません。
 - **→** (右矢印) を押さずにそのまま数秒待っても自動的に確定されます。
- ③ **すべての文字の入力が終わったら「OK」を押して入力内容を決定する。**
 - 途中で入力をやめる場合は、[キャンセル] を選択してください。

関連項目

- [機器名称変更](#)

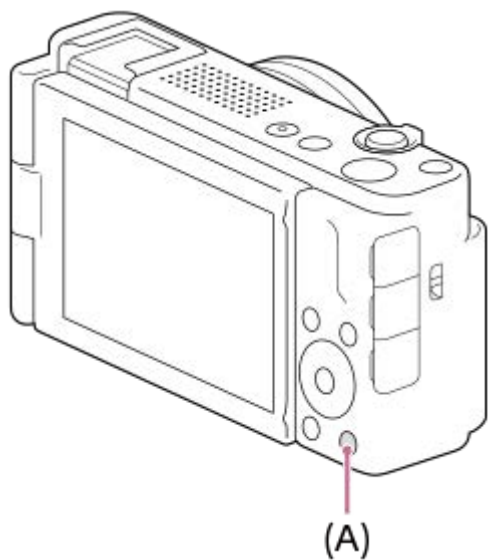
5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

カメラ内ガイド

選択中のメニュー、Fn（ファンクション）の機能、設定に関する説明をカメラの画面に表示します。

- 1 説明を見たいメニューやFnの項目を選択し、（削除）ボタン（A）を押す。

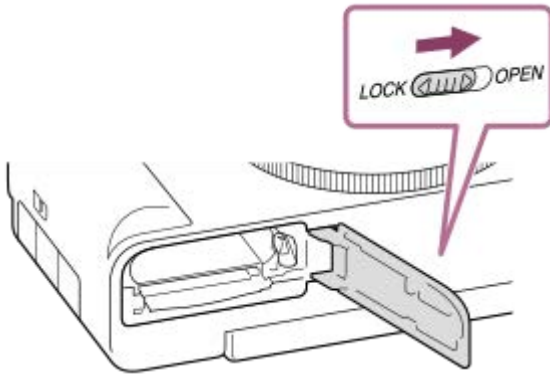


その項目の説明が表示される。

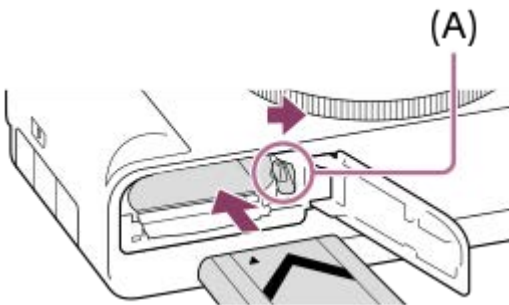
デジタルカメラ
ZV-1F

バッテリーをカメラに入れる/取り出す

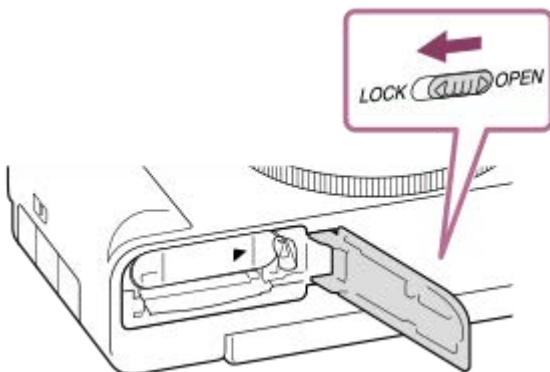
- ① バッテリー/メモリーカードカバーのスイッチをスライドさせてカバーを開ける。



- ② バッテリーの端でロックレバー (A) を押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。

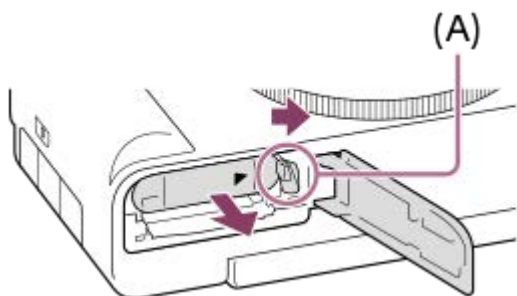


- ③ カバーを閉じて、スイッチをLOCK側にスライドさせる。



バッテリーを取り出すには

アクセランプが点灯していないことを確認してから電源を切り、ロックレバー (A) をずらしてバッテリーを引き出します。このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。



関連項目

- [市販のACアダプターやモバイルバッテリーでバッテリーを充電する](#)
- [バッテリー/充電についてのご注意](#)

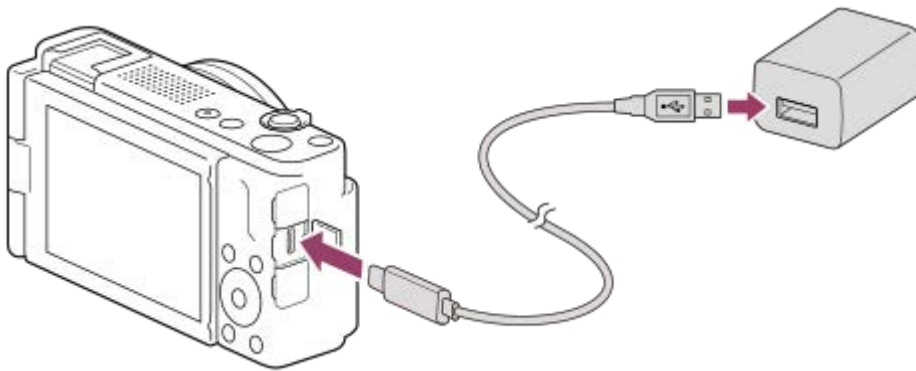
5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

市販のACアダプターやモバイルバッテリーでバッテリーを充電する

USBケーブルを使って、市販のUSB ACアダプターやモバイルバッテリーなどの外部電源から充電できます。

1 カメラの電源を切った状態で、外部電源とカメラのUSB Type-C端子をつなぐ。



カメラの充電ランプ (オレンジ色)

点灯：充電中

消灯：充電終了

点滅：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

- 充電時間の目安 (満充電)：充電にかかる時間は約150分です (定格出力電流1.5AのACアダプターを使用する場合)。
- バッテリーを使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては長くなります。
- 充電が完了すると、充電ランプが消えます。
- 充電ランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

ご注意

- ACアダプターを使用する場合は、定格出力電流が1.5A以上のACアダプターをお使いください。
- ACアダプター/チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。
- 充電中に本機の電源を入れると、コンセントから給電され本機を使用できますが、充電はされません。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- 自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。
- 同時に使うUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 充電する前に、必ず「[バッテリー/充電についてのご注意](#)」もご確認ください。

- バッテリーをカメラに入れる/取り出す
- バッテリー/充電についてのご注意

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

海外でバッテリーチャージャーを使う

バッテリーチャージャー（別売）は全世界（AC100V～240V・50Hz/60Hz）で使えます。
ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

- 主に北米のコンセント形状例：

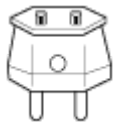


変換プラグアダプターは不要です。

- 主にヨーロッパのコンセント形状例：



変換プラグアダプターが必要です。




ご注意

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

デジタルカメラ
ZV-1F

外部電源でカメラを使う

ACアダプターなどを使うと、撮影/再生時もバッテリーの消費を抑えて外部から電力を供給しながら使用できます。

- 1 十分に充電されたバッテリーをカメラに入れる。
 - バッテリーの残量がないと動作しません。十分に充電されたバッテリーをご準備ください。
- 2 USBケーブルをカメラのUSB Type-C端子につなぐ。
- 3 ACアダプターなどを使ってコンセントにつなぐ。
- 4 カメラの電源を入れる。
 - USB給電中を表すアイコン（）がモニターに表示され、給電が開始される。

ご注意

- 電源を入れて使用している間は、ACアダプターなどと接続していてもバッテリーへの充電はされません。
- ACアダプターなどと接続して使用していても、ご使用の条件によっては、補助的にバッテリーの電源を使用する場合があります。
- 給電しながらのご使用中は、カメラからバッテリーを取りはずさないでください。バッテリーを取りはずすとカメラの電源が切れます。
- USBケーブルの抜き差しは、カメラの電源を切った状態で行ってください。
- USB給電中は、本体内の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなる場合があります。また、端子付近が熱くなりますのでご注意ください。
- 外部電源としてモバイルチャージャーをご使用する際には、満充電であることを確認してからお使いください。また、ご使用中はモバイルチャージャーの残量にご注意ください。
- すべての外部電源との動作を保証するものではありません。

関連項目

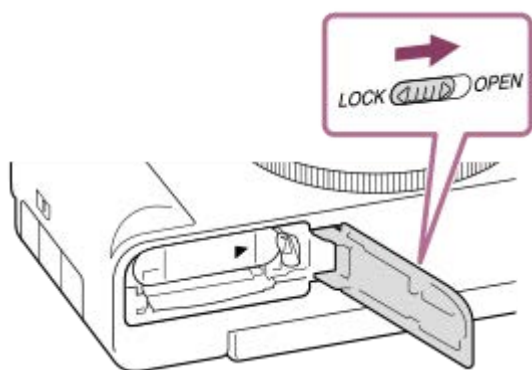
- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

メモリーカードをカメラに入れる/取り出す

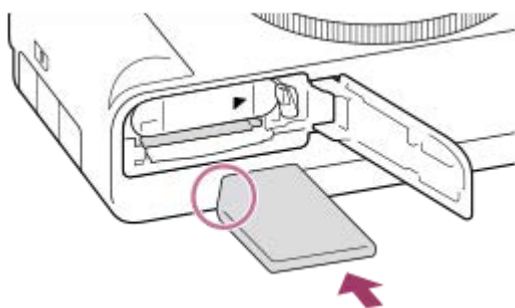
メモリーカード（別売）をカメラに入れる手順を説明します。本機では、SDメモリーカードとメモリースティックを使うことができます。

- 1 バッテリー/メモリーカードカバーのスイッチをスライドさせてカバーを開ける。

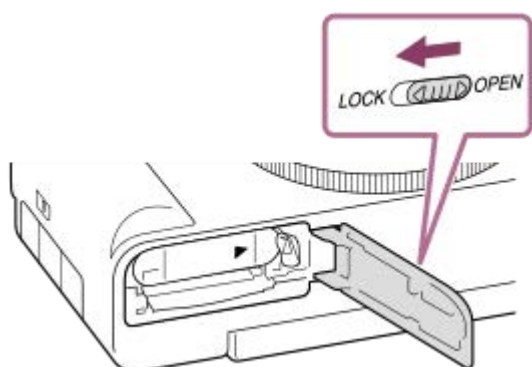


- 2 メモリーカードを入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きに合わせ、「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。正しく挿入しないと故障の原因になります。



- 3 カバーを閉じて、スイッチをLOCK側にスライドさせる。

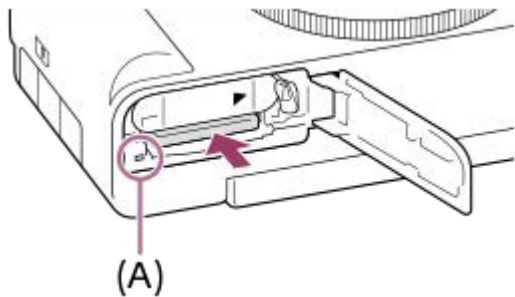


ヒント

- メモリーカードの動作を安定させるために、本機ではじめてお使いになるメモリーカードは、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。

メモリーカードを取り出すには

カバーを開けて、アクセスランプ **(A)** が点灯していないことを確認し、メモリーカードを一度押します。



関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)
- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [フォーマット](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

カメラの初期設定を行う

カメラとスマートフォンをBluetooth接続（ペアリング）することで、スマートフォン用アプリケーションCreators' Appを使い、日時設定などカメラの初期設定をスマートフォンから行うことができます（本体ソフトウェアVer.1.10以降）。Creators' Appは、お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

カメラに表示されるQRコードをスマートフォンで読むことにより、Creators' Appをインストールすることもできます。

Creators' Appについては、以下のウェブサイトをご覧ください。



<https://www.sony.net/ca/>

1 ON/OFF（電源）ボタンを押して、カメラの電源を入れる。

- プライバシー通知の画面が表示されます。スマートフォンなどで、リンク先にある生体認証に関するプライバシー通知をよくお読みください。

2 コントロールホイールの中央を押す。

3 カメラの画面の指示に従ってスマートフォンとの接続を行う。

- スマートフォンでCreators' Appを起動し、カメラとスマートフォンを接続します。
- スマートフォンを接続しない場合は、エリア/日付/時刻の設定画面に移動します。
- 初期設定後にスマートフォンとの接続を行うには、MENU→（ネットワーク）→ [ 接続/PCリモート] → [スマートフォン接続] を選びます。

4 Creators' Appの画面でカメラの初期設定を行う。

- 画面の指示に従って、以下の項目を設定してください。
 - エリア/日付/時刻
 - 自動電源OFF温度
 - 機器名称

これらの設定はあとでカメラのメニューから変更することもできます。

設定した日時の保持について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切やバッテリーの有無に関係なく保持するために、充電式バックアップ電池を内蔵しています。

内蔵バックアップ電池を充電するには、カメラに充電されたバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。

バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

ヒント

- カメラとスマートフォンをBluetooth機能で接続することで、スマートフォンを使ってカメラを操作したり、カメラからスマートフォンに画像を転送したりすることができます。

ご注意

- 日時設定をキャンセルした場合は電源を入れると毎回日時設定画面が表示されます。
- 本機の内蔵時計は時刻に誤差が生じる場合があります。定期的に時刻を合わせるようにしてください。

関連項目

- [カメラとスマートフォンをペアリングする（スマートフォン接続）](#)
- [エリア/日時設定](#)
- [自動電源OFF温度](#)
- [機器名称変更](#)
- [プライバシー通知](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影前に確認すること

ここでは、本機をご使用になるうえで知っておくと便利な設定や機能を紹介します。カメラをお使いになる前に確認しておくことをおすすめします。

以下に記載した各項目名から、それぞれの機能を説明するページに移動できます。

メモリーカードを本機で使えるように準備する

- [フォーマット](#)
- [管理ファイル修復 \(静止画/動画\)](#)

メモリーカードの入れ忘れを防ぐ

- [カードなしリリース](#)

カメラの操作音を鳴らすかどうかを設定する

- [電子音\(撮影\)](#)

自分撮り動画やVlog撮影に便利な機能を使う

- [商品レビュー用設定](#)
- [背景のボケ切替](#)

動画モード時に撮影スタンバイ中か記録中かを確認しやすくする

- [記録中の強調表示](#)

撮影設定をリセットする、またはカメラの全設定を初期化する

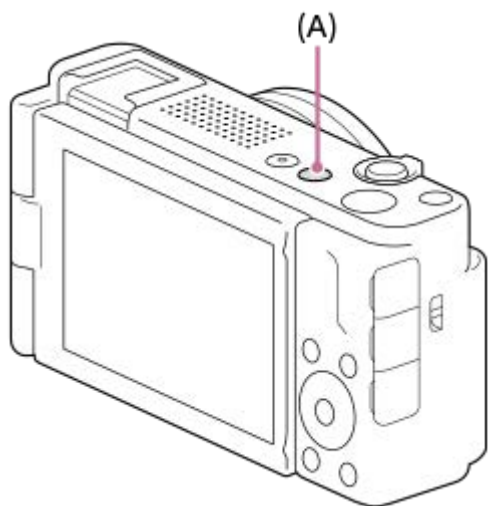
- [設定リセット](#)

デジタルカメラ
ZV-1F



動画を撮影する（おまかせオート）

［おまかせオート］モードで動画を撮影する方法を説明します。［おまかせオート］モードでは、カメラがピント合わせを自動で行い、自動的に撮影状況を認識して露出などを決定します。

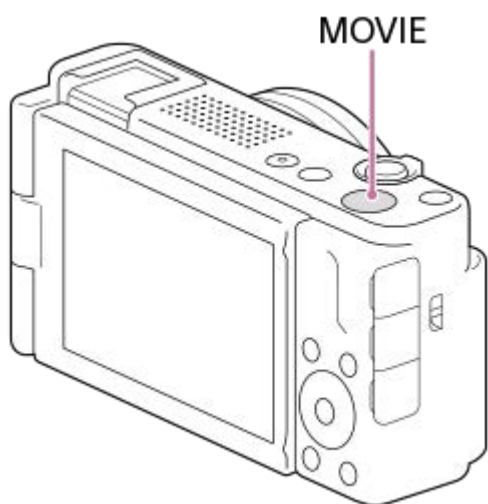
- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタン (A) を押して、動画撮影モードにする。



- ボタンを押すたびに、静止画撮影モード、動画撮影モード、スロー&クイックモーション撮影モードの順に切り替わります。

- 2 MENU →  (撮影) → [撮影モード] → [ 撮影モード] → [おまかせオート] を選ぶ。

- 3 MOVIE (動画) ボタンを押して撮影を開始する。



- [タッチ操作] を [入] にしていると、画面上のタッチ操作アイコンをタッチすることでも撮影を開始できます。

- 4 もう一度MOVIEボタンを押して終了する。

記録フォーマットを選ぶには (▶■ 記録方式)

記録フォーマット (XAVC S 4K/XAVC S HD) によって解像度や互換性が異なります。撮影する動画の用途に応じて選んでください。

フレームレートや画質を選ぶには (▶■ 動画設定)

フレームレートによって動画のなめらかさが決まります。([▶■ 動画設定] → [記録フレームレート])

画質はビットレートで変化します。([▶■ 動画設定] → [記録設定])

ビットレートが高いと情報量が増え、高画質の動画を撮影できますが、データ容量も大きくなります。

それぞれ好みや用途に応じて選んでください。

露出を調整するには (▶■ 撮影モード)

[▶■ 撮影モード] で露出モードを選択できます。シャッタースピードと絞り値の組み合わせで露出モードを選びます。

ピントの合わせかたを選ぶには (🔍 フォーカスマード/ 🔍 フォーカスエリア)

[🔍 フォーカスマード] で **AF-C** (コンティニュアスAF) または **MF** (マニュアルフォーカス) を選びます。ピント合わせを行う範囲は [🔍 フォーカスエリア] で指定することができます。

ヒント

- 動画撮影開始/停止機能をカスタムキーやシャッターボタンに割り当てることもできます。
- ISO感度、露出補正、フォーカスエリアは動画撮影中に設定を変更できます。
- 動画撮影中は、カメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。[音声記録] を [切] にすることで音声を記録しないように設定できます。

ご注意

- 撮影後、データ書き込み中を示すアイコンがモニターに表示されます。アイコンが表示されている間に、メモリーカードを抜かないでください。
- データ書き込み中は撮影を開始できません。データの書き込みが終了し、「STBY」と表示されてから動画撮影を開始してください。
- [🔍] (温度上昇警告) が表示された場合は、本機の温度が上がっています。本機の電源を切り、温度が下がるのを待ってから撮影してください。
- 連続して撮影している場合は、本機の温度が上昇しやすく、温かく感じる場合がありますが故障ではありません。また、「しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください」という表示が出る場合があります。その場合は、本機の電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってから撮影してください。
- 連続撮影可能時間は「[動画の記録可能時間](#)」をご覧ください。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影できます。本体やバッテリーの温度によっては、機器保護のため停止する場合があります。

関連項目

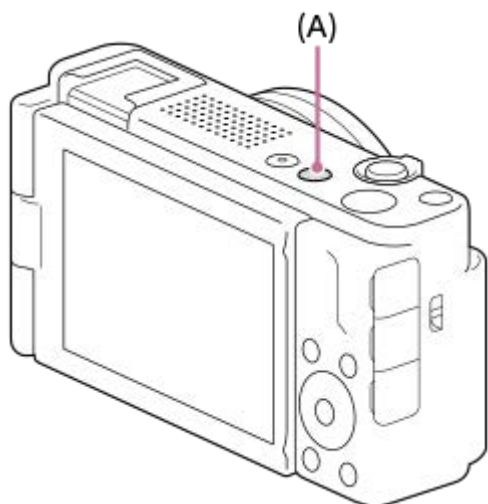
- [記録方式 \(動画\)](#)
- [動画設定 \(動画\)](#)
- [ピント合わせの方法を選ぶ \(フォーカスマード\)](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ \(フォーカスエリア\)](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\) \(静止画/動画\)](#)
- [シャッターボタンでREC \(動画\)](#)
- [音声記録](#)
- [動画の記録可能時間](#)

デジタルカメラ
ZV-1F



静止画を撮影する（おまかせオート）

「おまかせオート」モードで静止画を撮影する方法を説明します。「おまかせオート」モードでは、カメラがピント合わせを自動で行い、自動的に撮影状況を認識して露出などを決定します。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタン (A) を押して、静止画撮影モードにする。



- ボタンを押すたびに、静止画撮影モード、動画撮影モード、スロー&クイックモーション撮影モードの順に切り替わります。

- 2 MENU →  (撮影) → [撮影モード] → [ 撮影モード] → [おまかせオート] を選ぶ。

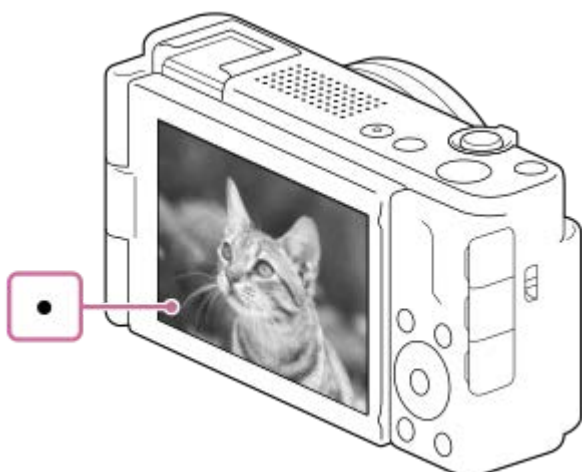
撮影モードが  (おまかせオート) になる。

- 3 モニターを見やすい角度に調節して、本機を構える。

- 4 被写体にカメラを向ける。

- 5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして、フォーカス表示 (●) が点灯する。



- ピントが合う最短距離はレンズ先端から約5cmです。

6 シャッターボタンを深く押し込む。

ピントの合わせかたを自分で選ぶには（フォーカスモード/フォーカスエリア）

撮影状況に応じて、[フォーカスモード]を設定してください。また、[フォーカスエリア]でピント合わせを行う位置や範囲を指定することができます。

人物の瞳にピントを合わせて撮影する

お買い上げ時の設定では[被写体認識]の[AF時の被写体認識]機能が有効になっているため、すぐに瞳AF機能をお使いいただけます。

フォーカスを固定して好みの構図で撮影するには（フォーカスロック）

被写体にピントを合わせると、シャッターボタンを半押ししている間はそのピントが固定されます。そのまま撮りたい構図に変えて、シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

- [フォーカスモード]を **AF-S**（シングルAF）に設定してください。
- [フォーカスエリア]を[中央固定]にすると、画面の中央に位置する被写体にピントを合わせやすくなります。

ヒント

- 自動でピントを合わせられない場合は、フォーカス表示が点滅し、「ピピッ」と電子音が鳴りません。構図を変えたり、フォーカスモードやフォーカスエリアの設定を変えるなどしてください。
- お買い上げ時の設定では[アイコンタッチ機能]が[入]に設定されているため、画面に表示されているシャッターボタンをタッチすることでも静止画を撮影できます。

ご注意

- 撮影後、データ書き込み中を示すアイコンがモニターに表示されます。アイコンが表示されている間は、メモリーカードを抜かないでください。画像が正常に記録できなくなります。

関連項目

- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [静止画を再生する](#)
- [オートレビュー（静止画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

MENU一覧から機能を探す

撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。以下の表では、どのモードのときに表示されるメニュー項目かを静止画/動画/S&Qのアイコンで示しています。



- : 撮影モードが (A) 静止画撮影モードのときに表示される項目
- : 撮影モードが (B) 動画撮影モードのときに表示される項目
- : 撮影モードが (A) 静止画撮影モード、(B) 動画撮影モードのどちらでも表示される項目

📷/🎥 (撮影) タブ

グループ		メニュー項目
画質/記録		JPEG画質
		JPEG画像サイズ
		アスペクト比
		記録方式
		動画設定
		スロー&クイック設定
		プロキシ設定
		高感度ノイズ低減
		色空間
	メディア	
		管理ファイル修復
		メディア残量表示
ファイル		ファイル/フォルダー設定
		記録フォルダー選択
		フォルダー新規作成
		シリアル番号書き込み
		ファイル設定

グループ	  	メニュー項目
撮影モード	  	 撮影モード
	  	 撮影モード
	  	 撮影モード
ドライブモード	  	ドライブモード
	  	インターバル撮影機能
シャッター/サイレント	  	 サイレントモード
	  	カードなしリリース
音声記録	  	音声記録
	  	録音レベル
	  	風音低減
	  	音声レベル表示
手ブレ補正	  	 手ブレ補正
ズーム	  	 ズーム範囲
	  	ズームスピード
	  	 ステップズーム倍率
撮影画面表示	  	 グリッドライン表示
	  	 グリッドラインの種類
	  	ライブビュー表示
	  	記録中の強調表示
マーカー表示	  	マーカー表示
	  	センターマーカー
	  	アスペクトマーカー
	  	セーフティゾーン
	  	ガイドフレーム
撮影オプション	  	商品レビュー用設定
	  	 セルフタイマー

(露出/色) タブ

グループ	  	メニュー項目
露出	  	オートスローシャッター
	  	 ISO感度
露出補正	  	 露出補正

グループ	  	メニュー項目
測光	  	 測光モード
	  	 マルチ測光時顔優先
ホワイトバランス	  	 ホワイトバランス
	  	 AWB時の優先設定
カラー/トーン	  	 Dレンジオプティマイザー
	  	 クリエイティブルック
	  	 ピクチャープロファイル
	  	 美肌効果
ゼブラ表示	  	 ゼブラ表示
	  	 ゼブラレベル

AF_{MF} (フォーカス) タブ

グループ	  	メニュー項目
AF/MF	  	 フォーカスモード
	  	プリAF
	  	 フォーカス設定
フォーカスエリア	  	 フォーカスエリア
被写体認識	  	 AF時の被写体認識
	  	 認識対象
	  	右目/左目選択
	  	 被写体認識枠表示
	  	個人顔登録
	  	 登録顔優先
ピント補助	  	 MF時自動ピント拡大
	  	ピント拡大
	  	 ピント拡大時間
	  	 ピント拡大初期倍率
	  	 ピント拡大初期倍率
ピーキング表示	  	 ピーキング表示
	  	 ピーキングレベル
	  	 ピーキング色

▶ (再生) タブ

グループ	  	メニュー項目
再生対象	  	ビューモード
拡大	  	 拡大
	  	 拡大の初期倍率
	  	 拡大の初期位置
セクション/メモ	  	プロテクト
	  	レーティング
	  	レーティング カスタムキー設定
削除	  	削除
	  	 2度押しで削除
	  	削除確認画面
編集	  	回転
	  	動画から静止画作成
鑑賞	  	 インターバル連続再生
	  	 インターバル再生速度
	  	スライドショー
再生オプション	  	一覧表示
	  	グループ表示
	  	記録画像の回転表示
	  	日時指定で画像表示

🌐 (ネットワーク) タブ

グループ	  	メニュー項目
📱 接続/PCリモート	  	スマートフォン接続
	  	 カメラで選んで転送
	  	 転送状態リセット
	  	📱 電源OFF中の接続
	  	リモート撮影設定
Wi-Fi	  	Wi-Fi情報表示
	  	SSID・PWリセット

グループ	  	メニュー項目
Bluetooth	  	Bluetooth機能
	  	ペアリング
	  	ペアリング済み機器管理
	  	Bluetoothリモコン
	  	機器アドレス表示
ネットワークオプション	  	機内モード
	  	機器名称変更
	  	ネットワーク設定リセット

(セットアップ) タブ

グループ	  	メニュー項目
エリア/日時	  	エリア/日時設定
設定初期化	  	設定リセット
操作カスタマイズ	   	カスタムキー設定
	   	カスタムキー設定
	   	カスタムキー設定
	  	Fnメニュー設定
	  	DISP(画面表示)設定
	   	シャッターボタンでREC
タッチ操作	  	タッチ操作
	  	アイコンタッチ機能
	  	上方向にスワイプ
	  	撮影時のタッチ機能
モニター	  	モニター明るさ
	  	モニター反転表示
表示オプション	  	ガンマ表示アシスト
	  	ガンマ表示アシスト方式
	   	オートレビュー
電源オプション	   	モニター自動OFF
	  	パワーセーブ開始時間
	  	モニター収納時の機能
	  	自動電源OFF温度

グループ	  	メニュー項目
サウンドオプション	  	音量設定
	  	電子音(撮影)
	  	電子音(起動/終了)
USB	  	USB接続モード
	  	USB LUN設定
	  	USB給電
外部出力	  	 HDMI解像度
	  	 HDMI出力設定
	  	HDMI情報表示
	  	HDMI機器制御
セットアップオプション	  	録画ランプ
	  	バージョン
	  	プライバシー通知
	  	認証マーク表示

☆ (マイメニュー) タブ

グループ	  	メニュー項目
マイメニュー設定	  	項目の追加
	  	項目の並べ替え
	  	項目の削除
	  	ページの削除
	  	全て削除
	  	マイメニューから表示

ご注意

- ここに記載しているメニュータブの順番は、実際とは異なります。

デジタルカメラ
ZV-1F

この章の目次

この章（「撮影機能を活用する」）で説明している機能の一覧です。各項目名から、それぞれの機能を説明するページに移動できます。

撮影モードを選ぶ

- 撮影モード（動画）
- 撮影モード（スロー&クイックモーション）
- 撮影モード（静止画）：おまかせオート
- 撮影モード（静止画）：プログラムオート
- 撮影モード（静止画）：絞り優先
- 撮影モード（静止画）：シャッタースピード優先
- 撮影モード（静止画）：マニュアル露出
- オートスローシャッター

自分撮り動画やVlog撮影に便利な機能

- 商品レビュー用設定
- 背景のボケ切替
- セルフタイマー（動画）

フォーカス（ピント）を合わせる

- ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）
- ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）
- マニュアルフォーカス（フォーカス設定）

被写体認識

- 人の瞳にピントを合わせる
- AF時の被写体認識（静止画/動画）
- 認識対象（静止画/動画）
- 右目/左目選択
- 被写体認識枠表示（静止画/動画）
- 個人顔登録
- 登録顔優先（静止画/動画）

フォーカス機能を使う

- フォーカススタンダード
- AF/MF切替
- プリAF
- MF時自動ピント拡大（静止画/動画）
- ピント拡大
- ピント拡大時間（静止画/動画）
- ピント拡大初期倍率（動画）
- ピント拡大初期倍率（静止画）
- ピーキング表示

露出/測光を調整する

- 露出補正（静止画/動画）
- ヒストグラムについて
- Dレンジオブティマイザー（静止画/動画）

- 測光モード（静止画/動画）
- マルチ測光時顔優先（静止画/動画）
- AEロック
- ゼブラ表示

ISO感度を選ぶ

- ISO感度（静止画/動画）

ホワイトバランス

- ホワイトバランス（静止画/動画）
- 基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する（カスタムホワイトバランス）
- AWB時の優先設定（静止画/動画）

画像に効果を加える

- クリエイティブルック（静止画/動画）
- ピクチャープロファイル（静止画/動画）
- 美肌効果（静止画/動画）

ドライブ機能を使う（連写/セルフタイマー）

- ドライブモード
- 連続撮影
- 速度優先連写
- セルフタイマー（1枚）

セルフタイマー（動画）

インターバル撮影機能

画質や記録形式を設定する

- JPEG画質
- JPEG画像サイズ
- アスペクト比
- 色空間
- 記録方式（動画）
- 動画設定（動画）
- スロー&クイック設定
- プロキシ設定

タッチ機能を使う

- タッチ操作
- アイコンタッチ機能
- 上方向にスワイプ
- 撮影時のタッチ機能
- タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）
- タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）
- タッチ操作で撮影する（タッチシャッター）

シャッターの設定

- サイレントモード（静止画/動画）
- カードなしリリース

ズームする

- 本機で使用できるズームの種類
- ズームする

- [ズーム範囲（静止画/動画）](#)
- [ズームスピード](#)
- [ステップズーム倍率（静止画/動画）](#)
- [ズーム倍率について](#)

手ブレを補正する

- [手ブレ補正（動画）](#)

ノイズリダクション

- [高感度ノイズ低減](#)

撮影中の画面表示を設定する

- [オートレビュー（静止画）](#)
- [グリッドライン表示（静止画/動画）](#)
- [グリッドラインの種類（静止画/動画）](#)
- [ライブビュー表示](#)
- [ブライトモニタリング](#)
- [記録中の強調表示](#)
- [マーカー表示](#)
- [ガンマ表示アシスト](#)
- [ガンマ表示アシスト方式](#)

動画の音声を記録する

- [音声記録](#)
- [録音レベル](#)
- [風音低減](#)
- [音声レベル表示](#)

画像と音声をライブ配信する（USBストリーミング）

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影モード（動画）



動画撮影時の撮影モードを設定できます。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、動画撮影モードにする。
- 2 MENU → (撮影) → [撮影モード] → [撮影モード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

(おまかせオート) :

カメラまかせで動画を撮影する。

(プログラムオート) :

露出（シャッタースピードと絞り）はカメラが自動設定する。

(絞り優先) :

絞りを手動設定する。

(シャッタースピード優先) :

シャッタースピードを手動設定する。

(マニュアル露出) :

露出（シャッタースピードと絞り）を手動設定する。

関連項目

- [動画を撮影する（おまかせオート）](#)


デジタルカメラ
ZV-1F

撮影モード（スロー&クイックモーション）



スロー&クイックモーション撮影時の撮影モードを設定できます。撮影時の設定や再生速度については [**S&Q** スロー&クイック設定] で変更できます。

① 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、**S&Q**（スロー&クイックモーション）モードにする。

② MENU → （撮影） → [撮影モード] → [**S&Q** 撮影モード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

i S&Q（おまかせオート）：

カメラまかせでスロー&クイックモーション動画を撮影する。

S&Q P（プログラムオート）：

露出（シャッタースピードと絞り）はカメラが自動設定する。

S&Q A（絞り優先）：

絞りを手動設定する。

S&Q S（シャッタースピード優先）：

シャッタースピードを手動設定する。

S&Q M（マニュアル露出）：

露出（シャッタースピードと絞り）を手動設定する。

関連項目

- [スロー&クイック設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影モード（静止画）



静止画撮影時に、撮りたい被写体や操作したい機能に合わせて、撮影モードを設定します。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、静止画撮影モードにする。
- 2 MENU → （撮影） → [撮影モード] → [撮影モード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

i （おまかせオート）：
カメラまかせで撮影する。

P （プログラムオート）：
露出（シャッタースピードと絞り）はカメラが自動設定するが、その他の設定は自分で調整できる。

A （絞り優先）：
背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。

S （シャッタースピード優先）：
動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。

M （マニュアル露出）：
露出（シャッタースピードと絞り）を調節して、好みの露出で撮影する。

関連項目



- [撮影モード（静止画）：おまかせオート](#)
- [撮影モード（静止画）：プログラムオート](#)
- [撮影モード（静止画）：絞り優先](#)
- [撮影モード（静止画）：シャッタースピード優先](#)
- [撮影モード（静止画）：マニュアル露出](#)

デジタルカメラ
ZV-1F


撮影モード（静止画）：おまかせオート





カメラまかせで静止画撮影をします。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、静止画撮影モードにする。
- 2 MENU → （撮影） → [撮影モード] → [ 撮影モード] → [おまかせオート] を選ぶ。
- 3 被写体にカメラを向ける。
- 4 ピントを合わせて撮影する。

ヒント

- 被写体が動いていることをカメラが認識すると、（動き）マークが表示されます。

ご注意

- [おまかせオート] の場合、 [ ISO感度] や [ ホワイトバランス] は自動設定となり、自分で変更できません。

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影モード（静止画）：プログラムオート



露出（シャッタースピードと絞り）はカメラが自動設定します。
[ISO感度]などの撮影機能を好みの設定に変更できます。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、静止画撮影モードにする。
- 2 MENU → （撮影） → [撮影モード] → [撮影モード] → [プログラムオート] を選ぶ。
- 3 撮影機能を希望の設定にする。
- 4 ピントを合わせて撮影する。

プログラムシフト

カメラが設定した適正露出のまま、シャッタースピードと絞り（F値）の組み合わせを変更できます。
コントロールホイールを回し、絞り値とシャッタースピードの組み合わせを選んでください。

- コントロールホイールを回すと、モニターの表示が「P」から「P*」に変わります。
- 解除するには、撮影モードを[プログラムオート]以外にするか、カメラの電源を切ってください。

ご注意



- 撮影する環境の明るさによって、プログラムシフトができない場合があります。
- 撮影モードを「P」以外にするか、電源を切ると設定は解除されます。
- 明るさが変わるとシャッタースピードと絞り（F値）はプログラムシフトの組み合わせを保持したまま変化します。

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影モード（静止画）：絞り優先



ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、静止画撮影モードにする。
- 2 MENU → （撮影） → [撮影モード] → [ 撮影モード] → [絞り優先] を選ぶ。
- 3 コントロールホイールで希望の数値を選ぶ。
 - 絞り値を小さくする：被写体の前後がぼける。
絞り値を大きくする：被写体の前後までくっきりとピントが合う。
 - 設定した絞り値で適正露出にならないとカメラが判断した場合は、シャッタースピードが点滅します。この場合は、絞り値を変更してください。
- 4 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、シャッタースピードが自動的に設定される。

ご注意



- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影モード（静止画）：シャッタースピード優先



シャッタースピードを調整し、動きを止めて写したり、軌跡を写したりするなど動くものの表現を変えた撮影ができます。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、静止画撮影モードにする。
- 2 MENU → （撮影） → [撮影モード] → [ 撮影モード] → [シャッタースピード優先] を選ぶ。
- 3 コントロールホイールで希望の数値を選ぶ。
 - 設定したシャッタースピードで適正露出にならないとカメラが判断した場合は、絞り値が点滅します。この場合は、シャッタースピードを変更してください。
- 4 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、絞り値が自動的に設定される。

ヒント

- シャッタースピードを遅くするときは手ブレを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- 室内スポーツを撮影するときは、ISO感度を高くしてください。

ご注意

- シャッタースピード優先モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影モード（静止画）：マニュアル露出



絞り値とシャッタースピードの両方を調節して、自分の好みの露出で撮影できます。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、静止画撮影モードにする。
- 2 MENU → （撮影） → [撮影モード] → [撮影モード] → [マニュアル露出] を選ぶ。
- 3 コントロールホイールの下を押し、シャッタースピードか絞り値を選び、コントロールホイールを回して、値を選ぶ。
 - マニュアル露出モードでも [ISO感度] を [ISO AUTO] に設定できます。調整した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO感度が変化します。
 - [ISO感度] を [ISO AUTO] に設定したとき、設定した値で適正露出にならないとカメラが判断した場合は、ISO感度の表示が点滅します。この場合はシャッタースピードまたは絞り値を変更してください。
 - [ISO感度] が [ISO AUTO] 以外の場合、「MM」（メータードマニュアル）*で露出値を確認できます。
 - +側：明るく写る。
 - 側：暗めに写る。
 - 0：カメラが判断した適正露出。

* 適正露出に対するアンダー/オーバーを示します。
- 4 ピントを合わせて撮影する。

ヒント

- カスタムキー設定で [押す間AEL] または [再押しAEL] を割り当てて、そのキーを押してからコントロールホイールを回すと、設定した露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます。（マニュアルシフト）

ご注意

- メータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

関連項目

- [ISO感度（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

オートスローシャッター



動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定します。この機能は、スロー&クイックモーション撮影時には使用できません。

① MENU → (露出/色) → [露出] → [オートスローシャッター] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
オートスローシャッターを使う。暗い場所での撮影時、自動的にシャッタースピードが遅くなる。シャッタースピードを遅くすることで、暗い場所を撮影する際に発生する映像のノイズ感を改善することができる。

切：
オートスローシャッターを使わない。[入] のときよりも画像が暗くなるが、被写体のブレが少なく、動きがよりなめらかに撮影できる。

ご注意

- 以下のときは、[オートスローシャッター] は働きません。
 - S (シャッタースピード優先)
 - M (マニュアル露出)
 - [ISO感度] が [ISO AUTO] 以外するとき

デジタルカメラ
ZV-1F

商品レビュー用設定



商品レビュー撮影などに適した設定にします。画面手前の商品にピントが合いやすくなります。

① (商品レビュー用設定) ボタンを押して、**【商品レビュー用設定】** の入/切を切り替える。

MENU → / (撮影) → **【撮影オプション】** でも設定できます。

メニュー項目の詳細

入：

商品レビューに適した設定で撮影する。[被写体認識] の [AF時の被写体認識] が [切] に、 [フォーカスエリア] が [スポット: M] に固定されます。

切：

通常の撮影モードで撮影する。

ヒント

- 商品にピントを合わせる際は、商品が画面中央の枠を覆うように被写体の位置を調節してください。
- デジタルズーム使用時は画面中央に枠は表示されませんが、商品が画面中央に配置されるように被写体の位置を調節してください。

ご注意

- 動画録画中は **【商品レビュー用設定】** の設定を変更できません。

デジタルカメラ
ZV-1F

背景のボケ切換







静止画や動画を撮影中に、ボタンを押すだけで背景のぼけ具合（ぼける/くっきりする）を切り換えることができます。

1 (背景のボケ切換) ボタンを繰り返し押す。




1度ボタンを押すと「背景のボケ切換」モードになり、背景がぼける。以降は、ボタンを押すたびに背景のぼけ具合（ぼける/くっきりする）が切り換わる。

- 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押すと通常の撮影モードに戻り、絞り値も元に戻ります。

ヒント

- 「背景のボケ切換」モードでは絞り値が固定され、絞り値の代わりにアイコンで  (ぼけ) または  (くっきり) が表示されます。  (ぼけ) 時は絞り値が開放値に、  (くっきり) 時は絞り値がF5.6に固定されます。

ご注意

- 以下の操作を行うと、「背景のボケ切換」モードが解除され通常の撮影モードに戻ります。
 - 電源を切ってから再度電源を入れる
 - 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押す
 - MENUボタンを押す
 - 撮影モードが「絞り優先」または「マニュアル露出」のときにコントロールホイールで絞り値を変更する
 -  露出補正
 - プログラムシフトやマニュアルシフトを行う
- 「背景のボケ切換」モードで「 フォーカス設定」または「 ピント拡大」を使用している間は、キーを押してもぼけ具合を切り換えられません。
- 「背景のボケ切換」モードでは絞り値が固定されるため、撮影モードや撮影環境によっては適正露出にならない場合があります。

デジタルカメラ
ZV-1F

セルフタイマー（動画）



動画撮影時にセルフタイマーで撮影を開始することができます。

1 コントロールホイールの / （ドライブモード）を押す。

[セルフタイマー] の設定画面が表示される。

- MENU → （撮影） → [撮影オプション] → [セルフタイマー] でも設定できます。

2 コントロールホイールで [入] を選び、希望のカウントダウン時間を設定する。

- カウントダウン：撮影開始までのカウント時間を設定します。（3秒/5秒/10秒）
- 繰り返し：動画セルフタイマーの繰り返しを設定します。（繰り返し/1回のみ）
[繰り返し] を選ぶと、動画撮影終了後も繰り返し動画セルフタイマーが有効となります。[1回のみ] を選ぶと、動画撮影終了後に動画セルフタイマーは解除され、通常の動画撮影待機モードになります。

3 ピントを合わせてMOVIE（動画）ボタンを押す。

撮影待機画面にカウントダウンが表示されると同時に、セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。

- 撮影を終了するにはもう一度MOVIEボタンを押してください。

メニュー項目の詳細

入：
動画セルフタイマーを使う。

切：
動画セルフタイマーを使わない。

ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度MOVIEボタンを押すか、 [セルフタイマー] 機能を割り当てたキーを押してください。

ご注意

- 静止画撮影モードでMOVIEボタンを押して動画撮影を開始した場合は、 [セルフタイマー] は働きません。

デジタルカメラ
ZV-1F

ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）



被写体の動きに応じてピント合わせの方法を選べます。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [AF/MF] → [フォーカスモード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

AF-S シングルAF（静止画撮影時のみ）：
ピントが合った時点でピントを固定する。動きのない被写体で使う。

AF-C コンティニユアスAF（動画撮影時のみ）：
動画撮影時に、ピントを合わせ続ける。

MF マニュアルフォーカス：
ピント合わせを手動で行う。オートフォーカスで意図した被写体にピントが合わないときには、[マニュアルフォーカス]で操作してください。

フォーカス表示

- 点灯：
ピントが合って固定されている。
- 点滅：
ピントが合っていない。

ピントが合いにくい被写体

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体
- ビルの外観など、繰り返しパターンの連続するもの
- フォーカスエリアの中に距離の異なるものが混じっているとき

ヒント

- [マニュアルフォーカス]で無限遠にピントを合わせるときは、充分遠くにある被写体にピントが合っていることをモニター上で確認してください。

ご注意

- 動画撮影時は、[コンティニユアスAF]または[マニュアルフォーカス]のみ選べます。

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）（静止画/動画）](#)
- [マニュアルフォーカス（フォーカス設定）](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

ピントを合わせるエリアを選ぶ (フォーカスエリア)



オートフォーカスで撮影するときのフォーカス枠の種類を設定します。被写体に合わせて設定してください。

① MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [フォーカスエリア] → [フォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ワイド :

モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。静止画撮影でシャッターボタンを半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。

ゾーン :

モニター上でピントを合わせたいゾーンの位置を選ぶと、その中で自動でピントを合わせる。

中央固定 :

モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。フォーカスロックと併用して好きな構図で撮影が可能。

スポット: S/スポット: M/スポット: L :

モニター上の好きなところにフォーカス枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。

拡張スポット :

[スポット] の周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周囲のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。

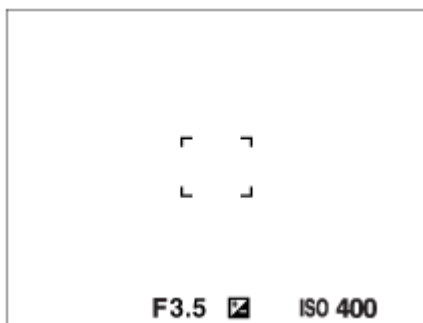
ご注意

- 連続撮影時やシャッターボタンを一気に押し込んだときなどには、フォーカスエリアが点灯しないことがあります。

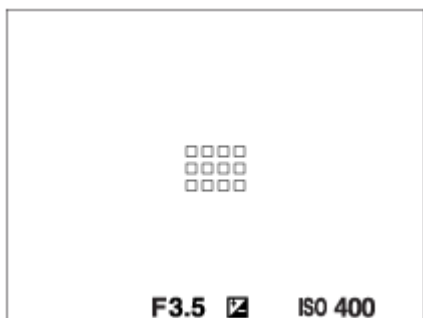
フォーカス枠表示例

フォーカス枠表示は下記の種類があります。

広いエリアでピントが合ったとき

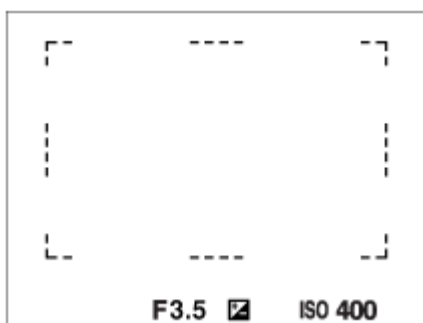


狭いエリアでピントが合ったとき



- [フォーカスエリア] が [ワイド] または [ゾーン] のときは、被写体やシーンによって「広いエリアでピントが合ったとき」または「狭いエリアでピントが合ったとき」の表示になります。

モニター全体を基準に自動でピントが合ったとき



- ズーム使用時は、[フォーカスエリア] の設定は無効になり、フォーカス枠は点線で表示されます。中央付近を優先したAF動作になります。

フォーカスエリアの移動方法

- [フォーカスエリア] が [ゾーン]、[スポット] または [拡張スポット] のときに、[フォーカススタンダード] が割り当てられているボタンを押すと、コントロールホイールの上/下/左/右でフォーカス枠の位置を変更しながら撮影できます。フォーカス枠を中央に移動するには、移動中に [削除] ボタンを押してください。コントロールホイールを使って撮影設定などを変更する場合は、[フォーカススタンダード] を割り当てたボタンを押してください。

ヒント

- タッチ操作で、モニターのフォーカス枠をドラッグしすばやく移動させることができます。あらかじめ、[タッチ操作] を [入] に、[撮影時のタッチ機能] を [タッチフォーカス] に設定してください。

ご注意

- フォーカス枠の移動中は、コントロールホイールと [削除] ボタンに割り当てられた機能を実行できません。

関連項目

- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [タッチ操作](#)
- [タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F


被写体を追尾する（トラッキング）

本機には、被写体を追尾してフォーカス枠を合わせ続ける「トラッキング」機能があります。

- このページの最後に記載している「関連項目」から関連機能に移動できます。

トラッキングの開始位置をタッチ操作で指定する（〔撮影時のタッチ機能〕の〔タッチトラッキング〕）

モニター上でトラッキングしたい被写体をタッチします。

- 〔 フォーカスモード〕が〔シングルAF〕（静止画撮影時）、〔コンティニユアスAF〕（動画撮影時）のとき使用できます。
-

関連項目

- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

マニュアルフォーカス（フォーカス設定）



オートフォーカスでピントが合いにくいときに、手動でピントを合わせるすることができます。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [AF/MF] → [フォーカスモード] → [マニュアルフォーカス] を選ぶ。
- 2 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [AF/MF] → [フォーカス設定] を選ぶ。
マニュアルフォーカスでフォーカスを調整する画面になる。
- 3 コントロールホイールの左/右を押す、またはコントロールホイールを回してピントを調整する。
 - 画面にフォーカス距離が表示されます。
 - さまざまな条件下で良好なピント合わせが行えるように、フォーカス位置は無限遠を越えて移動できるようになっています。無限遠撮影時でもフォーカス指標の端まで動かさず、モニターを見ながらピント合わせを行ってください。
 - コントロールホイールの中央を押すと元の撮影画面に戻ります。

ヒント

- [MF時自動ピント拡大] を使うと、マニュアルフォーカスのピントの調整時に、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします。拡大表示中はコントロールホイールの上/下/左/右で拡大位置を調整できます。コントロールホイールを回してピントを調整してください。
- [ピーキング表示] を使うと、マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります。
- [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で希望のキーに [フォーカススタンダード] を割り当てておくと、マニュアルフォーカス撮影のときに割り当てたキーを押すことでもフォーカスを調整する画面になります。

ご注意

- [フォーカスモード] を選び直すと、手動で設定したフォーカスの距離は解除されます。
- 画面に表示されるフォーカス距離は目安です。

関連項目

- MF時自動ピント拡大（静止画/動画）
- ピーキング表示

デジタルカメラ
ZV-1F

人の瞳にピントを合わせる

カメラが自動で顔や瞳を認識し、瞳にピントを合わせることができます。

ここでは、認識対象を人物にした場合を説明します。最大8人の顔を認識できます。

瞳にピントを合わせるには、2種類の実行方法があります。仕様が一部異なるため、用途に合わせて使い分けることをおすすめします。


項目	〔AF時の被写体認識〕機能	カスタムキーの〔被写体認識AF〕
特徴	顔や瞳を最優先して認識する	顔や瞳のみ認識する
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> 〔AF時の被写体認識〕を〔入〕にする 〔認識対象〕を〔人物〕にする。 	〔カスタムキー設定〕で〔被写体認識AF〕をお好みのボタンに割り当てる
ピント合わせの方法	シャッターボタンを半押しする	〔被写体認識AF〕を割り当てたボタンを押す*
機能の詳細	<ul style="list-style-type: none"> 設定した〔フォーカスエリア〕やその周辺に顔や瞳があるときは、顔や瞳に優先的にピントを合わせる。 設定した〔フォーカスエリア〕やその周辺で顔や瞳が認識されないときは、認識可能な他の被写体にピントを合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〔フォーカスエリア〕の設定によらず、画面全域を使って、顔や瞳にのみピントを合わせる。 画面全域で顔や瞳が認識されないときは、ピント合わせを行わない。
フォーカスモード	〔フォーカスモード〕の設定に従う	〔フォーカスモード〕の設定に従う
フォーカスエリア	〔フォーカスエリア〕の設定に従う	設定によらず、一時的に画面全域となる

* 〔AF時の被写体認識〕が〔入〕/〔切〕どちらに設定されていても、〔被写体認識AF〕を割り当てたボタンを押している間は、カスタムキーの〔被写体認識AF〕を使用できます。

カスタムキーの〔被写体認識AF〕を使うには

カスタムキーに〔被写体認識AF〕を割り当てると、キーを押している間だけ瞳にピントを合わせることができます。〔フォーカスエリア〕の設定にかかわらず、一時的に画面全体でピント合わせを行いたいときに便利です。

顔や瞳が認識できない場合は、AF動作は行いません。

- MENU→ (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] → 希望のキーに〔被写体認識AF〕の機能を設定する。
- MENU→AF_{MF} (フォーカス) → [被写体認識] → [認識対象] → [人物] を選ぶ。
- 人の顔にカメラを向け、〔被写体認識AF〕の機能を割り当てたキーを押す。
キーを押したままシャッターボタンを押してください。

動物の瞳にピントを合わせるには

〔認識対象〕を〔動物(のみ)〕に設定して撮影します。

認識対象が動物の場合は、静止画撮影時のみ瞳を認識することができます。

ヒント

- [被写体認識枠表示] を [入] にすると、顔や瞳の認識状況を確認しやすくなります。

ご注意

- 以下の場合など、状況によってはうまく瞳にピントが合わないことがあります。
 - メガネ（サングラス）をかけた状態
 - 前髪がかかった状態
 - 低照度、逆光時
 - 目を閉じた状態
 - 影がかかった状態
 - ピントが大きくずれた状態
 - 被写体の動きが大きいとき
- ほかにも、状況によって瞳にピントを合わせられない場合があります。
- 人の瞳にピントを合わせられないときは、顔を認識して顔にピントを合わせます。人の顔を認識できない場合、瞳にピントを合わせることはできません。
- 状況によっては、顔が認識できなかつたり、顔以外を誤認識することがあります。
- 以下のときは顔や瞳を認識することができません。
 - デジタルズーム使用時
- 動画撮影モードのときは、以下の場合には顔を認識することができません。
 - [記録方式] が [XAVC S 4K] で、[Px プロキシ設定] の [Px プロキシ記録] が [入] のとき
 - [記録方式] が [XAVC S 4K]、[動画設定] の [記録フレームレート] が [30p] で、[HDMI出力設定] の [HDMI出力時のメディア記録] を [入] に設定しているとき
 - [記録方式] が [XAVC S 4K] で、パソコンなどからカメラに接続しているとき
 - [記録方式] が [XAVC S 4K] で、スマートフォンからのリモート撮影時
 - [記録方式] が [XAVC S HD] で、[動画設定] の [記録フレームレート] が [120p] のとき

関連項目

- [AF時の被写体認識（静止画/動画）](#)
- [認識対象（静止画/動画）](#)
- [右目/左目選択](#)
- [被写体認識枠表示（静止画/動画）](#)
- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

AF時の被写体認識（静止画/動画）



オートフォーカスのときに、フォーカスエリア内にある被写体を認識してピントを合わせるかどうかを設定します。

① MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [被写体認識] → [AF時の被写体認識] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

設定したフォーカスエリアやその周辺に認識できる被写体があるときは、優先的にピントを合わせる。

切：

オートフォーカスのときに被写体を認識しない。

ヒント

- [カスタムキー設定] または [▶ カスタムキー設定] で希望のキーに [AF時の被写体認識] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびに [AF時の被写体認識] の入/切を切り替えることができます。

ご注意

- 設定したフォーカスエリアやその周辺で [認識対象] で指定した被写体が認識されないときは、認識可能な他の被写体にピントを合わせます。

デジタルカメラ
ZV-1F

認識対象（静止画/動画）



オートフォーカス時の被写体認識で認識する対象を選択します。

① MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [被写体認識] → [認識対象] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

人物：

人物を被写体として認識する。

動物(📷のみ)：

動物を被写体として認識する。

ヒント

- 動物の瞳を検出させるときは、動物の両目と鼻が画角に入るようにしてください。一度、動物の顔にピントを合わせておくと、動物の瞳を検出しやすくなります。

ご注意

- [認識対象] が [動物(📷のみ)] のときは、以下の機能は使用できません。
 - マルチ測光時顔優先
 - 登録顔優先
 - 動画撮影時の瞳認識
- [認識対象] を [動物(📷のみ)] に設定していても、すべての動物の瞳を検出できるわけではありません。

デジタルカメラ
ZV-1F

右目/左目選択



カメラが人物の瞳を認識したときに、左右どちらの瞳にピント合わせを行うかを設定します。

① MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [被写体認識] → [右目/左目選択] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート:

カメラが自動で左右どちらかの瞳を選択する。

右目:

被写体の右目（撮影者側から見て左側の目）を選択する。

左目:

被写体の左目（撮影者側から見て右側の目）を選択する。

カスタムキーの [右目/左目切換] を使うには

カスタムキーでピントを合わせる瞳の左右を切り換えることもできます。

[右目/左目選択] を [右目] または [左目] に設定しているときは、[右目/左目切換] を割り当てたカスタムキーを押すたびにピントを合わせる瞳の左右を切り換えることができます。

[右目/左目選択] を [オート] に設定しているときは、[右目/左目切換] を割り当てたカスタムキーで一時的にピントを合わせる瞳の左右を切り換えることができます。

以下の操作などを行うと、一時的な左右の選択は解除され、カメラが自動的に瞳を選択する状態に戻ります。

- コントロールホイールの中央を押す
- シャッターボタンの半押しをやめる
- [被写体認識AF] を割り当てたカスタムキーを押すのをやめる
- MENUボタンを押す

ヒント

- [被写体認識枠表示] を [入] に設定しておく、[右目/左目選択] やカスタムキーの [右目/左目切換] で選んだほうの瞳に認識枠が表示されます。

ご注意

- [認識対象] が [動物(のみ)] のときは、右目/左目を選択することはできません。

デジタルカメラ
ZV-1F

被写体認識枠表示（静止画/動画）



被写体を認識したときに被写体認識枠を表示するかどうかを設定します。

① MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [被写体認識] → [被写体認識枠表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

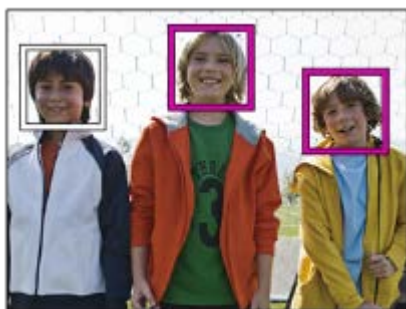
被写体を認識すると被写体認識枠を表示する。

切：

被写体を認識しても被写体認識枠を表示しない。

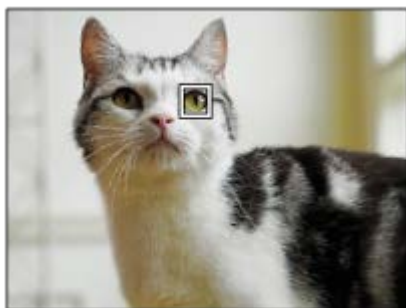
顔認識枠について

顔を認識すると灰色の顔認識枠が表示されます。[個人顔登録]で登録されている顔の場合、枠の色は赤紫です。認識した顔がフォーカスエリアやその周辺にあり、オートフォーカス可能と判断されると、認識枠は白色になります。



瞳認識枠について

瞳を認識し、オートフォーカス可能と判断されると、白色の瞳認識枠が表示されます。
[認識対象]が[動物(のみ)]の場合は、以下のように瞳認識枠が表示されます。



ご注意

- 被写体の動きが大きいときや速いときは、瞳認識枠の表示がずれることがあります。
- 瞳を認識できないときは、瞳認識枠は表示されません。

- [被写体認識枠表示] を [切] に設定していても、シャッターボタンを半押しするなどしてピントが合った顔や瞳には緑色のフォーカス枠が表示されます。

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

個人顔登録



個人顔データの設定を行います。あらかじめ顔情報を登録しておくことで、登録された顔を優先してピント合わせを行います。

最大8人の顔を登録できます。

① MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [被写体認識] → [個人顔登録] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

新規登録：

登録したい人物の顔を撮影して登録する。

優先順序変更：

複数の顔を登録している場合に、登録した顔データの優先順序を変更する。

削除：

登録した顔をひとつずつ削除する。

全て削除：

登録したすべての顔をまとめて削除する。

ご注意

- [新規登録]を行うときは、明るい場所で、正面を向いて撮影してください。帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れると、正しく登録できない場合があります。
- [削除]を行ってもカメラ内には登録した顔のデータが残っています。カメラ内からも削除したい場合は、[全て削除]を行ってください。

関連項目

- [登録顔優先 \(静止画/動画\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

登録顔優先（静止画/動画）



〔個人顔登録〕で登録した顔を優先してピント合わせを行うかどうかを設定します。

① MENU → AF_{MF}（フォーカス） → 〔被写体認識〕 → 〔登録顔優先〕 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

〔個人顔登録〕で登録した顔を優先してピントを合わせる。

切：

登録した顔を優先せずにピントを合わせる。

ヒント

- 〔登録顔優先〕機能を使用する場合は、以下のように設定してください。
 - － 〔被写体認識〕の〔AF時の被写体認識〕：〔入〕
 - － 〔被写体認識〕の〔認識対象〕：〔人物〕

関連項目

- [AF時の被写体認識（静止画/動画）](#)
- [個人顔登録](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

フォーカスタンダード



【フォーカスタンダード】を割り当てたボタンを押すと、フォーカス枠の位置をすばやく移動するなど、フォーカスエリア設定に応じて便利な機能呼び出せます。

- 1 MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] → 希望のキーに【フォーカスタンダード】の機能を設定する。
- 2 【フォーカスタンダード】を割り当てたキーを押す。
 - [フォーカスエリア] の設定によってキーを押したときにできることが変わります。

【フォーカスタンダード】の機能例

- [フォーカスエリア] が以下のときは、キーを押すとコントロールホイールの上/下/左/右でフォーカス枠の位置を移動できます。
 - [ゾーン]
 - [スポット: S] / [スポット: M] / [スポット: L]
 - [拡張スポット]
- [フォーカスエリア] が [ワイド]、[中央固定] のときは、オートフォーカス中にキーを押すと中央でピント合わせを行います。

ヒント

- [フォーカスモード] が [マニュアルフォーカス] のときに【フォーカスタンダード】を割り当てたキーを押すと、マニュアルフォーカスでフォーカスを調整する画面になります。

ご注意

- [左ボタン]、[右ボタン] には【フォーカスタンダード】を設定できません。

関連項目




- よく使う機能をボタンに割り当てる (カスタムキー設定) (静止画/動画)
- ピントを合わせるエリアを選ぶ (フォーカスエリア)

デジタルカメラ
ZV-1F

AF/MF切換



撮影中にカメラのホールディングを崩すことなく、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] → 希望のボタン → [押す間AF/MF切換] または [再押しAF/MF切換] を選ぶ。

メニュー項目の詳細

押す間AF/MF切換：

ボタンを押し続けている間、フォーカスが切り替わる。

再押しAF/MF切換：

ボタンを再度押すまで、フォーカスが切り替わる。

ご注意

- コントロールホイールの [左ボタン]、[右ボタン] には、[押す間AF/MFコントロール] を設定できません。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#) (静止画/動画)

デジタルカメラ
ZV-1F

プリAF



シャッター半押し前に、カメラが自動でピントを合わせます。

① MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [AF/MF] → [プリAF] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

シャッター半押し前に、カメラが自動でピントを合わせる。

切：

カメラが自動でピント合わせをしない。

ご注意

- ピント合わせの動作中は、画面が揺れることがあります。

デジタルカメラ
ZV-1F

MF時自動ピント拡大（静止画/動画）



マニュアルフォーカス撮影でピント合わせをするときに、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします。

- 1 MENU→AF_{MF}（フォーカス）→ [ピント補助] → [MF時自動ピント拡大] → [入] を選ぶ。
- 2 MENU→AF_{MF}（フォーカス）→ [フォーカス設定] を選び、コントロールホイールの上/下/左/右でピントを調整する。
 - 画像が拡大される。

ヒント

- 拡大表示する時間は、MENU→AF_{MF}（フォーカス）→ [ピント補助] → [ピント拡大時間] で設定できます。

関連項目

- [マニュアルフォーカス（フォーカス設定）](#)
- [ピント拡大時間（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ピント拡大



撮影前の画像を拡大してピントの確認ができます。

[MF時自動ピント拡大]とは違い、マニュアルフォーカス操作を行わないときでも画像を拡大できます。

- 1 MENU→AF_{MF}（フォーカス）→ [ピント補助] → [ピント拡大] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの中央を押して画像を拡大し、コントロールホイールの上/下/左/右で拡大位置を調整する。
 - 拡大表示する初期倍率は、MENU→AF_{MF}（フォーカス）→ [ピント補助] → [ピント拡大初期倍率] または [ピント拡大初期倍率] で設定できます。
- 3 ピントの確認をする。
 - （削除）ボタンを押すと拡大位置が中央に戻ります。
 - フォーカスモードが [マニュアルフォーカス] の場合は、拡大表示中にピントの調整を行えます。シャッターボタンを半押しすると拡大表示は解除されます。
 - 拡大表示する時間は、MENU→AF_{MF}（フォーカス）→ [ピント補助] → [ピント拡大時間] で設定できます。

タッチ操作でピント拡大を行うには

モニターをタッチして被写体を拡大表示し、ピントの調整を行うことができます。あらかじめ、[タッチ操作] を [入] に設定してください。フォーカスモードが [マニュアルフォーカス] のときに、ピントを合わせたい場所をダブルタップして [ピント拡大] ができます。

ヒント

- ピント拡大時、タッチパネルをドラッグして拡大位置を動かすことができます。
- ピント拡大を終了したい場合は、もう一度モニターをダブルタップしてください。シャッターボタンを半押ししても終了できません。


関連項目

- [MF時自動ピント拡大（静止画/動画）](#)
- [ピント拡大時間（静止画/動画）](#)
- [ピント拡大初期倍率（静止画）](#)
- [ピント拡大初期倍率（動画）](#)
- [タッチ操作](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ピント拡大時間（静止画/動画）



[ MF時自動ピント拡大] または [ピント拡大] 機能で拡大表示する時間を設定します。

① MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [ピント補助] → [ ピント拡大時間] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

2秒：

拡大表示を2秒間行う。

5秒：

拡大表示を5秒間行う。

無制限：

拡大時間を無制限にする。シャッターボタンの操作で解除される。

関連項目

- [MF時自動ピント拡大（静止画/動画）](#)
- [ピント拡大](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ピント拡大初期倍率（動画）



動画撮影時に「ピント拡大」を使って画像を拡大するときに、最初に表示する倍率を設定します。

① MENU → AF_{MF}（フォーカス） → 「ピント補助」 → [] ■ ピント拡大初期倍率 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

x1.0 :

撮影画面と同じ倍率で表示する。

x4.0 :

4.0倍に拡大する。

関連項目

- [ピント拡大](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ピント拡大初期倍率（静止画）



〔ピント拡大〕を使って画像を拡大するときに、最初に表示する倍率を設定します。フレーミングをしやすい設定を選んでください。

① MENU → AF_{MF}（フォーカス） → 〔ピント補助〕 → [ ピント拡大初期倍率] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

x1.0 :

撮影画面と同じ倍率で表示する。

x1.6 :

1.6倍に拡大する。

関連項目

- [ピント拡大](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ピーキング表示



マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を強調するピーキングの設定をします。

① MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [ピーキング表示] → メニュー項目を選び、希望の設定にする。

メニュー項目の詳細

ピーキング表示 :

ピーキング表示をするかどうかを設定する。([入] / [切])

ピーキングレベル :

ピントが合った部分の輪郭を強調するレベルを設定する。([高] / [中] / [低])

ピーキング色 :

ピントが合った部分の輪郭を強調する色を選ぶ。([レッド] / [イエロー] / [ブルー] / [ホワイト])

ご注意

- 画像のシャープな部分をピントが合ったと判断するため、被写体によって強調表示効果が異なります。
- HDMI接続時は、接続先の機器にはピーキングが表示されません。

関連項目

- [マニュアルフォーカス \(フォーカス設定\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

露出補正（静止画/動画）



通常は、露出が自動的に設定されます（自動露出）。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると画像全体を明るく、-側に補正すると画像全体を暗くできます（露出補正）。



① コントロールホイールの （ 露出補正）→コントロールホイールの左/右を押す、またはホイールを回して希望の補正值を選ぶ。

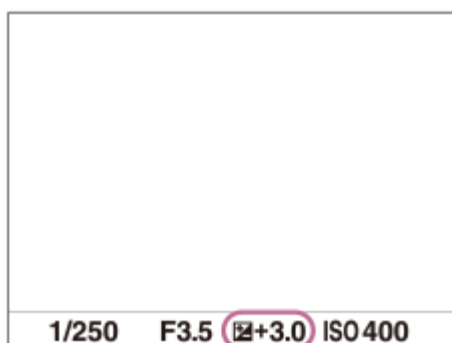
+（オーバー）側：

画像が明るくなる。

-（アンダー）側：

画像が暗くなる。

- MENU→（露出/色）→[露出補正]→ 露出補正]でも設定できます。
- -3.0EV～+3.0EVの範囲で設定できます。
- 設定した露出補正值は撮影画面で確認できます。



ヒント

- 動画撮影時は-2.0EVから+2.0EVの範囲で調整できます。

ご注意

- [マニュアル露出]時は、 ISO感度]が[ISO AUTO]のときのみ露出補正できます。

関連項目

- [ゼブラ表示](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ヒストグラムについて

ヒストグラムとは輝度分布のことで、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。
撮影画面や再生画面にヒストグラムを表示させるには、DISP（画面表示切換）ボタンを繰り返し押してください。

ヒストグラムの見かた

ヒストグラムは、左に行くほど暗く、右は明るいことを表しています。

露出補正をかけると、ヒストグラムもそれに応じて変化します。

ヒストグラムの左右両端のデータは、白とび/黒つぶれした部分があることを表しています。このような部分は、撮影後、画像をパソコンで補正しても再現することはできません。必要に応じて露出補正をしてから撮影してください。



(A) 画素数

(B) 明暗

ご注意

- ヒストグラムは、撮影結果ではなく、画面で見ている画像のヒストグラムになります。絞り値などにより結果が異なります。
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとおり大きく異なります。
 - － 夜景などの低輝度な被写体のとき

関連項目

- [DISP（画面表示切換）ボタンを使う](#)
- [露出補正（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

Dレンジオプティマイザー（静止画/動画）



被写体や背景の明暗の差を細かな領域に分けて分析し、最適な明るさと階調の画像にします。

① MENU → （露出/色） → [カラー/トーン] → [Dレンジオプティマイザー] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切：

明るさと階調の調整を行わない。

Dレンジオプティマイザー：

[Dレンジオプティマイザー：オート] を選ぶと、カメラが自動で調整する。撮影画像の階調を画像の領域ごとに最適化したいときは、[Dレンジオプティマイザー：Lv1]（弱）～[Dレンジオプティマイザー：Lv5]（強）で最適化レベルを選ぶ。

ご注意

- 以下の場合、 [Dレンジオプティマイザー] は [切] に固定されます。
 - [ピクチャープロフィール] が [切] 以外するとき
 - [記録フレームレート] が [120p] のとき
- [Dレンジオプティマイザー] 動作時は、ノイズが目立つ場合があります。特に補正効果を強めるときは、撮影後の画像を確認しながらレベルを選んでください。

デジタルカメラ
ZV-1F

測光モード（静止画/動画）



本機が自動で露出を決めるとき、モニターのどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

① MENU → （露出/色） → [測光] → [測光モード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

マルチ：

複数に分割したモニターを各エリアごとに測光し、画面全体の最適な露出を決定する（マルチパターン測光）。

中央重点：

モニターの中央部に重点をおきながら、全体の明るさを測光する（中央重点測光）。

スポット：

スポット測光サークル内のみで測光する。画面内の特定の場所を部分的に測光したいときに適している。測光サークルの大きさを[スポット: 標準]と[スポット: 大]から選択できる。

画面全体平均：

画面全体を平均的に測光する。構図や被写体の位置によって露出が変化しにくい。

ハイライト重点：

画面内のハイライト部分を重点的に測光する。被写体の白とびを抑えて撮影したいときに適している。

ヒント

- [マルチ]を選んでいる場合、 [マルチ測光時顔優先] を [入] にすると、カメラが検出した人物の顔の情報を基準に測光を行います。
- [測光モード] を [ハイライト重点] に設定して [Dレンジオプティマイザー] を使用すると、明暗の差を細かな領域に分けて分析し、明るさやコントラストが自動補正されます。撮影状況に合わせてご使用ください。

ご注意

- 以下のときは、 [測光モード] は [マルチ] に固定されます。
 - －ズーム使用時
- [ハイライト重点] を選択しているとき、撮りたい被写体よりも明るい物が画面内にあると、被写体が暗く写ることがあります。

関連項目

- [AEロック](#)
- [マルチ測光時顔優先（静止画/動画）](#)
- [Dレンジオプティマイザー（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

マルチ測光時顔優先（静止画/動画）



【 測光モード】を【マルチ】に設定しているときに、カメラが検出した人物の顔を基準に測光するかどうかを設定します。

① MENU → （露出/色） → 【測光】 → 【 マルチ測光時顔優先】 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

カメラが検出した顔情報を基準に測光を行う。

切：

顔検出は行わずに【マルチ】で測光を行う。

ご注意

- 【被写体認識】の【 AF時の被写体認識】が【入】で【 認識対象】が【動物(のみ)】のときは、【 マルチ測光時顔優先】は働きません。

関連項目

- [測光モード（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

AEロック



逆光や窓際などでの撮影で、背景と被写体に大きな明暗の差がある場合は、被写体が適正な明るさになる箇所で測光し、露出を固定して撮影します。被写体の明るさを抑えたいときは被写体よりも明るい箇所で測光し、被写体をより明るく写したいときは被写体よりも暗い箇所で測光し、画面全体の露出を固定します。

- 1 MENU→ (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] →希望のキーに[再押しAEL]を設定する。
- 2 露出を合わせる箇所に、ピントを合わせる。
- 3 [再押しAEL]を設定したボタンを押す。
露出が固定され、 (AEロックマーク)が表示される。
- 4 撮影したい被写体にピントを合わせ直し、撮影する。
 - 露出固定を解除するときは、もう一度[再押しAEL]を設定したボタンを押す。

ヒント

- [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で [押し間AEL] を選ぶと、ボタンを押している間だけ露出を固定することができます。[左ボタン]、[右ボタン]には[押し間AEL]は設定できません。

ご注意

- ズームを使用しているときは、[押し間スポットAEL] または [再押しスポットAEL] は使えません。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#) ([静止画/動画](#))

デジタルカメラ
ZV-1F

ゼブラ表示



画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル（IRE）部分に表示するしま模様（ゼブラ）の設定を行います。ゼブラは、明るさを調節するときの目安にすると便利です。

- 1 MENU → （露出/色） → **【ゼブラ表示】** → **メニュー項目を選び、希望の設定にする。**

メニュー項目の詳細

ゼブラ表示：

ゼブラを表示するかどうかを設定する。（ [切] / [入] ）

ゼブラレベル：

ゼブラの輝度レベルを設定する。（ [70] / [75] / [80] / [85] / [90] / [95] / [100] / [100+] ）

ヒント

- **ゼブラレベル** の設定値には、輝度レベルを表す数値以外に、露出確認用と白とび確認用の設定を登録することができます。お買い上げ時には [カスタム 1] には露出確認用、 [カスタム 2] には白とび確認用の設定が登録されています。
- 露出確認用として使用する場合は、ゼブラ表示する輝度レベルの基準値と、その範囲数値を指定します。指定された範囲の輝度部分がゼブラ表示されます。
- 白とび確認用として使用する場合は、ゼブラ表示する輝度レベルの下限値を指定します。指定した数値以上の輝度部分がゼブラ表示されます。

ご注意

- HDMI接続時は、接続先の機器にはゼブラが表示されません。

デジタルカメラ
ZV-1F

ISO感度（静止画/動画）



光に対する感度は、ISO感度（推奨露光指数）で表します。数値が大きいほど高感度になります。

1 コントロールホイールのISO（ISO感度）→希望の設定を選ぶ。

- MENU→（露出/色）→ [露出] → [ISO感度] でも設定できます。

メニュー項目の詳細

ISO AUTO :

カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。

ISO 80～ISO 12800 :

好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大きいほど高感度になる。

ヒント

- ISO感度が高くなるほど、ノイズが増えます。
- 静止画撮影時、動画撮影時、またはスロー&クイックモーション撮影時で、選べる設定が異なります。
- 動画撮影時はISO125～ISO12800の範囲で選べます。ISO125よりも小さい値の状態では動画撮影を始めると、ISO125に切り替わります。動画撮影を終えると元のISO値に戻ります。
- [ピクチャープロファイル] の [ガンマ] の設定によって、設定できるISO感度の範囲が変わります。

ご注意

- 以下のときは、[ISO AUTO] に設定されます。
 - － [おまかせオート]
- ISO125未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲（ダイナミックレンジ）が少し狭くなります。
- 低感度での撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。

デジタルカメラ
ZV-1F

ホワイトバランス (静止画/動画)



撮影環境での光の色の影響を補正して、白いものを白く写すための機能です。画像の色合いが思った通りにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに使います。

① MENU → [露出/色] → [ホワイトバランス] → [🔧 ホワイトバランス] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

AWB オート / AWB[Ⓐ] オート: 雰囲気優先 / AWB[Ⓑ] オート: ホワイト優先 / ☀️ 太陽光 / 🏠 日陰 / ☁️ 曇天 / 🌐 電球 / 📡 -1 蛍光灯: 温白色 / 📡 0 蛍光灯: 白色 / 📡 +1 蛍光灯: 昼白色 / 📡 +2 蛍光灯: 昼光色 / 🌊^{AWB} 水中オート : 被写体を照らしている光源を選ぶと、選んだ光源に適した色合いになる (プリセットホワイトバランス)。[オート] を選ぶと本機が光源を自動判別し、適した色合いに調整する。

🔧 色温度/カラーフィルター :

光源の色に合わせて設定する (色温度)。写真用のCC (色補正) フィルターと同等の効果が得られる (カラーフィルター)。

📷 カスタム 1/カスタム 2/カスタム 3 :

撮影する光源下で基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する。

ヒント

- コントロールホイールの右で、微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
- AWB[Ⓐ] (オート: 雰囲気優先)、AWB[Ⓑ] (オート: ホワイト優先) は [🔧 AWB時の優先設定] を [雰囲気優先] または [ホワイト優先] に設定したときのみ表示されます。

ご注意

- 以下のときは、[🔧 ホワイトバランス] は [オート] に固定されます。
 - [おまかせオート]
- 水銀灯やナトリウムランプのみが光源の場合、光の特性上、正確なホワイトバランスが得られません。[カスタム 1] ~ [カスタム 3] のご使用をおすすめします。

関連項目

- [基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する \(カスタムホワイトバランス\)](#)
- [AWB時の優先設定 \(静止画/動画\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する（カスタムホワイトバランス）



複数の種類の光源で被写体が照らされている場合などに、より正確な色合いを表現したいときは、カスタムホワイトバランスの使用をおすすめします。3つの設定を登録できます。

- 1 MENU** → （露出/色） → **[ホワイトバランス]** → **[ホワイトバランス]** → **[カスタム 1] ~ [カスタム 3]** を選び、コントロールホイールの右を押す。
- 2** **SET（カスタムホワイトバランスセット）** を選んでコントロールホイールの中央を押す。
- 3** 白く写したいものがホワイトバランス取り込み枠を覆うようにカメラを構えて、コントロールホイールの中央を押す。
シャッター音が鳴り「カスタムWBのデータを取り込みました」というメッセージが表示され、取り込んだ値（色温度とカラーフィルター）が表示される。
 - コントロールホイールの上/下/左/右でホワイトバランス取り込み枠の位置を移動できます。
 - 取り込み後にコントロールホイールの右を押すと微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
 - 以下のときはシャッター音は鳴りません。
 - 動画撮影モードのとき
 - **[サイレントモード]** が **[入]** のとき
- 4** コントロールホイールの中央を押す。
取り込んだ値が登録される。
登録したカスタムホワイトバランス値が設定された状態でMENU画面に戻る。
 - この操作で登録したカスタムホワイトバランス値は、次に別の値が登録されるまで保持されます。

ご注意

- 「カスタムWBの取り込みに失敗しました」というメッセージが表示されたときは、値が想定外であることを表しています（鮮やかな色の被写体に向けた場合など）。そのまま登録することは可能ですが、設定し直すことをおすすめします。

デジタルカメラ
ZV-1F

AWB時の優先設定（静止画/動画）



[ホワイトバランス] が [オート] のとき、白熱電球などの光源下で優先する色味を設定します。

① MENU → (露出/色) → [ホワイトバランス] → [AWB時の優先設定] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

AWB
STD 標準 :

通常のオートホワイトバランスで撮影する。自然な色合いになるように自動調整する。

AWB
Ambi 雰囲気優先 :

光源の色味を優先する。暖かみのある雰囲気を出したいときに適している。

AWB
White ホワイト優先 :

光源の色温度が低いとき、白色の再現を優先する。

関連項目

- [ホワイトバランス（静止画/動画）](#)

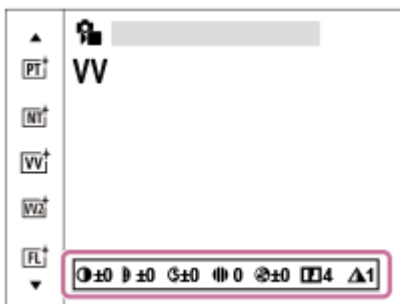
デジタルカメラ
ZV-1F

クリエイティブルック（静止画/動画）



「ルック」とは、色味やシャープネス、明るさなどの多彩な要素から醸し出される、画像の見え方や印象を差す用語です。[クリエイティブルック]では、あらかじめ用意された複数のルックからお好みのルックを選択することで画像の仕上がりを選ぶことができます。さらに、各ルックごとに、コントラスト、ハイライト、シャドウ、フェード、彩度、シャープネス、明瞭度を微調整できます。

- 1 MENU → [露出/色] → [カラー/トーン] → [クリエイティブルック] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下で希望のルックを選ぶ。
- 3 (●) (コントラスト)、(H) (ハイライト)、(S) (シャドウ)、(III) (フェード)、(◎) (彩度)、(II) (シャープネス)、(▲) (明瞭度) を調整したいときは、コントロールホイールの右で右側に移動する。左/右で希望の項目を選び、上/下で値を選ぶ。



メニュー項目の詳細

- [ST] ST :**
被写体・シーンに幅広く対応する標準の仕上がり。
- [PT] PT :**
肌をより柔らかくに再現する。人物の撮影に適している。
- [NT] NT :**
彩度・シャープネスが低くなり、落ち着いた雰囲気表現する。パソコンでの画像加工を目的とした撮影にも適している。
- [VV] VV :**
彩度とコントラストが高めになり、花、新緑、青空、海など色彩豊かなシーンをより印象的に表現する。
- [VV2] VV2 :**
明るく色鮮やかな発色で、明瞭度の高い画像に仕上がる。
- [FL] FL :**
落ち着いた発色と印象的な空や緑の色味に、メリハリのあるコントラストを加えることで雰囲気のある画像に仕上がる。
- [IN] IN :**
コントラストと彩度を抑えたマットな質感に仕上がる。
- [SH] SH :**
透明感・柔らかさ・鮮やかさを持つ明るい雰囲気表現に仕上がる。

BW :

白黒のモノトーンで表現する。

SE :

セピア色のモノトーンで表現する。

より詳細に設定するには

各ルックをベースに、コントラストなどの項目をお好みに合わせて調整することができます。コントロールホイールの左/右を押して項目を選び、上/下で値を設定します。

コントラスト :

+側に設定するほど明暗差が強調され、インパクトのある仕上がりになる。(−9 ~ +9)

ハイライト :

明るい部分の明るさの度合いを調整する。+側の設定にするほど明るくなる。(−9 ~ +9)

シャドウ :

暗い部分の暗さの度合いを調整する。+側の設定にするほど明るくなる。(−9 ~ +9)

フェード :

フェードの度合いを調整する。大きい値に設定するほど効果が強くなる。(0 ~ 9)

彩度 :

+側に設定するほど色が鮮やかになる。−側に設定すれば控えめで落ち着いた色に再現される。(−9 ~ +9)


シャープネス :

解像感を調整する。大きい値に設定すれば輪郭がよりくっきりし、小さい値に設定すれば柔らかな表現になる。(0 ~ 9)

明瞭度 :

明瞭度の度合いを調整する。大きい値に設定するほど効果が強くなる。(0 ~ 9)



ルックごとに調整値をリセットするには

お好みに合わせて変更したコントラストなどの調整値は、ルックごとにまとめて初期値にリセットすることができます。リセットしたいルックの調整画面で  (削除) ボタンを押してください。変更を加えた調整値がすべて初期値に戻ります。

ヒント

- [シャープネス]、[明瞭度] については、試し撮りを行い、カメラのモニターで拡大再生するか、再生機器に出力して効果を確認し、調整してください。

ご注意

- 以下のときは、 クリエイティブルック] は [-] に固定されます。
 -  ピクチャープロファイル] が [切] 以外
- [BW]、[SE] を選択しているときは、[彩度] の調整はできません。

デジタルカメラ
ZV-1F

ピクチャープロフィール (静止画/動画)



撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できます。[ピクチャープロフィール]の各項目についてさらに詳しい使いかたは、以下のURLをご覧ください。

<https://helppguide.sony.net/di/pp/v1/ja/index.html>

ピクチャープロフィールは静止画と動画の両方に使うことができますが、主に動画用に準備された機能です。

ピクチャープロフィールの内容を変更する

[ガンマ] や [ディテール] などを調節して好みの画質設定を作れます。設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

- 1 MENU → [露出/色] → [カラー/トーン] → [ピクチャープロフィール] → 変更したいプロフィールを選ぶ。
- 2 コントロールホイールの右を押して、項目一覧に移動する。
- 3 コントロールホイールの上/下で、変更したい項目を選ぶ。
- 4 コントロールホイールの上/下で希望の設定値を選び、中央を押す。

ピクチャープロフィールのプリセットを使う

本機は [PP1] ~ [PP10] に撮影条件に合わせた動画用設定値をあらかじめ登録しています。

MENU → [露出/色] → [カラー/トーン] → [ピクチャープロフィール] → 希望の設定を選ぶ。

PP1 :

[Movie] ガンマを用いた設定例

PP2 :

[Still] ガンマを用いた設定例

PP3 :

[ITU709] ガンマを用いた自然な色合いの設定例

PP4 :

ITU709規格に忠実な色合いの設定例

PP5 :

[Cine1] ガンマを用いた設定例

PP6 :

[Cine2] ガンマを用いた設定例

PP7 :

[S-Log2] ガンマを用いた設定例

PP8 :

[S-Log3] ガンマとS-Gamut3.Cineのカラーモードを用いた設定例

PP9 :

[S-Log3] ガンマとS-Gamut3のカラーモードを用いた設定例

PP10 :

HDR撮影について

本機はピクチャープロファイルで [HLG]、[HLG1] ~ [HLG3] のガンマを選択することにより、HDR撮影を行うことができます。ピクチャープロファイルの [PP10] にHDR撮影の設定例がプリセットされています。[PP10] を使って撮影した画像をHLG (Hybrid Log-Gamma) 対応のテレビで再生することで、従来よりも広いレンジの明るさが再現可能になります。これにより、いままで白とびや黒つぶれでうまく再現できなかったシーンも撮影可能になります。HLGは、国際規格Recommendation ITU-R BT.2100で定義されるハイダイナミックレンジテレビ方式のひとつです。

ピクチャープロファイルの項目について

ブラックレベル

黒レベルを設定する。(-15 ~ +15)

ガンマ

ガンマカーブを選ぶ。

Movie: 動画用の標準ガンマカーブ

Still: 静止画用の標準ガンマカーブ

Cine1: 暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の階調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする (HG4609G33相当)。

Cine2: [Cine1] とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する (HG4600G30相当)。

ITU709: ITU709相当のガンマカーブ。

ITU709(800%): [S-Log2] または [S-Log3] 撮影前提のシーン確認用ガンマカーブ。

S-Log2: [S-Log2] のガンマカーブ。撮影後の映像処理を前提とした設定。

S-Log3: [S-Log3] のガンマカーブ。撮影後の映像処理を前提とした、よりフィルムに似た特性のガンマカーブ。

HLG: HDR撮影用のガンマカーブ。HDRの規格であるITU-R BT.2100のHybrid Log-Gamma相当の特性。

HLG1: HDR撮影用のガンマカーブ。ノイズ低減を優先したモード。ただし、撮影できるダイナミックレンジは [HLG2]、[HLG3] より狭くなる。

HLG2: HDR撮影用のガンマカーブ。ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。

HLG3: HDR撮影用のガンマカーブ。[HLG2] よりも広いダイナミックレンジで撮影したい場合の設定。ただし、ノイズレベルが上がる。

- [HLG1]、[HLG2]、[HLG3] は同じ特性のガンマカーブで、ダイナミックレンジとノイズのバランスを変更したものです。それぞれ出力ビデオレベルの最大値が異なり、[HLG1] : 87%、[HLG2] : 95%、[HLG3] : 100%程度になります。

ブラックガンマ

低輝度ガンマ補正をする。

[ガンマ] で [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] を選択しているとき、[ブラックガンマ] は“0”固定となり設定できません。

範囲: 補正範囲を選ぶ。(広 / 中 / 狭)

レベル: 補正の強さを設定する。(-7 (ブラックコンプレス最大) ~ +7 (ブラックストレッチ最大))

ニー

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白飛びを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[ガンマ] を以下に設定しているときは、[モード] を [オート] にしていると [ニー] は無効になる。[モード] を [マニュアル] にすると [ニー] の機能を使用できる。

- [Still]
- [Cine1]
- [Cine2]
- [ITU709(800%)]
- [S-Log2]

- [S-Log3]
- [HLG]
- [HLG1]
- [HLG2]
- [HLG3]

モード：自動/手動設定を選ぶ。

- オート：ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。
- マニュアル：ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。

オート設定：[モード]で[オート]を選択した場合の設定。

- マックスポイント：ニーポイントの最大値を設定する。(90% ~ 100%)
- 感度：感度を設定する。(高 / 中 / 低)

マニュアル設定：[モード]で[マニュアル]を選択した場合の設定。

- ポイント：ニーポイントを設定する。(75% ~ 105%)
- スロープ：ニースロープの傾きを設定する。(-5 (傾きが小さい) ~ +5 (傾きが大きい))

カラーモード

色の特性を変更する。

[ガンマ]で[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]を選択しているとき、[カラーモード]は[BT.2020]、[709]のみが選択可能です。

Movie：[ガンマ]が[Movie]のときに適した色合い。

Still：[ガンマ]が[Still]のときに適した色合い。

Cinema：[ガンマ]が[Cine1]、[Cine2]のときに適した色合い。

Pro：ソニーの業務用カメラの標準画質に近い色合い (ITU709ガンマと組み合わせた場合)。

ITU709マトリックス：ITU709規格に忠実な色合い (ITU709ガンマと組み合わせた場合)。

白黒：彩度を0にし、白黒で撮影する。

S-Gamut：[ガンマ]が[S-Log2]のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。

S-Gamut3.Cine：[ガンマ]が[S-Log3]のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。デジタルシネマの色域に調整しやすい色域での撮影が可能。

S-Gamut3：[ガンマ]が[S-Log3]のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。広い色域での撮影が可能。

BT.2020：[ガンマ]が[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]のときの標準的な色合い。

709：[ガンマ]で[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]を選択して、HDTV方式 (BT.709) の色で記録するときの色合い。

彩度

色の鮮やかさを設定する。(-32 ~ +32)

色相

色相を設定する。(-7 ~ +7)

色の深さ

色相別に輝度を変更する。濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。[カラーモード]を[白黒]にしたときにも有効です。

R (赤)：-7 ~ +7

G (緑)：-7 ~ +7

B (青)：-7 ~ +7

C (シアン)：-7 ~ +7

M (マゼンタ)：-7 ~ +7

Y (黄)：-7 ~ +7

ディテール

[ディテール] を設定する。

レベル: [ディテール] の強さを設定する。 (-7 ~ +7)

調整: 以下の設定値を手動で選ぶ。

- モード: 自動/手動設定を選ぶ。(オート(自動最適化を行う) / マニュアル(手動詳細設定を行う))
- V/Hバランス: 垂直 (V) DETAIL/水平 (H) DETAILのバランスを設定する。 (-2 (垂直 (V) が強い) ~ +2 (水平 (H) が強い))
- B/Wバランス: 下側 (B) DETAIL/上側 (W) DETAILのバランスを選ぶ。(タイプ1 (下側 (B) が強い) ~ タイプ5 (上側 (W) が強い))
- リミット: [ディテール] のリミットレベルを設定する。(0 (リミットレベルが低い (リミットされやすい)) ~ 7 (リミットレベルが高い (リミットされにくい)))
- クリスポニング: クリスポニングレベルを設定する。(0 (クリスポニングレベルが浅い) ~ 7 (クリスポニングレベルが深い))
- 高輝度ディテール: 高輝度部分の [ディテール] レベルを設定する。(0 ~ 4)

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーできます。

MENU →  (露出/色) → [カラー/トーン] → [ ピクチャープロファイル] → [コピー] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

MENU →  (露出/色) → [カラー/トーン] → [ ピクチャープロファイル] → [リセット] を選ぶ。

ご注意

- 動画と静止画で設定値が共通のため、撮影モードを変更した場合は設定値を調節してください。
- [ガンマ] を変えると、設定できるISOの範囲が変わります。
- S-Log2またはS-Log3ガンマ使用時は他のガンマに比べてノイズが目立ちやすくなります。撮影後映像処理の後でも気になる場合は、明るめに撮影することでノイズを軽減できる場合があります。ただし、明るく撮影した場合にはその分だけダイナミックレンジは狭くなります。S-Log2またはS-Log3を使用する場合は事前のテストで画質を確認することを強くおすすめします。
- [ITU709(800%)]、[S-Log2] または[S-Log3]に設定すると、ホワイトバランスのカスタムセットがエラーになることがあります。このようなときは、一度 [ITU709(800%)]、[S-Log2]、または [S-Log3] 以外のガンマでカスタムセットしてください。そのあと、[ITU709(800%)]、[S-Log2]、または [S-Log3] ガンマに戻してください。
- [ITU709(800%)]、[S-Log2] または[S-Log3]に設定すると、[ブラックレベル] の設定が無効になります。
- [ニー] の [マニュアル設定] で [スロープ] を +5 に設定すると、[ニー] は無効になります。
- S-Gamut、S-Gamut3.Cine、S-Gamut3はソニー独自のカラースペースですが、本機のS-Gamut設定はS-Gamutの全色域に対応しているわけではなく、S-Gamut相当の色再現を実現するための設定です。

関連項目

- [ガンマ表示アシスト](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

美肌効果（静止画/動画）



顔を認識したとき、被写体の肌をなめらかに撮影する効果を設定します。

① MENU → （露出/色）→ [カラー/トーン] → [美肌効果] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

- 切：
美肌効果を使わない。
- 入：
美肌効果をかけて撮影する。コントロールホイールの左/右で、美肌効果の度合いを設定できる。（ [入: 高] / [入: 中] / [入: 低] ）

ご注意

- デジタルズーム使用時は [美肌効果] は使用できません。
- 動画撮影モードのときは、以下の場合は [美肌効果] は使用できません。
 - [記録方式] が [XAVC S 4K] で、 [Px] プロキシ設定] の [Px] プロキシ記録] が [入] のとき
 - [記録方式] が [XAVC S 4K]、 [動画設定] の [記録フレームレート] が [30p] で、 [HDMI出力設定] の [HDMI出力時のメディア記録] を [入] に設定しているとき
 - [記録方式] が [XAVC S 4K] で、パソコンなどからカメラに接続しているとき
 - [記録方式] が [XAVC S 4K] で、スマートフォンからのリモート撮影時
 - [記録方式] が [XAVC S HD] で、 [動画設定] の [記録フレームレート] が [120p] のとき
- 動画撮影モードで [記録方式] が [XAVC S 4K] のときは、撮影中のモニターには効果が反映されませんが、記録される画像には効果が反映されます。

デジタルカメラ
ZV-1F

ドライブモード



1枚撮影、連写、セルフタイマーなど、撮影の目的に合わせて使用してください。

- 1 コントロールホイールの / (ドライブモード) → 希望の設定を選ぶ。
 - MENU → (撮影) → [ドライブモード] → [ドライブモード] でも設定できます。
- 2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

メニュー項目の詳細

1枚撮影 :

通常の撮影方法。

連続撮影 :

シャッターボタンを押している間、連続撮影する。

速度優先連写 :

シャッターボタンを押している間、高速で連続撮影する。

セルフタイマー (1枚) :

シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影する。

関連項目

- [連続撮影](#)
- [速度優先連写](#)
- [セルフタイマー \(1枚\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

連続撮影



シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 1 コントロールホイールの / (ドライブモード) → [連続撮影] を選ぶ。
 - MENU → (撮影) → [ドライブモード] → [ドライブモード] でも設定できます。

関連項目

- [ピント合わせの方法を選ぶ \(フォーカスモード\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

速度優先連写



シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。[連続撮影] より高速で連写できます。

- 1 コントロールホイールの / (ドライブモード) → [速度優先連写] を選ぶ。
 - MENU → (撮影) → [ドライブモード] → [ドライブモード] → [速度優先連写] でも設定できます。

ヒント

- [速度優先連写] 中に露出を合わせ続けるには、 フォーカスモード] を [マニュアルフォーカス] に設定してください。

ご注意

- 連写のコマ間には、撮影された直後の画像が表示されます。

関連項目

- [連続撮影](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

セルフタイマー（1枚）



シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影します。5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に写るときに、2秒セルフタイマーはシャッターボタンを押したときのブレを軽減するときに使います。

1 コントロールホイールの / （ドライブモード）→ [セルフタイマー（1枚）] を選ぶ。

- MENU → （撮影）→ [ドライブモード] → [ドライブモード] でも設定できます。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

3 ピントを合わせてシャッターボタンを押す。

セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。

メニュー項目の詳細

シャッターボタンを押してから撮影されるまでの秒数を設定する。

セルフタイマー(1枚): 10秒

セルフタイマー(1枚): 5秒

セルフタイマー(1枚): 2秒

ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度シャッターボタンを押すか、コントロールホイールの / （ドライブモード）を押します。
- セルフタイマーを解除するには、コントロールホイールの / （ドライブモード）を押して （1枚撮影）を選びます。
- セルフタイマー作動中の電子音を消すには、[電子音(撮影)] を [切] にしてください。

関連項目

- [電子音\(撮影\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

セルフタイマー（動画）



動画撮影時にセルフタイマーで撮影を開始することができます。

1 コントロールホイールの / （ドライブモード）を押す。

[セルフタイマー] の設定画面が表示される。

- MENU → （撮影） → [撮影オプション] → [セルフタイマー] でも設定できます。

2 コントロールホイールで [入] を選び、希望のカウントダウン時間を設定する。

- カウントダウン：撮影開始までのカウント時間を設定します。（3秒/5秒/10秒）
- 繰り返し：動画セルフタイマーの繰り返しを設定します。（繰り返し/1回のみ）
[繰り返し] を選ぶと、動画撮影終了後も繰り返し動画セルフタイマーが有効となります。[1回のみ] を選ぶと、動画撮影終了後に動画セルフタイマーは解除され、通常の動画撮影待機モードになります。

3 ピントを合わせてMOVIE（動画）ボタンを押す。

撮影待機画面にカウントダウンが表示されると同時に、セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。

- 撮影を終了するにはもう一度MOVIEボタンを押してください。

メニュー項目の詳細

入：
動画セルフタイマーを使う。

切：
動画セルフタイマーを使わない。

ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度MOVIEボタンを押すか、 [セルフタイマー] 機能を割り当てたキーを押してください。

ご注意

- 静止画撮影モードでMOVIEボタンを押して動画撮影を開始した場合は、 [セルフタイマー] は働きません。

デジタルカメラ
ZV-1F

インターバル撮影機能



あらかじめ設定した撮影間隔と撮影回数で、静止画撮影を自動で繰り返し行います（インターバル撮影）。パソコン用ソフトウェア Imaging Edge Desktop（Viewer）を使うと、インターバル撮影で撮影した静止画からタイムラプス動画を作成することができます。本機では静止画から動画を作成することはできません。

タイムラプス動画については、Imaging Edge Desktopのサポートページもあわせてご覧ください。

<https://www.sony.net/disoft/help/>

- 1 MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [インターバル撮影機能] → [インターバル撮影] → [入] を選ぶ。
- 2 MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [インターバル撮影機能] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。
- 3 シャッターボタンを押す。
 - [撮影開始時間] で設定した時間が経過すると、撮影が始まる。
 - [撮影回数] で設定した回数の撮影が終わると、インターバル撮影の撮影待機画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

インターバル撮影：

インターバル撮影を行うかどうかを設定する。（[切] / [入]）

撮影開始時間：

シャッターボタンを押してからインターバル撮影を開始するまでの時間を設定する。（1秒～99分59秒）

撮影間隔：

インターバル撮影の撮影間隔（露光開始から次の撮影の露光開始までの時間）を設定する。（1秒～60秒）

撮影回数：

インターバル撮影の撮影回数を設定する。（1回～9 999回）

AE追従感度：

インターバル撮影中の明るさの変化に対する自動露出の追従感度を設定する。[低] に設定すると、インターバル撮影中の露出の変化がなめらかになります。（[高] / [中] / [低]）

ヒント

- インターバル撮影中にシャッターボタンを押すと、インターバル撮影が終了しインターバル撮影の撮影待機画面に戻ります。
- 通常撮影に戻るには、[インターバル撮影] を [切] に設定してください。
- 撮影開始時点で以下の機能が割り当てられたボタンが押されている場合、インターバル撮影中はボタンを押し続けなくても機能が維持されます。
 - [押す間AEL]
 - [押す間スロットAEL]
 - [押す間AF/MF切替]
- [グループ表示] を [入] にしておくと、インターバル撮影で撮影した静止画がグループ化されて表示されます。

- インターバル撮影で撮影した静止画を、本機で連続再生できます。動画を作成する場合の完成イメージを確認することができます。

ご注意

- バッテリーとメディアの残量によっては、設定した枚数を撮影できない場合があります。USB給電をしながら撮影したり、十分な空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
- 撮影間隔が短い場合、本機の温度が上昇しやすくなります。そのため、撮影環境温度によっては機器保護のため撮影を停止し、設定された枚数が撮影されない場合があります。
- インターバル撮影中（シャッターボタンを押してから撮影開始時間が経過するまでの間も含む）は、撮影設定の専用画面やメニュー画面の操作は行えません。シャッタースピードなど一部の設定は、機能が割り当てられたコントロールホイールを操作して設定することができます。
- インターバル撮影中は、オートレビューは表示されません。

関連項目

- [インターバル連続再生](#)
- [外部電源でカメラを使う](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

JPEG画質



JPEG画像を記録するときの画質を設定します。

① MENU →  (撮影) → [画質/記録] → [JPEG画質] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

エクストラファイン/ファイン/スタンダード:

[エクストラファイン]、[ファイン]、[スタンダード]の順に圧縮率が高くなるため、データ量が小さくなる。1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

デジタルカメラ
ZV-1F

JPEG画像サイズ



画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも精細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

① MENU → (撮影) → [画質/記録] → [JPEG画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

[アスペクト比] が3 : 2のとき

設定値	画素数 (横×縦)
L: 20M	5472×3648画素
M: 10M	3888×2592画素
S: 5.0M	2736×1824画素

[アスペクト比] が4 : 3のとき

設定値	画素数 (横×縦)
L: 18M	4864×3648画素
M: 10M	3648×2736画素
S: 5.0M	2592×1944画素

[アスペクト比] が16 : 9のとき

設定値	画素数 (横×縦)
L: 17M	5472×3080画素
M: 7.5M	3648×2056画素
S: 4.2M	2720×1528画素

[アスペクト比] が1 : 1のとき

設定値	画素数 (横×縦)
L: 13M	3648×3648画素

設定値	画素数 (横×縦)
M: 6.5M	2544×2544画素
S: 3.7M	1920×1920画素

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

アスペクト比



① MENU →  (撮影) → [画質/記録] → [アスペクト比] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

3:2 :

35mm判フィルムと同じ横縦比。

4:3 :

横と縦の比率が4 : 3となる横縦比。

16:9 :

横と縦の比率が16 : 9となる横縦比。

1:1 :

横と縦の比率が1 : 1となる縦横比。

デジタルカメラ
ZV-1F

色空間



色を数値の組み合わせによって表現するための方法、または表現できる色の範囲のことを色空間といいます。画像の用途によって色空間を変更できます。

① MENU →  (撮影) → [画質/記録] → [色空間] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

sRGB :

デジタルカメラの標準となっている色空間。画像調整を行わずに印刷する場合など、一般的な撮影では[sRGB]を使う。

AdobeRGB :

より広い色再現範囲を持っている色空間。鮮やかな緑色や赤色の多い被写体をプリントする場合に効果がある。撮影した画像のファイル名は、“_” (アンダーバー) で始まる。

ご注意

- [AdobeRGB] は、カラーマネジメントおよびDCF2.0オプション色空間に対応したアプリケーションソフトやプリンター用です。非対応のソフトやプリンターでは、正しい色での表示、印刷ができないことがあります。
- [AdobeRGB] で撮影した画像は、Adobe RGB非対応機器で表示すると、低彩度になります。

デジタルカメラ
ZV-1F

記録方式（動画）



動画を記録するときの記録方式を設定します。

① MENU → / （撮影） → [画質/記録] → [記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

記録方式	特徴
XAVC S 4K	4K解像度（3840×2160）で記録できます。
XAVC S HD	HD解像度（1920×1080）で記録できます。

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

動画設定（動画）



フレームレート、ビットレート、色情報などを設定します。

① MENU → [カメラ] / [ビデオ]（撮影） → [画質/記録] → [ビデオ] 動画設定 → [記録フレームレート] → 希望の設定を選ぶ。

② MENU → [カメラ] / [ビデオ]（撮影） → [画質/記録] → [ビデオ] 動画設定 → [記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

設定値の例

100M **4:2:0** **8bit**
 (A) (B) (C)

- (A) : ビットレート
- (B) : カラーサンプリング
- (C) : ビット深度

- ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。

メニュー項目の詳細

[ビデオ] 記録方式] が [XAVC S 4K] のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
30p	100M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
30p	60M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
24p	60M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP

[ビデオ] 記録方式] が [XAVC S HD] のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
60p	25M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
30p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
30p	16M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
24p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
120p	100M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
120p	60M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP

ご注意

- 記録フレームレートは整数で表していますが、実際のフレームレートは以下のとおりです。
24p : 23.98 fps、30p : 29.97 fps、60p : 59.94 fps、120p : 119.88 fps

関連項目

- [記録方式（動画）](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

スロー&クイック設定



肉眼では捉えられない一瞬を記録したり（スローモーション撮影）、長時間の現象を短い時間に短縮して記録したり（クイックモーション撮影）します。動きの激しいスポーツシーンや鳥が飛び立つ瞬間、花のつぼみの開花の様子、雲や星空が変化の様子などを記録できます。音声は記録されません。

- 1 静止画/動画/S&Q切換ボタンを押して、スロー&クイックモーション撮影モードにする。
- 2 MENU → (撮影) → [撮影モード] → [**S&Q** 撮影モード] → スロー&クイックモーションの希望の設定（おまかせオート、プログラムオート、絞り優先、シャッタースピード優先、またはマニュアル露出）を選ぶ。
- 3 MENU → (撮影) → [画質/記録] → [**S&Q** スロー&クイック設定] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。
- 4 MOVIE（動画）ボタンを押して、撮影を開始する。
 - 撮影を終了するには、MOVIEボタンをもう一度押す。

メニュー項目の詳細

S&Q 記録フレームレート：
記録する動画のフレームレートを選ぶ。

S&Q フレームレート：
動画撮影時のフレームレートを選ぶ。

- 記録される動画のフォーマットは [記録方式] の設定にかかわらず、[XAVC S HD] に固定されます。

再生速度について

[**S&Q** 記録フレームレート] と [**S&Q** フレームレート] の設定によって、再生速度は以下のようになります。

S&Q フレームレート	S&Q 記録フレームレート： 24p	S&Q 記録フレームレート： 30p	S&Q 記録フレームレート： 60p
120fps	5倍スロー	4倍スロー	—
60fps	2.5倍スロー	2倍スロー	通常の再生速度
30fps	1.25倍スロー	通常の再生速度	2倍クイック
15fps	1.6倍クイック	2倍クイック	4倍クイック
8fps	3倍クイック	3.75倍クイック	7.5倍クイック

S&Q フレームレート	S&Q 記録フレームレート： 24p	S&Q 記録フレームレート： 30p	S&Q 記録フレームレート： 60p
4fps	6倍クイック	7.5倍クイック	15倍クイック
2fps	12倍クイック	15倍クイック	30倍クイック
1fps	24倍クイック	30倍クイック	60倍クイック

- [S&Q フレームレート] が [120fps] のときは、[S&Q 記録フレームレート] を [60p] に設定できません。

ヒント

- 記録可能時間の目安は、「[動画の記録可能時間](#)」をご覧ください。
- 記録される動画のビットレートは、[S&Q フレームレート] と [S&Q 記録フレームレート] の設定によって異なります。

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影では、実際の撮影時間と、動画として記録される時間が異なります。モニター上部に表示される記録可能時間は、メモリーカードの残り撮影時間ではなく、動画としての残り記録時間を表します。
- スローモーション撮影ではシャッター速度が速くなるため、十分な露出が得られない場合があります。その場合は、絞り値を小さく設定するか、ISO感度を高く設定してください。

関連項目

- [動画の記録可能時間](#)
- [使用できるメモリーカード](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

プロキシ設定



動画撮影時およびスロー&クイックモーション撮影時に、低ビットレートのプロキシ動画を同時に記録することができます。

プロキシ動画はファイルサイズが小さいため、スマートフォンへの転送やWebサイトへのアップロードに適しています。

1 MENU → (撮影) → [画質/記録] → [**Px** プロキシ設定] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Px プロキシ記録：
プロキシ動画を同時に記録するかどうか選ぶ。（[入] / [切]）

プロキシ動画の記録設定

プロキシ動画の記録設定は以下の通りです。

記録方式：

XAVC S HD

記録サイズ：

1280×720

記録フレームレート：

最大60p

記録設定：

9Mbps

圧縮コーデック：

MPEG-4 AVC/H.264

ヒント

- 再生画面（1枚再生画面または一覧表示画面）には、プロキシ動画は表示されません。プロキシ動画が同時に記録された動画には、**Px**（プロキシ）が表示されます。

ご注意

- プロキシ動画は本機では再生できません。
- 下記の場合はプロキシ記録はできません。
通常動画の場合
 - [記録フレームレート] が [120p] のときスロー&クイックモーション動画の場合
 - [**S&Q** フレームレート] が [120fps] のとき
- プロキシ動画がある動画を削除/プロテクトすると、オリジナル動画とプロキシ動画の両方が削除/プロテクトされます。オリジナル動画だけ、またはプロキシ動画だけを削除/プロテクトすることはできません。

- 本機では動画の編集はできません。

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

タッチ操作



モニターのタッチ操作を有効にするかどうかを設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [タッチ操作] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
タッチ操作を有効にする。

入:再生時のみ：
再生時のみタッチ操作を有効にする。

切：
タッチ操作を無効にする。

関連項目

- [撮影時のタッチ機能](#)
- [タッチパネルの操作](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

アイコンタッチ機能



基本的な操作や設定をボタン操作ではなく、画面に表示されているアイコンをタッチすることで可能になります。

- ① MENU → (セットアップ) → [タッチ操作] → [アイコンタッチ機能] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
アイコンタッチ機能を有効にする。アイコンをタッチするとその機能の設定を変更したり、操作したりすることができます。

切：
アイコンタッチ機能を無効にする。

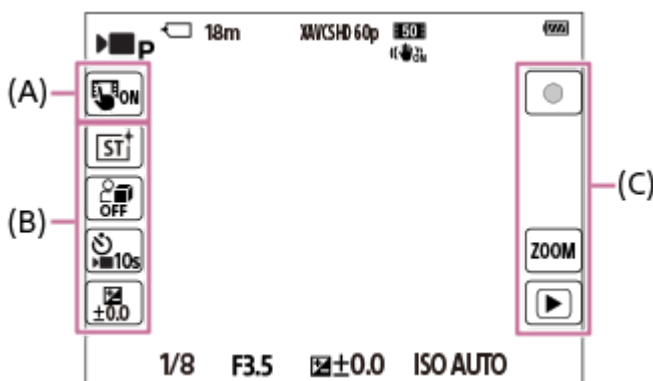
アイコンタッチ切換ボタン

[アイコンタッチ機能] が [入] のとき、アイコンタッチ切換ボタン (A) が表示されます。ボタンを押すことでアイコンタッチ機能のオン/オフを一時的に切り換えることができます。

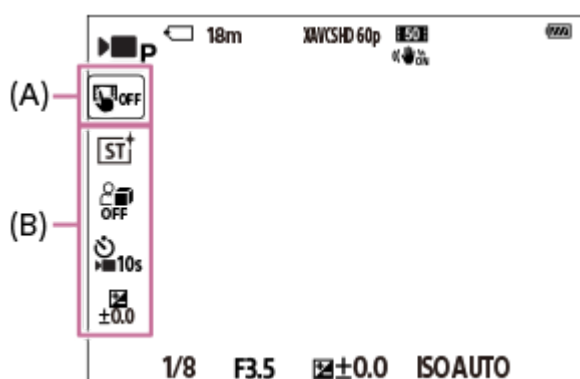
アイコンタッチ機能がオフの状態では、設定系のアイコン (B) のタッチでは設定の変更はできなくなり、操作系のアイコン (C) は非表示となります。

表示例：(画面が [全情報表示] のとき)

- アイコンタッチ機能がオンの状態



- アイコンタッチ機能がオフの状態



- (A) :アイコンタッチ切換ボタン
- (B) :設定系のアイコン
- (C) :操作系のアイコン

ご注意

- [アイコンタッチ機能] が [入] の場合でも、[タッチ操作] が [切] のときはアイコンタッチ機能が無効となります。[タッチ操作] が [入:再生時のみ] のときは再生モードでのみアイコンタッチ機能を使用できます。

関連項目

- [タッチ操作](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

上方向にスワイプ



撮影待機画面で上方向にスワイプしたときに、Fn（ファンクション）メニューを開くかどうかを設定します。

① MENU → （セットアップ） → [タッチ操作] → [上方向にスワイプ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Fnメニューを開く：

上方向へのスワイプ操作でFnメニューが開く。Fnメニューの外のエリアから下にスワイプしたり、Fnメニューの外でタップしたりすると、Fnメニューが閉じる。

無効：

スワイプ操作でFnメニューを開かない。

ご注意

- [Fnメニューを開く] が選択されている場合でも、[タッチ操作] が [入:再生時のみ] または [切] のときは、スワイプ操作でFnメニューを開くことはできません。

関連項目

- [ファンクションメニューを使う](#)
- [タッチ操作](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影時のタッチ機能



撮影時に画面をタッチしたときの動作を設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [撮影時のタッチ機能] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

タッチフォーカス：

撮影時のタッチ操作で、ピントを合わせる位置を指定する。

タッチトラッキング：

撮影時のタッチ操作で、被写体を選択してトラッキングを開始する。

タッチシャッター：

撮影時のタッチ操作で、ピントを合わせて撮影する。

無効：


撮影時のタッチ操作を無効にする。

関連項目

- [タッチ操作でフォーカスを合わせる \(タッチフォーカス\)](#)
- [タッチ操作でトラッキングを開始する \(タッチトラッキング\)](#)
- [タッチ操作で撮影する \(タッチシャッター\)](#)
- [タッチ操作](#)


デジタルカメラ
ZV-1F

タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）

ピントを合わせる位置をタッチ操作で指定できます。あらかじめ、MENU→（セットアップ）→ [タッチ操作] → [タッチ操作] を [入] に設定してください。

この機能は、 [フォーカスエリア] が以下の場合に使用できます。

- [ワイド]
- [ゾーン]
- [中央固定]

① MENU→（セットアップ）→ [タッチ操作] → [撮影時のタッチ機能] → [タッチフォーカス] を選ぶ。

静止画撮影時にピントを合わせる位置を指定する

オートフォーカスでの撮影時に、ピントを合わせる位置をタッチ操作で指定できます。タッチ後にシャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。

1. モニターにタッチする。

- ピントを合わせたい被写体にタッチします。
- タッチ操作によるピント合わせを解除するには、（タッチフォーカス解除）アイコンをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。


2. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。

- 撮影するにはそのままシャッターボタンを押し込んでください。


動画撮影時にピントを合わせる位置を指定する（スポットフォーカス）

タッチした被写体にピントを合わせます。


1. 録画開始前もしくは録画中にピントを合わせたい被写体をタッチする。

- スポットフォーカスを解除したい場合は、（タッチフォーカス解除）アイコンをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。

ヒント

- タッチフォーカス機能のほかに、以下のようなタッチ操作が可能です。
 - [スポット] や [拡張スポット] のフォーカス枠をドラッグして移動できます。
 -  [フォーカスモード] が [マニュアルフォーカス] のときは、モニターをダブルタップするとピント拡大の操作が行えます。

ご注意


- 以下のとき、タッチフォーカス機能は使えません。
 -  [フォーカスモード] が [マニュアルフォーカス] のとき
 - デジタルズーム中


- 撮影時のタッチ機能
- タッチ操作
- ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation


デジタルカメラ
ZV-1F

タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）






静止画または動画撮影時、トラッキングする被写体をタッチ操作で選択できます。
あらかじめ、MENU→（セットアップ）→ [タッチ操作] → [タッチ操作] を [入] に設定してください。

- 1 MENU→（セットアップ）→ [タッチ操作] → [撮影時のタッチ機能] → [タッチトラッキング] を選ぶ。
- 2 モニターでトラッキングする被写体をタッチする。
トラッキングが始まる。

ヒント

- トラッキングを解除するには、（トラッキング解除）アイコンをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押ししてください。

ご注意


- 以下のとき、タッチトラッキング機能は使えません。
 - 動画撮影時で、 [動画設定] の [記録フレームレート] が [120p] のとき
 -  [記録方式] が [XAVC S 4K] で、 [プロキシ記録] が [入] のとき
 -  [記録方式] が [XAVC S 4K] で、HDMI出力時
 -  [フォーカスモード] が [マニュアルフォーカス]
 - スマートズーム、超解像ズーム、デジタルズームを使用中
- [撮影時のタッチ機能] を [タッチトラッキング] に設定しているときにフォーカスモードを [マニュアルフォーカス] に切り換えると、[撮影時のタッチ機能] は [タッチフォーカス] に変更されます。


関連項目

- [撮影時のタッチ機能](#)
- [タッチ操作](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

タッチ操作で撮影する（タッチシャッター）

タッチした場所に自動でピントを合わせて静止画を撮影できます。あらかじめ、MENU→（セットアップ）→ [タッチ操作] → [タッチ操作] を [入] に設定してください。

① MENU→（セットアップ）→ [タッチ操作] → [撮影時のタッチ機能] → [タッチシャッター] を選ぶ。

② ピントを合わせたい被写体をタッチする。

タッチした被写体にピントが合い、静止画が撮影される。

ヒント

- 他にも、次の機能がタッチ操作で撮影できます。
 - タッチシャッターで連続撮影する
[ドライブモード] が [連続撮影] のとき、画面をタッチし続けている間、連続して撮影します。

ご注意

- 以下のとき、[タッチシャッター] は使えません。
 - 動画撮影時
 - スロー&クイックモーション撮影時
 - [フォーカスモード] が [マニュアルフォーカス]
 - [フォーカスエリア] が [スポット] / [拡張スポット]
 - デジタルズーム中
 - 超解像ズーム中
- [撮影時のタッチ機能] を [タッチシャッター] に設定しているときにフォーカスモードを [マニュアルフォーカス] に切り換えると、[撮影時のタッチ機能] は [タッチフォーカス] に変更されます。

関連項目

- [撮影時のタッチ機能](#)
- [タッチ操作](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

サイレントモード（静止画/動画）



シャッター音や電子音を鳴らさずに撮影するサイレントモードにするかどうかを設定します。

① MENU → / (撮影) → [シャッター/サイレント] → [サイレントモード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

サイレントモードとなり、シャッター音や電子音を鳴らさない。

切：

シャッター音や電子音を鳴らす。

ご注意

- サイレントモードは、被写体のプライバシーや肖像権に充分ご配慮のうえ、お客様自身の責任においてお使いください。
- [サイレントモード] を [入] に設定しても、絞りやフォーカスの駆動音は発生します。

デジタルカメラ
ZV-1F

カードなしリリース



メモリーカードが入っていない状態で、シャッターが切れるかどうかを設定します。

① MENU →  (撮影) → [シャッター/サイレント] → [カードなしリリース] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

許可：

メモリーカードが入っていてもシャッターが切れる。

禁止：

メモリーカードが入っていないとシャッターが切れない。

ご注意

- メモリーカードを入れていない状態では、撮影した画像は保存されません。
- お買い上げ時の設定は [許可] になっていますので、実際の撮影のときは [禁止] にしておくことをおすすめします。

デジタルカメラ
ZV-1F

本機で使用できるズームの種類

本機では、いくつかのズームを組み合わせることで、高倍率のズームができます。ズームの種類によってモニターに表示されるアイコンが変わります。



1. スマートズーム範囲 (s \oplus)

画像を部分的に切り出して、画質を劣化させずに拡大する。（[JPEG画像サイズ]がM、Sのときのみ。）

2. 超解像ズーム範囲 (c \oplus)

画質劣化の少ない画像処理により拡大する。[\oplus ズーム範囲]を[超解像ズーム]または[デジタルズーム]にすると使用できます。

3. デジタルズーム範囲 (D \oplus)

画像処理により拡大する。[\oplus ズーム範囲]を[デジタルズーム]にすると使用できます。

ヒント

- お買い上げ時の設定では、[JPEG画像サイズ]は[L]に設定されています。スマートズームを使用したい場合は、[JPEG画像サイズ]をMまたはSに変更してください。

ご注意

- 以下の場合、スマートズーム、超解像ズーム、デジタルズームは使えません。
 - [記録フレームレート]が[120p]
 - [S&Q フレームレート]が[120fps]でスロー&クイックモーション撮影時
- 動画撮影中は、スマートズームは使用できません。
- ズーム使用時は、[\oplus フォーカスエリア]の設定は無効になり、中央付近を優先したAF動作になります。
- スマートズーム、超解像ズーム、デジタルズーム使用時は、[\oplus 測光モード]は[マルチ]になります。
- スマートズーム、超解像ズーム、デジタルズーム使用中は、下記の機能は使用できません。
 - 被写体認識AF
 - \oplus マルチ測光時顔優先
 - トラッキング機能

関連項目

- [ズームする](#)
- [ズーム範囲 \(静止画/動画\)](#)
- [ズーム倍率について](#)

デジタルカメラ
ZV-1F


ズームする

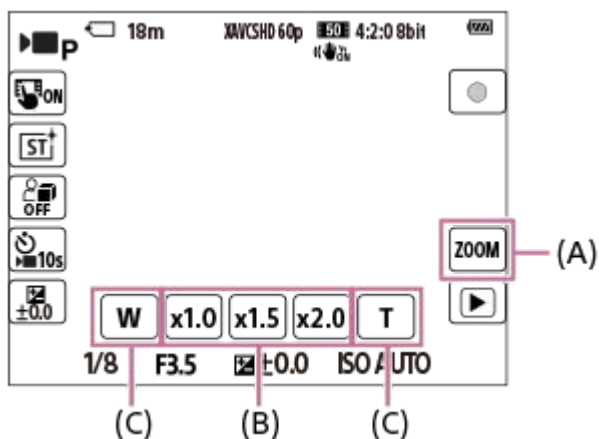
ズームするには、W/T（ズーム）レバーを使う方法と、画面上のズームアイコンをタッチする方法があります。

ズームレバーを使う

1. W/T（ズーム）レバーを動かして、被写体を拡大する。
 - T側にレバーを動かすとズームし、W側にレバーを動かすと戻ります。

画面上のズームアイコンをタッチする

1. MENU → （セットアップ） → [タッチ操作] → [アイコンタッチ機能] を [入] にする。
2. **ZOOM**（ズーム）アイコン（A）をタッチして、倍率（B）を選ぶ。または、W/Tアイコン（C）を長押ししてズームする。



- (A): **ZOOM**（ズーム）アイコン
(B): 倍率
(C): W/Tアイコン

関連項目

- [ズーム範囲（静止画/動画）](#)
- [ズームスピード](#)
- [ステップズーム倍率（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ズーム範囲（静止画/動画）



本機で行うズーム範囲を設定できます。

- 1 MENU → / （撮影） → [ズーム] → [ズーム範囲] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スマートズームのみ：

ズーム範囲をスマートズームの範囲内に制限します。静止画撮影時は、[JPEG画像サイズ]がMまたはSの場合のみ、スマートズームを使用できます。

超解像ズーム：

超解像ズーム範囲まで使用する場合はこの設定を選びます。スマートズーム倍率を超えても、画像劣化の少ない画像処理を用いて拡大します。

デジタルズーム：

超解像ズーム倍率を超えた場合に、画質は劣化するが、最大倍率が大きいズームを行えます。

ご注意

- 画質が劣化しない範囲でのみズームしたい場合は、[スマートズームのみ]に設定してください。

関連項目

- [本機で使用できるズームの種類](#)
- [ズーム倍率について](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ズームスピード



ズームスピードを設定します。ズームレバーによるズーム、および画面のW/Tアイコン長押し時のズームに有効です。

- 1 MENU → / (撮影) → [ズーム] → [ズームスピード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

低速：

ズーム速度を低速にする。

標準：

ズーム速度を標準速度にする。

高速：

ズーム速度を高速にする。

ご注意

- [ズームスピード] の設定はリモコン（別売）を本機に接続してズーム遠隔操作をするときも適用されます。

関連項目

- [ズームする](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ステップズーム倍率（静止画/動画）



撮影画面のタッチボタンや [ステップズーム] 機能を割り当てたキーで選択できるズーム倍率を設定します。

① MENU → / （撮影） → [ズーム] → [ステップズーム倍率] を選ぶ。

② 有効にしたいズーム倍率にチェックマークを入れ、[OK] を選ぶ。

- （チェックマーク）を付けた倍率は、以下のときに選べます。
 - 撮影画面でZOOM（ズーム）ボタンをタッチしたとき
 - [ステップズーム] を割り当てたカスタムキーを押したとき

メニュー項目の詳細

採用するズーム倍率にチェックマークを入れてください。

x1.0/x1.5/x2.0/x4.0

ヒント

- カスタムキーでズーム倍率を選ぶには、あらかじめ [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で好みのキーに [ステップズーム] を割り当ててください。

ご注意

- 動画撮影時は、 [記録方式] や [ズーム範囲] の設定によってズームできる最大の倍率が変わります。
 - [記録方式] がHDの時
超解像ズーム：x2.0まで
デジタルズーム：x4.0まで
 - [記録方式] が4Kの時
超解像ズーム：x1.5まで
デジタルズーム：x4.0まで

関連項目

- [ズームする](#)
- [ズーム範囲（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ズーム倍率について

画像サイズによって、ズーム倍率は変わります。

【アスペクト比】が【3:2】の場合

JPEG画像サイズ	スマートズームのみ	超解像ズーム	デジタルズーム
L: 20M	-	約2倍	約4倍
M: 10M	約1.4倍	約2.8倍	約5.6倍
S: 5.0M	約2倍	約4倍	約8倍

関連項目

- [本機で使用できるズームの種類](#)
- [ズーム範囲 \(静止画/動画\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

手ブレ補正（動画）



動画撮影時の手ブレ補正の設定をします。

① MENU → (撮影) → [手ブレ補正] → [手ブレ補正] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

アクティブ：

強い手ブレ補正効果を得る。

切：

手ブレ補正を行わない。

ご注意


- 三脚などを使う場合には、手ブレ補正機能が誤動作するおそれがあるため、手ブレ補正機能をオフにしてください。
- [手ブレ補正] の設定によって、画角が変わります。
- 以下の場合は、 [手ブレ補正] は [切] に固定されます。
 - 通常動画の場合： [記録フレームレート] が [120p] のとき
 - スロー&クイックモーション動画の場合： [フレームレート] が [120fps] のとき

デジタルカメラ
ZV-1F

高感度ノイズ低減



ISO感度を高感度に設定して撮影した場合のノイズ軽減処理を設定します。

① MENU →  (撮影) → [画質/記録] → [高感度ノイズ低減] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準：

高感度ノイズリダクションの処理を標準的に行う。

弱：

高感度ノイズリダクションの処理を弱めに行う。

切：

高感度ノイズリダクションの処理を行わない。

デジタルカメラ
ZV-1F

オートレビュー（静止画）



撮影直後に、撮影した画像を確認することができます。オートレビューの表示時間を設定します。

① MENU → （セットアップ） → [表示オプション] → [ オートレビュー] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

10秒/5秒/2秒：

設定した秒数だけ表示する。オートレビュー中に拡大操作をすると、撮影した画像を拡大再生して確認することができる。

切：

オートレビューしない。

ご注意

- 画像処理をする機能を使用している場合、画像処理をする前の画像を一時的に表示してから、画像処理が適用された画像を表示することがあります。
- オートレビューは、DISP（画面表示切換）で設定したモードで表示されます。

関連項目

- [再生画像を拡大する（拡大）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

グリッドライン表示（静止画/動画）



構図合わせのための補助線であるグリッドラインを撮影画面に表示するかどうか設定します。

① MENU → / （撮影） → [撮影画面表示] → [グリッドライン表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
グリッドラインを表示する。

切：
グリッドラインを表示しない。

ヒント

- [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で希望のキーに [グリッドライン表示切換] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびにグリッドラインの表示/非表示を切り替えることができます。

関連項目

- [グリッドラインの種類（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

グリッドラインの種類（静止画/動画）



構図合わせのための補助線であるグリッドラインの、表示の種類を設定します。

① MENU → / （撮影） → [撮影画面表示] → [グリッドラインの種類] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

3分割：

3分割の線の近くに主要な被写体を配置すると、バランスのよい構図になる。

方眼：

方眼線により構図の傾きが確認しやすく、風景写真や接写、複写などの構図決定に適している。

対角+方眼：

対角線上に被写体を配置することで、躍動感や力強さなどを表現できる。

ヒント

- [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で希望のキーに [グリッドラインの種類] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびに表示するグリッドラインの種類を切り替えることができます。

関連項目

- [グリッドライン表示（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ライブビュー表示



モニターの表示に、露出補正やホワイトバランス、[クリエイティブルック] の設定値を反映させるかどうかを設定します。

① MENU → / (撮影) → [撮影画面表示] → [ライブビュー表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

設定効果反映On :

すべての設定を反映させ、撮影結果に近い状態でライブビュー表示をする。撮影結果をライブビュー画面で確認しながら撮影する場合に有効。

設定効果反映Off :

露出やホワイトバランス、[クリエイティブルック] などの設定を反映させずにライブビュー表示をする。エフェクトをかけて撮影する場合などにも、見やすい状態でライブビューが表示され、構図確認が容易になる。

[マニュアル露出] 時のライブビュー画像も常に適正な明るさで表示される。

[設定効果反映Off] が選ばれているとき、ライブビュー画面上には **VIEW** (VIEW) アイコンが表示される。

ご注意

- [ライブビュー表示] を [設定効果反映Off] に設定していても、静止画モードから動画撮影を行った場合には撮影設定が反映されたライブビュー表示になります。
- [設定効果反映Off] 設定時は、表示されるライブビューと撮影した画像の明るさなどが一致しません。

デジタルカメラ
ZV-1F

ブライトモニタリング



周囲が暗い状況下での撮影で、構図合わせができるようにします。夜空などの暗い場所でも、露光時間を延ばすことにより、モニターで構図の確認ができます。

- 1 MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] → 希望のキーに [ブライトモニタリング] の機能を設定する。
- 2 静止画撮影モードで [ブライトモニタリング] の機能を割り当てたキーを押してから、撮影する。
 - 撮影後も [ブライトモニタリング] による明るさは継続します。
 - 画面の明るさを通常に戻すときは、 [ブライトモニタリング] の機能を割り当てたキーをもう一度押します。

ご注意

- [ブライトモニタリング] 実行中は、 [ライブビュー表示] は自動的に [設定効果反映Off] となり、ライブビュー表示には露出補正などの設定値は反映されません。暗い場所でのみのご使用をおすすめします。
- 以下のとき、 [ブライトモニタリング] は自動的に解除されます。
 - 本機の電源を切ったとき
 - マニュアルフォーカス以外に設定したとき
 - [MF時自動ピント拡大] を実行したとき
 - [ピント拡大] を実行したとき
- [ブライトモニタリング] 実行中は、暗い場所でシャッタースピードが通常よりも低速になることがあります。また、測光される明るさの範囲が拡大するため、露出が変化することがあります。

関連項目

- [ライブビュー表示](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

記録中の強調表示



動画を記録中に、モニター全体に赤い枠を表示します。カメラのモニターを斜めから見る場合や遠くから見る場合でも、撮影スタンバイ中か記録中かを確認しやすくなります。

① MENU → (撮影) → [撮影画面表示] → [記録中の強調表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
記録中であることを示す赤い枠を表示する。

切：
記録中であることを示す枠を表示しない。

ヒント

- 本機能により表示される枠は、HDMI接続した外部モニターにも出力できます。[HDMI情報表示]を[あり]に設定してください。

関連項目

- [HDMI情報表示](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

マーカー表示



動画撮影時に、マーカーをモニターに表示するかどうかや、表示するマーカーの種類を設定します。

① MENU → (撮影) → [マーカー表示] → メニュー項目を選び、希望の設定にする。

メニュー項目の詳細

マーカー表示：

マーカーを表示するかどうかを設定する。（[入] / [切]）

センターマーカー：

撮影画面の中心にセンターマーカーを表示するかどうかを設定する。（[切] / [入]）

アスペクトマーカー：

アスペクトマーカー表示の設定をする。（[切] / [9:16] / [4:5] / [1:1] / [4:3] / [13:9] / [14:9] / [15:9] / [17:9] / [1.66:1] / [1.85:1] / [1.91:1] / [2:1] / [2.35:1] / [2.39:1]）

セーフティゾーン：

セーフティゾーン表示の設定をする。一般的な家庭用テレビで受像できる範囲の目安になる。（[切] / [80%] / [90%]）

ガイドフレーム：

ガイドフレームを表示するかどうかを設定する。被写体が水平/垂直になっているかを確認できる。（[切] / [入]）

ヒント

- 複数のマーカーを同時に表示できます。
- [ガイドフレーム]の交点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

ご注意


- マーカー表示は、撮影モードが[動画]のとき、[スロー&クイックモーション]のとき、または動画記録中に表示されます。
- [ピント拡大]中は、マーカーを表示できません。
- マーカー表示は、モニターのみに表示されます。（外部に出力することはできません。）

デジタルカメラ
ZV-1F

ガンマ表示アシスト



S-Logを適用した動画は、広いダイナミックレンジを活用するために、撮影後の編集を前提としています。また、HLGを適用した画像は、HDR対応モニターで表示することを前提としています。このため、撮影時の画像は低コントラストとなりモニタリングがしにくくなりますが、[ガンマ表示アシスト]機能を使うことで、通常のガンマと同等のコントラストを再現することができます。また再生時にも、[ガンマ表示アシスト]を適用した動画をモニターで見ることができます。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [表示オプション] → [ガンマ表示アシスト] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細



入：

ガンマ表示アシスト機能を使用する。

切：

ガンマ表示アシスト機能を使用しない。

ヒント

- [ カスタムキー設定]、[ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] で希望のキーに [ガンマ表示アシスト切換] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびにガンマ表示アシストの入/切を切り替えることができます。

ご注意

- 本機に接続されたテレビやモニターでは、[ガンマ表示アシスト] は適用されません。

関連項目

- [ピクチャプロフィール \(静止画/動画\)](#)
- [ガンマ表示アシスト方式](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ガンマ表示アシスト方式



【ガンマ表示アシスト】の変換方式を設定します。

- 1 MENU → (セットアップ) → 【表示オプション】 → 【ガンマ表示アシスト方式】 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Assist
AUTO オート :

- ピクチャープロファイル] で設定されたガンマやカラーモードによって、以下のように変換して表示する。
 - ガンマが [S-Log2] の場合 : [S-Log2→709(800%)]
 - ガンマが [S-Log3] の場合 : [S-Log3→709(800%)]
 - ガンマが [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] でカラーモードが [BT.2020] の場合 : [HLG(BT.2020)]
 - ガンマが [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] でカラーモードが [709] の場合 : [HLG(709)]

Assist
S-Log2 **S-Log2→709(800%) :**

S-Log2をITU709 (800%) 相当に変換して表示する。

Assist
S-Log3 **S-Log3→709(800%) :**

S-Log3をITU709 (800%) 相当に変換して表示する。

Assist
HLG 2020 **HLG(BT.2020) :**

[HLG(BT.2020)] に対応したモニターで表示したときと近い画質となるように、カメラのモニターの画質を調整して表示する。

Assist
HLG 709 **HLG(709) :**

[HLG(709)] に対応したモニターで表示したときと近い画質となるように、カメラのモニターの画質を調整して表示する。

ヒント

- カスタムキー設定] または カスタムキー設定] で希望のキーに [ガンマ表示アシスト切替] を割り当てると、ガンマ表示アシスト方式の設定を切り替えることができます。

ご注意

- 【ガンマ表示アシスト方式】を【オート】にして画像を再生する場合は、以下のように変換して表示します。
 - [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] ガンマで撮影された動画を再生する場合 : カラーモードによって [HLG(BT.2020)] または [HLG(709)] に変換して表示する。

上記以外の場合は ピクチャープロファイル] で設定しているガンマとカラーモードの設定値によって画像を変換して表示します。

関連項目

- [ガンマ表示アシスト](#)
- [ピクチャープロファイル \(静止画/動画\)](#)
- [HDMI出力設定 \(動画\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

音声記録



動画撮影時に音声を記録するかどうかを設定します。撮影中のレンズやカメラの動作音などが記録されるのを防ぎたい場合は [切] を選びます。この機能は、スロー&クイックモーション撮影時には使用できません。

① MENU →  (撮影) → [音声記録] → [音声記録] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
撮影時に音声を記録する。

切：
撮影時に音声を記録しない。

関連項目

- [録音レベル](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

録音レベル



レベルメーターを見ながら録音レベルを調整できます。この機能は、スロー&クイックモーション撮影時には使用できません。

- 1 MENU → (撮影) → [音声記録] → [録音レベル] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの左/右で希望のレベルを選ぶ。

メニュー項目の詳細

+側：
録音レベルが上がる。

-側：
録音レベルが下がる。

ヒント

- 大きな音の動画を録画する場合は、[録音レベル] を低めに設定すると臨場感のある音声記録できます。小さな音の動画を録画する場合は、[録音レベル] を高めに設定することで聞きやすい音声で記録できます。適正なレベルになっているかどうかは、カメラ本体のレベルメーターで確認してください。
- 録音レベルを初期値に戻すには、 (削除) ボタンを押してください。

ご注意

- [録音レベル] の設定値にかかわらず、リミッターは常に作動しています。
- [録音レベル] は撮影モードが動画のときのみ選べます。
- [録音レベル] の調整は、内蔵マイクと (マイク) 端子入力に対して有効です。

デジタルカメラ
ZV-1F

風音低減



内蔵マイクからの入力音声の低域音をカットして、風音を低減できます。この機能は、スロー&クイックモーション撮影時には使用できません。

ウインドスクリーン（付属）を使用することでも風音を低減できますが、風音が気になる場合は本機能を併用してお使いください。

① MENU →  (撮影) → [音声記録] → [風音低減] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
風音低減する。

切：
風音低減しない。

ご注意


- [風音低減] を [入] に設定すると、通常と音質が変わる場合があります。
- 別売のマイク使用時は、[入] にしていても風音低減は行われません。

デジタルカメラ
ZV-1F

音声レベル表示



音声レベルを画面に表示するかどうかを設定します。この機能は、スロー&クイックモーション撮影時には使用できません。

① MENU →  (撮影) → [音声記録] → [音声レベル表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
音声レベルを表示する。

切：
音声レベルを表示しない。


ご注意

- 以下の場合には音声レベルが表示されません。
 - － [音声記録] が [切] のとき
 - － 画面表示が [情報表示 なし] になっているとき
- 動画撮影モードにすると、撮影スタンバイ中も音声レベルが表示されます。

デジタルカメラ
ZV-1F

画像と音声をライブ配信する (USBストリーミング)



カメラにパソコンなどを接続し、カメラの映像と音声をライブ配信やWeb会議サービスに利用することができます。あらかじめ、MENU→ (セットアップ) → [USB] → [USB接続モード] を [接続時に選択] または [USBストリーミング] に設定してください。

1 カメラとパソコンなどの接続機器をUSBケーブルで接続する。

カメラの画面に [USBストリーミング:スタンバイ] が表示され、配信スタンバイ状態に切り換わる。


- [USB接続モード] を [接続時に選択] に設定している場合は、USB接続モードの選択画面で [ライブストリーミング (USBストリーミング)] を選んでください。
- 接続機器側の端子にあったケーブル、またはアダプターをお使いください。

2 お使いのライブ配信/Web会議サービスから配信を開始する。


カメラの画面に [USBストリーミング:出力中] が表示される。


- USBストリーミングを終了するには、本機の電源を切るか、USBケーブルを抜いてください。

ヒント

- [商品レビュー用設定]、[背景のボケ切替] を [▶■ カスタムキー設定] に割り当てておけば、USBストリーミング中でもこれらの機能を使えます。
- ストリーミングデータの形式は、以下のようになります。
 - 映像フォーマット: MJPEG
 - 解像度: HD720 (1280×720)
 - フレームレート: 30 fps
 - 音声フォーマット: PCM、48 kHz、16 bit、2ch
- USBストリーミング中はパソコンなどからカメラへの給電が行われます。パソコンなどの電源をなるべく消費したくないときは、[USB給電] を [切] にしてください。
- 外部マイクを使用する場合は、カメラの  (マイク) 端子に接続することで音声と口の動きのずれを最小限に抑えることができます。

ご注意

- USBストリーミングを実行中は、ストリーミング開始前の撮影モードにかかわらず常に動画撮影モードに設定されます。
- USBストリーミングを実行中は、以下のことができません。
 - 再生画面への遷移
 - ネットワーク機能 (PCリモート、スマートフォンによるリモート操作など)
- USBストリーミングを実行中は、以下の機能は無効になります。
 - ストリーミング動画の記録
 - メニュー画面の操作
 - カスタムホワイトバランスの取り込み
 -  ピクチャープロファイル

- パワーセーブ開始時間
-  モニター自動OFF
- 温度環境やWi-Fiの接続環境、ストリーミング開始前の使用状況により、カメラ内部の温度が上昇し、配信できる時間が短くなることがあります。

関連項目

- [USB接続モード](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

この章の目次

この章（「カメラをカスタマイズする」）で説明している機能の一覧です。各項目名から、それぞれの機能を説明するページに移動できます。

よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）（静止画/動画）

よく使う機能をファンクションメニューに登録する

- [Fnメニュー設定](#)

よく使う機能をマイメニュータブに登録する

- [項目の追加](#)
- [項目の並べ替え](#)
- [項目の削除](#)
- [ページの削除](#)
- [全て削除](#)
- [マイメニューから表示](#)

シャッターボタンで動画を撮影する

- [シャッターボタンでREC（動画）](#)

モニターの表示を設定する

- [モニター反転表示](#)
- [DISP\(画面表示\)設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）（静止画/動画）

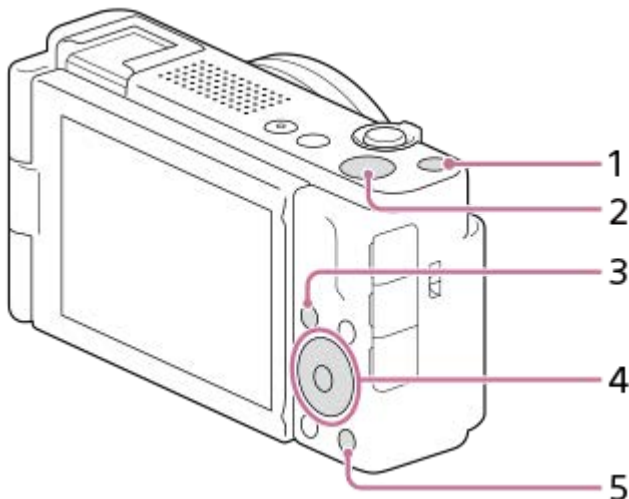


カスタムキー機能を使って、よく使う機能を自分が操作しやすいボタンに割り当てると便利です。MENUから機能を選択する手順が省略できるため、すばやく機能呼び出すことができます。

カスタムキーには、静止画撮影時の機能、動画撮影時の機能、再生時の機能をそれぞれ別々に割り当てることができます。

- ボタンによって割り当てられる機能が異なります。

以下のボタンに希望の機能を割り当てられます。



1. カスタムボタン1
2. MOVIEボタン
3. Fn/ ボタン
4. 中央ボタン/左ボタン/右ボタン
5. ボタン

ここでは、中央ボタンに「被写体認識AF」機能を割り当てる手順を説明します。

- 1 MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] を選ぶ。
 - 動画撮影時に呼び出したい機能を設定する場合は [カスタムキー設定] を、再生時に呼び出したい機能を設定する場合は [カスタムキー設定] を選びます。
- 2 コントロールホイールの上/下で「背面」画面へ移動し、「中央ボタン」を選んで中央を押す。
- 3 コントロールホイールの上/下/左/右で「被写体認識AF」を選んで中央を押す。
 - 撮影時に中央ボタンを押すと、瞳が検出された場合は「被写体認識AF」が働き、瞳にピントが合います。中央ボタンを押したままの状態でも撮影をしてください。

デジタルカメラ
ZV-1F

Fnメニュー設定



ファンクションメニューとは、撮影時にFn（ファンクション）ボタンを押すと画面下部に表示される12個の機能メニューです。

静止画撮影時の機能と動画撮影時の機能を12個ずつ別々に登録することができます。

ここでは、静止画用ファンクションメニューの【ドライブモード】を【グリッドライン表示】に変更する手順を説明します。

- 動画用ファンクションメニューを変更する場合は、手順2で動画用のファンクションメニューから変更する項目を選んでください。

- 1 MENU → (セットアップ) → 【操作カスタマイズ】 → 【Fnメニュー設定】 を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下/右/左で静止画用の12個のファンクションメニューのうちの (ドライブモード) を選び、中央を押す。
- 3 コントロールホイールの左/右で 【グリッドライン表示】 が表示される画面へ移動し、 【グリッドライン表示】 を選んで中央を押す。
 - ファンクションメニューで (ドライブモード) が設定されていた場所に、 (グリッドライン表示) が表示されるようになります。

ヒント

- 【タッチ操作】が【入】のときは、ファンクションメニュー中のアイコンを長押しすることでも【Fnメニュー設定】を開くことができます。

関連項目

- [ファンクションメニューを使う](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

項目の追加




MENUの☆（マイメニュー）に、お好みのメニュー項目を登録することができます。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [項目の追加] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右で、☆（マイメニュー）に追加したい項目を選ぶ。
- 3 コントロールホイールの上/下/左/右で、追加する位置を選ぶ。

ヒント

- ☆（マイメニュー）には最大42個の項目を追加することができます。

ご注意

- ☆（マイメニュー）には、以下の項目は追加できません。
– MENU → （再生）内のすべての項目

関連項目

- [項目の並べ替え](#)
- [項目の削除](#)
- [メニューを使う](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

項目の並べ替え



MENUの☆（マイメニュー）に登録したメニュー項目を並べ替えます。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [項目の並べ替え] を選ぶ。
 - 2 コントロールホイールの上/下/左/右で、並べ替えたい項目を選ぶ。
 - 3 コントロールホイールの上/下/左/右で、並べ替え先を選ぶ。
-

関連項目

- [項目の追加](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

項目の削除



MENUの☆（マイメニュー）に登録したメニュー項目を削除します。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [項目の削除] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右で削除したい項目を選び、コントロールホイールの中央を押して削除する。

ヒント

- ページ内のすべての項目を一括で削除するには、MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [ページの削除] を選びます。
- MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [全て削除] を選ぶと、登録したすべてのマイメニュー設定が削除されます。

関連項目

- [ページの削除](#)
- [全て削除](#)
- [項目の追加](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ページの削除



MENUの☆（マイメニュー）に登録したメニュー項目を、ページごとに一括で削除します。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [ページの削除] を選ぶ。
 - 2 コントロールホイールの上/下で削除したいページを選び、コントロールホイールの中央を押して削除する。
-

関連項目

- [全て削除](#)
- [項目の追加](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

全て削除



MENUの☆（マイメニュー）に登録したメニュー項目をすべて削除します。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [全て削除] を選ぶ。
 - 2 [OK] を選ぶ。
-

関連項目

- ページの削除
- 項目の追加

デジタルカメラ
ZV-1F

マイメニューから表示



MENUボタンを押したときに、マイメニューから表示するように設定できます。

① MENU → ☆ (マイメニュー) → [マイメニュー設定] → [マイメニューから表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

MENUボタンを押すと、マイメニューから表示される。

切：

MENUボタンを押すと、前回表示していたメニューが表示される。

関連項目

- [項目の追加](#)
- [メニューを使う](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

シャッターボタンでREC（動画）



MOVIE（動画）ボタンの代わりに、より大きく押しやすいシャッターボタンを使って、動画撮影の開始/停止を行うことができます。

① MENU → （セットアップ） → [操作カスタマイズ] → [ シャッターボタンでREC] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

する:

撮影モードが [動画] または [スロー&クイックモーション] のとき、シャッターボタンでも動画撮影を行うことができる。

しない:

シャッターボタンで動画撮影を行わない。

関連項目


- [動画を撮影する（おまかせオート）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

モニター反転表示



モニターの開き方や向きに応じて、画像やメニュー画面を反転して表示することができます。

① MENU →  (セットアップ) → [モニター] → [モニター反転表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

カメラがモニターの開き方や向きを判別し、それに応じてモニターの表示を反転させる。

左右反転：

撮影時のモニター画像を左右反転させて表示する。

上下左右反転：

画像やメニュー画面などすべてのモニター表示を180度回転させて表示する。

反転しない：

モニター表示を反転させない。

ヒント

- [モニター反転表示切換] の機能を割り当てたキーを繰り返し押すと、[左右反転] → [上下左右反転] → [反転しない] → [左右反転] → …の順に設定を切り換えることができます。[モニター反転表示] が [オート] に設定されているときは、設定値は [オート] のまま一時的に表示方法を切り換えます。

ご注意


- [モニター反転表示] を [左右反転] に設定していても、再生時のモニター表示は反転されません。

デジタルカメラ
ZV-1F

DISP(画面表示)設定



撮影時に、DISP（画面表示切換）で選択できる画面表示モードを設定します。

① MENU → （セットアップ） → [操作カスタマイズ] → [DISP(画面表示)設定] → 希望の設定を選び、[実行] を選んで決定する。

✓（チェック）がついている項目が選択できるモードになる。

メニュー項目の詳細

全情報表示：

撮影情報を表示する。

情報表示 なし：

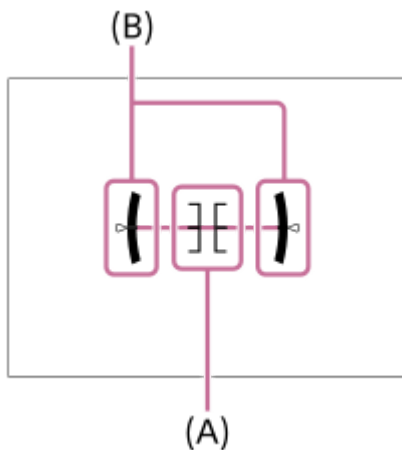
撮影情報を表示しない。

ヒストグラム：

画像の明暗をグラフ（ヒストグラム）で表示する。

水準器：

カメラの前後方向 **(A)**、水平方向 **(B)** の傾きを指標で示す。水平、平衡状態のときは、表示が緑色になる。



ご注意

- カメラを前または後に大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなります。
- 水準器で傾きがほぼ補正された状態でも $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。

関連項目

- [DISP（画面表示切換）ボタンを使う](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

この章の目次

この章（「再生する」）で説明している機能の一覧です。各項目名から、それぞれの機能を説明するページに移動できます。

画像を見る

- 静止画を再生する
- 再生画像を拡大する（拡大）
- 拡大の初期倍率
- 拡大の初期位置
- 記録画像を自動的に回転させる（記録画像の回転表示）
- 動画を再生する
- 音量設定
- スライドショーで再生する（スライドショー）
- インターバル連続再生
- インターバル再生速度

画像の表示方法を変える

- 一覧表示で再生する（一覧表示）
- 静止画と動画を切り換える（ビューモード）
- グループ表示
- 日時指定で画像表示

撮影した画像を保護する（プロテクト）

画像に情報を追加する

- レーティング
- レーティング カスタムキー設定
- 画像を回転する（回転）

動画から静止画を切り出す

- 動画から静止画作成

画像を削除する

- 不要な画像を選んで削除する（削除）
- 2度押しで削除
- 削除確認画面

テレビと接続して画像を見る

- HDMIケーブルを使ってテレビで見る

デジタルカメラ
ZV-1F

静止画を再生する



撮影した静止画を再生します。

1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。

2 コントロールホイールで画像を選ぶ。

- 連続撮影した画像やインターバル撮影で撮影した画像は、1つのグループとして表示されています。グループ内の画像を再生する場合は、コントロールホイールの中央を押してください。

ヒント

- 本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。管理ファイルに未登録の画像は正しく表示されないことがあります。他機で撮影した画像を見る時は、MENU→/▶■ (撮影) → [メディア] → [ 管理ファイル修復] で管理ファイルに画像を登録してください。
- 連続撮影後に画像をすぐに再生すると、モニターにデータ書き込み中/書き込み残り枚数を示すアイコンが表示されることがあります。書き込み中は、一部の機能を使用できません。

関連項目

- [管理ファイル修復 \(静止画/動画\)](#)
- [グループ表示](#)
- [再生画像を拡大する \(拡大\)](#)




デジタルカメラ
ZV-1F

再生画像を拡大する（拡大）

再生した画像を拡大します。写真のピントの具合を確認したいときなどに使います。

- 1 拡大したい画像を表示して、T側にW/T（ズーム）レバーを動かす。
 - W側にW/T（ズーム）レバーを動かして倍率を調整してください。
 - 画像は、撮影時にピントを合わせた位置を中心に拡大されます。ピントの位置情報が得られない場合、画像の中心が拡大されます。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右で表示する場所を移動する。
- 3 MENUボタンまたはコントロールホイールの中央を押して、拡大再生を終了する。

ヒント

- メニューから拡大再生を行うこともできます。
- MENU → （再生） → [拡大] → [ 拡大の初期倍率] または [ 拡大の初期位置] で、拡大初期倍率や拡大初期位置を変更できます。
- モニターのタッチ操作で画像を拡大することもできます。拡大位置を移動するにはモニターをドラッグします。あらかじめ、[タッチ操作] を [入] に設定してください。

ご注意

- 動画は拡大できません。



関連項目

- [拡大の初期倍率](#)
- [拡大の初期位置](#)
- [タッチ操作](#)
- [タッチパネルの操作](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

拡大の初期倍率

画像を再生し拡大表示するときの、拡大の初期倍率を選びます。

① MENU →  (再生) → [拡大] → [ 拡大の初期倍率] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準の倍率：

標準の倍率で拡大する。

前回の倍率：

前回の倍率で拡大する。前回の倍率は、拡大表示画面を終了しても保持される。



関連項目

- [再生画像を拡大する \(拡大\)](#)
- [拡大の初期位置](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

拡大の初期位置

画像を再生し拡大表示するときの、拡大の初期位置を選びます。

① MENU →  (再生) → [拡大] → [ 拡大の初期位置] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ピント位置：

撮影時にピントを合わせた位置から拡大する。

画面中央：

画面の中央から拡大する。


関連項目

- [再生画像を拡大する \(拡大\)](#)
- [拡大の初期倍率](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

記録画像を自動的に回転させる（記録画像の回転表示）

画像を再生するときの向きを設定できます。

① MENU → （再生） → [再生オプション] → [記録画像の回転表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

カメラを回転させると、カメラが縦横を判断し、その向きに合わせて再生している画像を表示する。

マニュアル：

縦位置で撮影した画像を縦向きに表示する。また回転機能で表示する向きを設定した場合はその向きに表示する。

切：

記録画像を常に横向きに表示する。

ご注意

- 動画の再生時は、縦位置で撮影した動画も横向きで再生されます。



関連項目

- [画像を回転する（回転）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F














動画を再生する

撮影した動画を再生します。



- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2  コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央を押して再生する。

動画再生中にできること

コントロールホイールの下を押すと、スロー再生、音量調整などの操作を行えます。

-  : 再生
-  : 一時停止
-  : 早送り
-  : 早戻し
-  : スロー再生
-  : スロー逆再生
-  : 次の動画
-  : 前の動画
-  : コマ送り
-  : コマ戻し
-  : 動画から静止画作成
-  : 音量設定
-  : 操作パネルを閉じる

ヒント

- 本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。管理ファイルに未登録の画像は正しく表示されないことがあります。他機で撮影した画像を見るときは、MENU→/▶■ (撮影) → [メディア] → [ 管理ファイル修復] で管理ファイルに画像を登録してください。
- スロー再生、スロー逆再生、コマ送り、コマ戻しは、一時停止中に選ぶことができます。
- 本機以外で撮影された動画ファイルは再生できない場合があります。
- 再生する動画にショットマークが付けられている場合、再生バーにショットマークの位置が表示されます。また、ショットマークが付けられた場面ではショットマークアイコンが画面に表示されます。

ご注意

- 縦位置で動画を撮影しても、本機のモニターでは横向きで再生されます。

関連項目

- [管理ファイル修復 \(静止画/動画\)](#)
- [静止画と動画を切り換える \(ビューモード\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

音量設定

動画再生時の音量を設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [サウンドオプション] → [音量設定] → 希望の設定を選ぶ。


再生中に音量を変えるには

動画再生中に、コントロールホイールの下を押して、操作パネルから音量設定できます。実際に音量を聞きながら調整できます。

デジタルカメラ
ZV-1F

スライドショーで再生する（スライドショー）

画像を自動的に連続再生します。

- 1 MENU → （再生） → [鑑賞] → [スライドショー] → 希望の設定を選ぶ。
- 2 [実行] を選ぶ。

メニュー項目の詳細

リピート：

繰り返し再生する（[入]）か、すべての画像を再生したら停止する（[切]）か選ぶ。

間隔設定：

画像が切り替わる間隔を、[1秒] / [3秒] / [5秒] / [10秒] / [30秒] から選ぶ。

途中で終了するには

MENUボタンを押して終了します。一時停止はできません。

ヒント



- スライドショー再生中に、コントロールホイールの左/右で、画像を戻す/送ることができます。
- [スライドショー] が実行できるのは、[ビューモード] が [日付ビュー] と [フォルダービュー（静止画）] のときのみです。

デジタルカメラ
ZV-1F



インターバル連続再生

インターバル撮影で撮影した画像を、連続再生します。

パソコン用ソフトウェアImaging Edge Desktop (Viewer) を使うと、インターバル撮影で撮影した静止画から動画を作成することができます。本機では静止画から動画を作成することはできません。

- 1 MENU →  (再生) → [鑑賞] → [ インターバル連続再生] を選ぶ。
- 2 再生したい画像グループを選んで、コントロールホイールの中央を押す。

ヒント


- 再生画面で、グループ内の画像を表示して下ボタンを押すことでも連続再生できます。
- 再生中は、下ボタンで再生/一時停止できます。
- 再生中にコントロールホイールを回すと、再生速度を変更できます。MENU →  (再生) → [鑑賞] → [ インターバル再生速度] でも再生速度を変更できます。
- 連続撮影した画像も連続再生できます。

関連項目

- [インターバル撮影機能](#)
- [インターバル再生速度](#)
- [パソコン用ソフトウェアの紹介 \(Imaging Edge Desktop/Catalyst\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

インターバル再生速度

[ インターバル連続再生] で静止画を連続再生するときの速度を設定します。

① MENU →  (再生) → [鑑賞] → [ インターバル再生速度] → 希望の設定を選ぶ。

ヒント

- 再生速度は、 [ インターバル連続再生] 中にコントロールホイールを回すことでも変更できます。

関連項目

- [インターバル連続再生](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

一覧表示で再生する（一覧表示）

再生時、複数の画像を同時に表示できます。

- 1 W/T（ズーム）レバーをW側にする。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右を押したり、コントロールホイールを回したりして、画像を選ぶ。

表示する枚数を変更する場合

MENU → （再生） → [再生オプション] → [一覧表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

9枚/25枚

1枚再生画面に戻すには

表示したい画像を選んでいる状態で、コントロールホイールの中央を押す。

希望の画像をすばやく表示するには

コントロールホイールで左側のバーを選び、コントロールホイールの上/下でページを送ることができます。バーを選んでいる状態で、中央を押すと、カレンダー画面、またはフォルダー選択画面が表示されます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます。


関連項目

- [静止画と動画を切り換える（ビューモード）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

静止画と動画を切り換える（ビューモード）

再生する画像の表示方法（ビューモード）を設定します。

① MENU → （再生） → [再生対象] → [ビューモード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

日付ビュー：

日付ごとに表示する。

フォルダービュー（静止画）：

静止画のみを表示する。

動画ビュー：

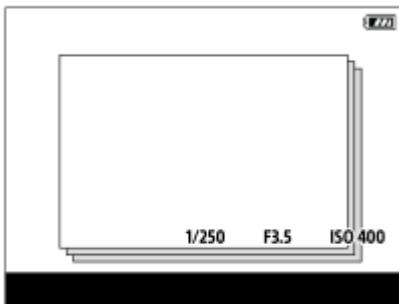
動画のみを日付ごとに表示する。

デジタルカメラ
ZV-1F

グループ表示

連続撮影した画像やインターバル撮影で撮影した画像をグループ化して表示するかどうかを設定します。

① MENU →  (再生) → [再生オプション] → [グループ表示] → 希望の設定を選ぶ。




メニュー項目の詳細

入：
画像をグループ化して表示する。グループ内の画像を再生するには、グループを選んでコントロールホイールの中央を押してください。

切：
画像をグループ化して表示しない。

ヒント

- 以下の画像がグループ表示されます。
 - － [ドライブモード] が [連続撮影] または [速度優先連写] で撮影された画像（連続撮影でシャッターボタンを押し続けて撮影されたひと続きの画像が、ひとつのグループになります。）
 - － [インターバル撮影機能] で撮影された画像（1回のインターバル撮影で撮影された画像が、ひとつのグループになります。）
- 一覧表示画面では、グループには  (グループ表示) アイコンが表示されます。

ご注意

- グループを削除すると、グループ内のすべての画像が削除されます。


関連項目

- [連続撮影](#)
- [速度優先連写](#)
- [インターバル撮影機能](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

日時指定で画像表示

撮影日時を指定して画像を再生します。


- 1 MENU →  (再生) → [再生オプション] → [日時指定で画像表示] を選ぶ。
- 2 再生したい画像の日付と時刻をコントロールホイールで指定して、中央を押す。
指定した日付時刻に撮影された画像が表示される。
 - 指定した日付時刻に撮影された画像がない場合は、最も撮影日時が近い画像が表示されます。

ご注意

- グループ内の画像を再生中に [日時指定で画像表示] を行った場合は、グループ内で最も撮影日時が近い画像が表示されます。
- 動画は、撮影開始時刻が撮影日時として扱われます。

デジタルカメラ
ZV-1F

撮影した画像を保護する (プロテクト)



撮影した画像を誤って消さないように保護 (プロテクト) します。プロテクトされた画像には  (プロテクト) マークが表示されます。

① MENU →  (再生) → [セレクション/メモ] → [プロテクト] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

画像選択:

画像を何枚か選んでプロテクトする。

- (1) 画像を選び、コントロールホイールの中央を押す。チェックボックスに  (チェック) マークが付く。解除したいときはもう一度中央を押して  (チェック) マークを消す。
- (2) ほかの画像もプロテクトするときは、手順1を繰り返す。
- (3) MENU → [確認] を選ぶ。

このフォルダーの全画像:

選択しているフォルダー内すべての画像をまとめてプロテクトする。

このフォルダーを全て解除:

選択しているフォルダー内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

この日付の全画像:

選択している日付内すべての画像をまとめてプロテクトする。

この日付を全て解除:

選択している日付内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。



このグループの全画像:

選択しているグループ内すべての画像をまとめてプロテクトする。

このグループ画像全て解除:

選択しているグループ内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

ヒント

- MENU →  (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [ カスタムキー設定] で希望のキーに [プロテクト] を割り当てておくと、キーを押すだけで表示中の画像のプロテクト/プロテクト解除ができます。
- [画像選択] でグループを選ぶと、グループ内のすべての画像がプロテクトされます。グループ内の任意の画像を選んでプロテクトしたい場合は、グループ内の画像を表示させた状態で [画像選択] を実行してください。


ご注意

- [ビューモード] の設定や選択しているコンテンツによって、選べる項目が異なります。


デジタルカメラ
ZV-1F

レーティング

撮影した静止画に星マークの数 (★ ~ ☆☆☆) でレーティング (ランク分け) を設定すると、画像を探しやすくなります。


- 1 MENU →  (再生) → [セレクション/メモ] → [レーティング] を選ぶ。
レーティング画像選択画面が表示される。
- 2 コントロールホイールの左/右でレーティングを設定したい画像を表示させ、中央を押す。
- 3 コントロールホイールの左/右で ★ (レーティング) のランクを選び、中央を押す。
- 4 MENUボタンを押して、レーティング設定画面を終了する。

静止画撮影時にレーティングを設定するには

あらかじめ [ カスタムキー設定] で好みのキーに [レーティング追加 (★)] ~ [レーティング追加 (☆☆☆)] を割り当てておき、静止画を撮影した後にカスタムキーを押してください。最後に撮影した静止画にレーティングを設定できます。

- 動画撮影時にはレーティングを設定できません。

ヒント


- カスタムキーを使って、画像の再生時にレーティングを設定することもできます。あらかじめ、 [ カスタムキー設定] で希望のキーに [レーティング] を割り当てておき、レーティングを設定したい画像の再生中にキーを押してください。キーを押すたびに ★ (レーティング) のランクが切り替わります。


関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\) \(静止画/動画\)](#)
- [レーティング カスタムキー設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

レーティング カスタムキー設定

[ カスタムキー設定] で [レーティング] を割り当てたキーを使って、画像をレーティング（ランク分け）するときを選ぶ星マーク（★）の数を設定します。

- 1 MENU →  (再生) → [セクション/メモ] → [レーティング カスタムキー設定] を選ぶ。
- 2 有効にしたい★（レーティング）のランクに✓（チェック）マークを付ける。
✓（チェック）マークを付けた値が、カスタムキーを使用して [レーティング] を設定するときを選択できるようになる。


関連項目

- [レーティング](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）（静止画/動画）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

画像を回転する（回転）

撮影した画像を回転します。

- 1 回転したい画像を表示して、MENU→（再生）→ [編集] → [回転] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの中央を押す。

画像が左に回転します。中央を押すたびに、回転が繰り返されます。
回転した画像は、本機の電源を切った後も回転した状態のまま保持されます。



ご注意

- 動画を縦向きに回転しても、本機のモニターでは横向きで再生されます。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見ると、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

デジタルカメラ
ZV-1F

動画から静止画作成

動画から希望のシーンを切り出して、静止画として保存します。はじめに動画で撮影し、動画再生中に一時停止して、静止画では撮影できない決定的な瞬間を切り出して静止画として保存します。

- 1 静止画を切り出したい動画を表示する。
- 2 MENU →  (再生) → [編集] → [動画から静止画作成] を選ぶ。
- 3 動画を再生し、一時停止する。
- 4 スロー再生、スロー逆再生、コマ送り、コマ戻しを使って、希望のシーンで停止する。
- 5  (動画から静止画作成) を押して、希望のシーンを静止画として切り出す。
静止画として保存される。

関連項目

- [動画を撮影する \(おまかせオート\)](#)
- [動画を再生する](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

不要な画像を選んで削除する（削除）

不要な画像を選んで削除できます。一度削除した画像は元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

① MENU → （再生） → [削除] → [削除] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

この画像以外の全画像：

グループ内の、選択している画像をのぞくすべての画像をまとめて削除する。

このグループの全画像：

選択しているグループ内すべての画像をまとめて削除する。

画像選択：

画像を何枚か選んで削除する。

(1) 削除したい画像を選び、コントロールホイールの中央を押す。チェックボックスに （チェック）マークが付く。解除したいときはもう一度中央を押して （チェック）マークを消す。

(2) ほかの画像も削除するときは、手順（1）を繰り返す。

(3) MENU → [確認] を選ぶ。


このフォルダーの全画像：

選択しているフォルダー内すべての画像をまとめて削除する。

この日付の全画像：

選択している日付内すべての画像をまとめて削除する。

ヒント

- プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータを消去するには [フォーマット] を行ってください。
- 希望のフォルダーまたは日付を表示するには、再生時に下記の手順で希望のフォルダーまたは日付を選びます。
（一覧表示）レバー → コントロールホイールで左側のバーを選ぶ → コントロールホイールの上/下で希望のフォルダーまたは日付を選ぶ。
- [画像選択] でグループを選ぶと、グループ内のすべての画像が削除されます。グループ内の任意の画像を選んで削除したい場合は、グループ内の画像を表示させた状態で [画像選択] を実行してください。

ご注意


- プロテクトされている画像は削除できません。
- [ビューモード] の設定や選択しているコンテンツによって、選べる項目が異なります。

関連項目

- [グループ表示](#)
- [削除ボタンを使う](#)
- [フォーマット](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

2度押しで削除

画像を再生中に  (削除) ボタンを2度続けて押すことで画像を削除できるようにするかどうかを設定します。


① MENU →  (再生) → [削除] → [ 2度押しで削除] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

有効:

画像を再生中に  (削除) ボタンを2度押すと画像を削除できる。


無効:

画像を再生中に  (削除) ボタンを2度押ししても画像は削除されない。

デジタルカメラ
ZV-1F

削除確認画面

削除の確認画面で、[削除] と [キャンセル] のどちらが選択された状態にするかを設定します。

① MENU →  (再生) → [削除] → [削除確認画面] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

「削除」が先：

[削除] が選択された状態にする。

「キャンセル」が先：

[キャンセル] が選択された状態にする。

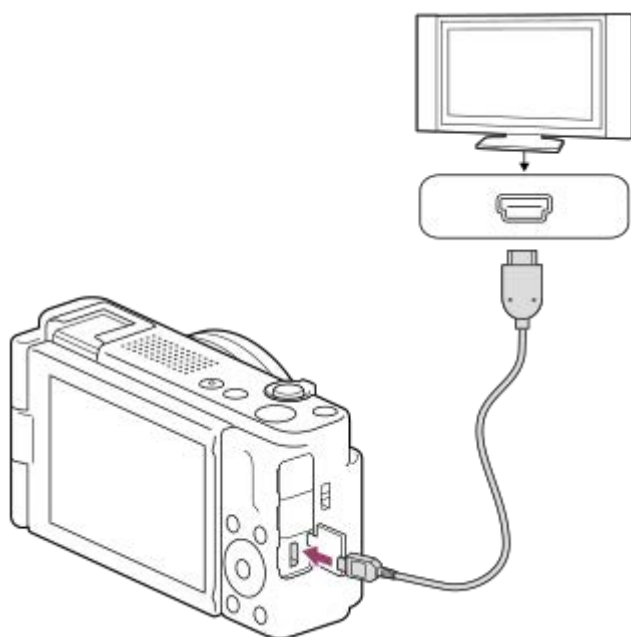
デジタルカメラ
ZV-1F


HDMIケーブルを使ってテレビで見る

本機の画像をテレビで見るには、HDMIケーブル（別売）とHDMI端子のあるテレビが必要です。詳しくは、対応テレビの取扱説明書をご覧ください。

- 1 本機とテレビの電源を切る。
- 2 本機のHDMI端子とテレビのHDMI端子をHDMIケーブル（別売）で接続する。




本機側はHDMIタイプDマイクロ端子、テレビ側はテレビの端子に合ったタイプのHDMIケーブルをお使いください。



- 3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする。
- 4 本機の電源を入れる。
撮影した画像がテレビに表示されます。
- 5 コントロールホイールの左/右で画像を選ぶ。
 - 再生画面では本機のモニターは点灯しません。
 - 再生画面になっていないときは、（再生）ボタンを押してください。

ご注意


- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。

- テレビに正しく画面が表示されない場合は、MENU→（セットアップ）→ [外部出力] → [ HDMI解像度] を接続するテレビに合わせて、[2160p/1080p]、[1080p] または [1080i] にしてください。
- HDMI出力中に4K動画とハイビジョン画質（HD）の動画を切り換えたり、異なるフレームレートやカラーモードの動画に切り換えたりすると、一時的に画面が暗くなる場合がありますが、故障ではありません。
- [**Px** プロキシ設定] の [**Px** プロキシ記録] が [入] のとき、4K動画記録中はHDMI機器に画像を出力できません。
- テレビのリモコン操作でカメラが不要な動きをする場合は、MENU→（セットアップ）→ [外部出力] → [HDMI機器制御] を [切] にしてください。


デジタルカメラ
ZV-1F

フォーマット

メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

① MENU →  /  (撮影) → [メディア] → [フォーマット] を選ぶ。

② [実行] を選ぶ。(クイックフォーマット)

-  (削除) ボタンを押すと、フルフォーマットを行うメッセージが表示されます。[実行] を押すと、フルフォーマットが始まります。

クイックフォーマットとフルフォーマットの違い

フルフォーマットは、カードへの記録/読み出し速度が遅くなったと感じるときや、データを完全に消去するときなどに実行してください。

フルフォーマットは、メモリーカードの全領域を初期化するため、クイックフォーマットよりも時間がかかります。

ヒント

- フルフォーマット実行中に、途中でキャンセルすることができます。フルフォーマットを途中でキャンセルしても、データの消去は完了しています。そのままメモリーカードを使用できます。

ご注意


- フォーマット中はアクセスランプが点灯します。点灯中はメモリーカードを抜かないでください。
- メモリーカードのフォーマットは、本機で行ってください。パソコンでメモリーカードのフォーマットを行うと、フォーマットの形式によってはメモリーカードが使えなくなることがあります。
- メモリーカードによっては、フォーマットに数分かかる場合があります。
- 電池容量が極端に少ない場合はフォーマットは実行できません。十分に充電したバッテリーをお使いください。




関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)
- [メモリーカードについてのご注意](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

管理ファイル修復（静止画/動画）

パソコンでファイル进行操作したなどの原因で、画像を管理しているファイルに何らかの異常が発生すると、メモリーカード内の画像が再生できなくなります。また、他機で使用したメモリーカードを本機で使用した場合、メモリーカード内の画像がグループ表示されないなど、正しく再生できないことがあります。そのような場合に管理ファイルの修復を行います。[ 管理ファイル修復] を実行しても、記録された画像は削除されません。

① MENU →  /  (撮影) → [メディア] → [ 管理ファイル修復] → [実行] を選ぶ。

ご注意

- 電池容量が極端に少ない場合は管理ファイル修復は実行できません。十分に充電したバッテリーをお使いください。

デジタルカメラ
ZV-1F

メディア残量表示（静止画/動画）

メモリーカードに記録できる静止画の枚数と動画の時間を表示します。

① MENU →  / （撮影） → [メディア] → [ メディア残量表示] を選ぶ。

デジタルカメラ
ZV-1F

ファイル/フォルダー設定

撮影する静止画のフォルダーやファイル名に関する設定をします。

① MENU →  (撮影) → [ファイル] → [ファイル/フォルダー設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ファイル番号：

静止画のファイル番号の付けかたを設定する。

[連番]：フォルダーごとにファイル番号をリセットしない。

[リセット]：フォルダーごとにファイル番号をリセットする。

ファイル番号強制リセット：

静止画のファイル番号をリセットし、新しいフォルダーを作成する。

ファイル名設定：

ファイル名の先頭3文字を設定する。

フォルダー形式：

フォルダー名の付けかたを設定する。

[標準形式]：フォルダー名が、フォルダー番号+任意の5文字になる。例：100MSDCF

[日付形式]：フォルダー名が、フォルダー番号+年月日（西暦下1桁月日4桁）になる。

例：10020405（100フォルダー、2022年4月5日）

ヒント

- [フォルダー形式] が [標準形式] のときのフォルダー名末尾の5文字は、[フォルダー新規作成] で設定できます。
- [ファイル番号強制リセット] でも、フォルダー名末尾の5文字を設定できます。

ご注意

- [ファイル名設定] で入力できるのは、大文字のアルファベット、数字、アンダーバーのみです。ただし、1文字目にアンダーバーは使用できません。
- [ファイル名設定] で設定したファイル名3文字は、設定後に撮影した画像にのみ適用されます。

関連項目

- [フォルダー新規作成](#)
- [ファイル設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

記録フォルダー選択

【ファイル/フォルダー設定】の【フォルダー形式】が【標準形式】に設定されていて、フォルダーが2つ以上存在する場合、撮影した画像を保存するフォルダー（記録フォルダー）を選べます。

① MENU → （撮影） → 【ファイル】 → 【記録フォルダー選択】 → 希望のフォルダーを選ぶ。

ご注意

- 【ファイル/フォルダー設定】の【フォルダー形式】が【日付形式】に設定されているときは、記録フォルダーの選択はできません。

関連項目

- [ファイル/フォルダー設定](#)
- [フォルダー新規作成](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

フォルダー新規作成

メモリーカードの中に、静止画を記録するための新しいフォルダーを作成します。既存番号+1のフォルダーが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダーに記録されます。

1つのフォルダー番号に記録できる画像は最大4 000枚です。容量を超えると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。

① MENU →  (撮影) → [ファイル] → [フォルダー新規作成] を選ぶ。

ヒント

- フォルダー名末尾の5文字を設定できます。

ご注意

- 他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。
- [ファイル/フォルダー設定] の [フォルダー形式] を [日付形式] に設定しているときは、フォルダー名を変更することができません。


関連項目

- [ファイル/フォルダー設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ファイル設定

撮影する動画のファイル名に関する設定をします。

① MENU →  (撮影) → [ファイル] → [ファイル設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ファイル番号：

動画のファイル番号の付けかたを設定する。

[連番]：メモリーカードを入れ替えても、ファイル番号がリセットされない。

[リセット]：メモリーカードを入れ替えると、ファイル番号がリセットされる。

連番カウンターリセット：

[ファイル番号] が [連番] のときに使用される、カメラ内に保持された連番カウンターをリセットする。

ファイル名形式：

動画のファイル名形式を設定する。

[標準]：ファイル名が、C+ファイル番号になる。例：C0001

[タイトル]：ファイル名が、タイトル+ファイル番号になる。

[日付+タイトル]：ファイル名が、日付+タイトル+ファイル番号になる。

[タイトル+日付]：ファイル名が、タイトル+日付+ファイル番号になる。

タイトル名設定：

[ファイル名形式] が [タイトル]、[日付+タイトル]、[タイトル+日付] のときのタイトルを設定する。

ご注意

- [タイトル名設定] で入力できるのは、アルファベット、数字、記号です。37文字まで入力できます。
- [タイトル名設定] で設定したタイトルは、設定後に記録した動画のみに適用されます。
- 動画のフォルダー形式は変更できません。
- SDHCメモリーカードを使用している場合は、[ファイル名形式] は [標準] に固定されます。
- [ファイル名形式] を以下に設定して記録したメモリーカードを本機以外に挿入すると、正常に動作しないことがあります。
 - － [タイトル]
 - － [日付+タイトル]
 - － [タイトル+日付]
- ファイル削除などにより未使用になったファイル番号があると、ファイル番号が9999になったあとに動画を記録した場合に、未使用の番号が付けられることがあります。




関連項目

- [ファイル/フォルダー設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

シリアル番号書き込み（静止画/動画）

撮影時にカメラのシリアル番号を書き込むことができます。

① MENU →  / （撮影） → [ファイル] → [ シリアル番号書き込み] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細


入：
カメラのシリアル番号を書き込む。

切：
カメラのシリアル番号を書き込まない。

デジタルカメラ
ZV-1F

Wi-Fi情報表示

本機のWi-FiのMACアドレスが表示されます。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [Wi-Fi情報表示] を選ぶ。

デジタルカメラ
ZV-1F

SSID・PWリセット

本機はスマートフォンと接続を行う際の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、接続情報をリセットしてください。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [SSID・PWリセット] → [確認] を選ぶ。

ご注意

- 接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。

関連項目

- [パソコンからカメラを操作する](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

Bluetooth設定

カメラとスマートフォンまたはBluetooth対応のリモコンやグリップをBluetooth接続するための設定をします。

① MENU →  (ネットワーク) → [Bluetooth] → メニュー項目を選び、希望の設定にする。

メニュー項目の詳細

Bluetooth機能：

カメラのBluetooth機能を有効にするかどうかを設定する。（[入] / [切]）

ペアリング：

カメラとスマートフォンまたはBluetoothリモコンをペアリングする画面になる。

ペアリング済み機器管理：

カメラとペアリングした機器のペアリング情報を確認/削除する。

Bluetoothリモコン：

Bluetooth対応のリモコン（別売）を使用するかどうかを設定する。（[入] / [切]）

機器アドレス表示：

カメラのBDアドレスを表示する。

ご注意

- スマートフォンからカメラのペアリング情報を削除したときは、[ペアリング済み機器管理] からスマートフォンのペアリング情報を削除してください。

関連項目

- [Bluetoothリモコン](#)
- [電源OFF中の接続（スマートフォン）](#)
- [カメラとスマートフォンをペアリングする（スマートフォン接続）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F


Bluetoothリモコン

Bluetooth対応のリモコン（別売）やグリップ（別売）を使ってカメラを操作できます。本機で使用できるBluetooth対応のリモコンやグリップについては専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/digitalcamera/connect/>

以下のURLからもペアリングのサポートページをご確認いただけます。

<https://knowledge.support.sony.jp/electronics/support/articles/00263422>

- 1 カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth] → [Bluetooth機能] → [入] を選ぶ。
- 2 カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth] → [Bluetoothリモコン] → [入] を選ぶ。
 - カメラとペアリングしているBluetooth機器が1台もない場合は、ここで手順3のペアリング画面が表示されません。
- 3 カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth] → [ペアリング] を選び、ペアリング画面を表示させる。
- 4 Bluetoothリモコン側でペアリング操作を行う。
 - 詳しい操作方法は、Bluetoothリモコンの取扱説明書をご覧ください。
- 5 カメラに表示されたBluetooth接続の確認画面で [OK] を選ぶ。
 - ペアリングが完了し、Bluetoothリモコンでカメラを操作できます。2回目以降は [Bluetoothリモコン] を [入] にするだけでカメラとBluetoothリモコンを接続できるようになります。

メニュー項目の詳細



入：

Bluetoothリモコンの操作を受け付ける。

切：

Bluetoothリモコンの操作を受け付けない。

Bluetoothリモコン接続時のアイコンについて

-  (Bluetooth接続中) : BluetoothリモコンとBluetooth接続されています。
-  (Bluetooth未接続) : BluetoothリモコンとBluetooth接続されていません。

ヒント

- Bluetoothリモコンは、Bluetoothリモコンからカメラを操作している間のみBluetooth接続されます。

ご注意

- カメラを初期化するとペアリング情報も削除されます。Bluetoothリモコンを使用する場合は、もう一度ペアリングしてください。

- Bluetooth通信が不安定な場合は、カメラとBluetoothリモコンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- [Bluetoothリモコン] が [入] の場合は、以下の機能を使用できません。
 - パワーセーブ機能
- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - カメラが他の機器とBluetooth接続中でない、または接続中の機器が1台のみであることを確認する。（本機と同時に接続できる機器は2台までです。）
 - カメラの [機内モード] が [切] になっていることを確認する。
 - 上記の設定を確認しても解決しない場合は、カメラの [ペアリング済み機器管理] で、接続したい機器のペアリング情報を一度削除する。

関連項目


- [Bluetooth設定](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

機内モード


飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fiなど無線に関する機能の設定を一時的にすべて無効にできます。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [ネットワークオプション] → [機内モード] → 希望の設定を選ぶ。
設定を [入] にすると、モニターに飛行機マークが表示されます。

デジタルカメラ
ZV-1F

機器名称変更

Wi-Fi接続時、Bluetooth接続時の機器名称を変更します。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [ネットワークオプション] → [機器名称変更] を選ぶ。
- 2 入力ボックスを選択して、機器名称を入力 → [OK] を選ぶ。

関連項目

- [パソコンからカメラを操作する](#)
- [キーボード画面を使う](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

ネットワーク設定リセット

ネットワークに関する設定をお買い上げ時の設定に戻します。


【機内モード】が【入】のときに本機能を実行しても、【機内モード】が【切】にリセットされることはありません。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [ネットワークオプション] → [ネットワーク設定リセット] → [実行] を選ぶ。

デジタルカメラ
ZV-1F

モニター明るさ

モニターの明るさを調整します。

① MENU →  (セットアップ) → [モニター] → [モニター明るさ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細




マニュアル：

-2 ~ +2の範囲で明るさを選ぶ。

屋外晴天：

屋外の使用に適した明るさに設定する。

ご注意

- 室内で [屋外晴天] にすると明るすぎるため、室内での使用時は [マニュアル] に設定してください。
- 下記の場合は、モニターの明るさは調整できません。最大で [±0] の明るさとなります。
 - [ 記録方式] が [XAVC S 4K] のとき
 - [ 記録方式] が [XAVC S HD] で、[ 動画設定] の [記録フレームレート] が [120p] のとき
- Wi-Fi機能を使用して動画撮影を行う際は、モニターの明るさは [-2] に固定されます。
- 温度上昇警告時は、モニターの明るさは [-2] に固定されます。

デジタルカメラ
ZV-1F

モニター自動OFF（静止画）

静止画撮影時、自動でモニターを消灯するかどうかを設定します。

① MENU → （セットアップ） → [電源オプション] → [ モニター自動OFF] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

しない：

モニターを消灯しない。

2秒/5秒/10秒：

何も操作しない状態から指定した秒数後にモニターを消灯する。
シャッターボタン半押しなどの操作をすれば、撮影を再開できます。

ご注意

- 長時間使わないときは、電源を「OFF」にしてください。

デジタルカメラ
ZV-1F

パワーセーブ開始時間

自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます。

① MENU →  (セットアップ) → [電源オプション] → [パワーセーブ開始時間] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

30分/5分/2分/1分

ご注意

- 以下のときなどはパワーセーブ機能は働きません。
 - USB給電時
 - スライドショー中
 - 動画撮影時
 - パソコンやテレビと接続しているとき
 - [Bluetoothリモコン] が [入] のとき
 - USBストリーミング中

デジタルカメラ
ZV-1F

モニター収納時の機能

モニターを内側にして閉じたときに、カメラの電源を切るかどうかを設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [電源オプション] → [モニター収納時の機能] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

電源OFFする：

モニターを内側にして閉じたときに、電源を切る。

電源OFFしない：

モニターを内側にして閉じたときに、電源を切らない。

ヒント

- インターバル撮影や動画撮影などでモニターを内側に閉じた状態で撮影したい場合は、[電源OFFしない] に設定してください

デジタルカメラ
ZV-1F

自動電源OFF温度

撮影時に本機の電源が自動で切れる温度を設定します。[高] に設定すると、本機の温度が高くなっても撮影することができます。

① MENU →  (セットアップ) → [電源オプション] → [自動電源OFF温度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準：

本機の電源が切れる温度を標準に設定する。

高：

本機の電源が切れる温度を標準より高めに設定する。

[自動電源OFF温度] が [高] のときのご注意

- 手持ちで撮影せずに三脚などをご使用ください。
- 手持ちで長時間ご使用になると低温やけどの原因となる可能性があります。

[自動電源OFF温度] が [高] のときの連続動画撮影時間

しばらく電源を切った状態から出荷時設定で撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

環境温度：25℃

連続動画撮影時間（HD）：約60分

連続動画撮影時間（4K）：約60分

環境温度：40℃

連続動画撮影時間（HD）：約60分

連続動画撮影時間（4K）：約60分

HD：XAVC S HD（60p 50M、Wi-Fi非接続時、モニター展開時）

4K：XAVC S 4K（24p 60M、Wi-Fi非接続時、モニター展開時）

ご注意

- [自動電源OFF温度] を [高] に設定しても、環境やカメラの温度によっては撮影可能時間が変わらないことがあります。

関連項目

- [動画の記録可能時間](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

USB接続モード

接続するパソコンやUSB機器に合わせてUSB接続の方法を設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [USB] → [USB接続モード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

接続時に選択：

USBケーブルを接続するたびに、[ライブストリーミング (USBストリーミング)]、[画像転送 (MSC)]、[画像転送 (MTP)]、[リモート撮影 (PCリモート)] から使用するモードを選択する。

USBストリーミング：

パソコンやスマートフォンを接続してUSBストリーミングを行う。

マスマストレージ (MSC)：

パソコンなどと接続するときに使うマスマストレージモードで接続する。パソコンやその他のUSB機器と接続すると、本機がリムーバブルディスクとして認識され、本機内のファイルを転送できる。

MTP：

本機とパソコン、その他USB機器をMTP接続する。パソコンやその他のUSB機器と接続すると、本機がメディアデバイスとして認識され、本機内の静止画/動画ファイルを転送できる。

PCリモート：

Imaging Edge Desktop (Remote) を使って、パソコンから撮影したり、撮影した画像をパソコン内に保存したりする。

関連項目

- [画像と音声をライブ配信する \(USBストリーミング\)](#)
- [パソコンに画像を取り込む](#)
- [パソコンからカメラを操作する](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

USB LUN設定

USB接続の機能を制限して互換性を高めます。

1 MENU →  (セットアップ) → [USB] → [USB LUN設定] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

マルチ:

通常は [マルチ] のまま使う。

シングル:

どうしても接続できない場合のみ、 [シングル] にする。

デジタルカメラ
ZV-1F

USB給電

本機とパソコン、またはUSB機器をUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [USB] → [USB給電] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

USBケーブルでパソコンなどと接続したときに給電する。

切：

USBケーブルでパソコンなどと接続したときに給電しない。

USB給電時にできること

USB給電時に行える操作と行えない操作は、以下の通りです。

行える操作は○で、行えない操作は×で表しています。

操作	行える/行えない
撮影	○
再生	○
Wi-Fi/Bluetooth接続	○
バッテリーの充電	×
バッテリーを入れずにカメラの電源を入れる	×



ご注意

- USB給電を行うには、バッテリーをカメラに挿入してください。
- [USB給電] の設定は、500 mAの電源供給が可能なUSB機器との接続時のみ有効です。

デジタルカメラ
ZV-1F

HDMI解像度

カメラをテレビやモニターなどとHDMIケーブル（別売）で接続する場合に、静止画撮影時または再生時にHDMI端子から出力する解像度を選びます。

① MENU →  (セットアップ) → [外部出力] → [ HDMI解像度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート:

接続するテレビや出力機器の解像度をカメラが自動認識し、出力する解像度を決定する。

2160p/1080p:

2160p/1080pで出力する。

1080p:

HD画質（1080p）で出力する。

1080i:

HD画質（1080i）で出力する。



ご注意

- [オート] で正しく画面が表示されない場合は、接続するテレビに合わせて、[1080i]、[1080p] または [2160p/1080p] を選んでください。

デジタルカメラ
ZV-1F

HDMI出力設定 (動画)

動画撮影時にHDMI接続した外部録画再生機器などへ出力する映像と音声について設定します。
4K動画の出力には、プレミアムハイスピードHDMIケーブル (別売) をご使用ください。

① MENU →  (セットアップ) → [外部出力] → [ HDMI出力設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

HDMI出力時のメディア記録：

HDMI出力時に、カメラのメモリーカードに動画を記録をするかどうかを設定する。

[入]：カメラのメモリーカードに動画が記録され、HDMI接続した機器にも同時に出力される。

[切(HDMIのみ)]：カメラのメモリーカードには動画は記録されず、映像はHDMI接続した機器にのみ出力される。





出力解像度：

[HDMI出力時のメディア記録] が [入] のときに、HDMI接続した他機に出力する映像の解像度を設定する。([オート] / [2160p/1080p] / [1080p] / [1080i])

4K出力設定(HDMIのみ)：

[HDMI出力時のメディア記録] が [切(HDMIのみ)] のときに、HDMI接続した他機に出力する4K動画のフレームレートと色深度を設定する。([30p 8bit] / [24p 8bit])

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影時は4K対応機器に接続しても4K映像は出力されません。
- [HDMI出力時のメディア記録] が [切(HDMIのみ)] のときは、[HDMI情報表示] は一時的に [なし] になります。
- [HDMI出力時のメディア記録] が [切(HDMIのみ)] のときは、外部録画再生機器に記録中はカメラのカウンター (動画の撮影実時間) は進みません。
- [ HDMI出力設定] の [HDMI出力時のメディア記録] を [入] に設定して4K動画を撮影するとき、プロキシー動画を同時に記録すると、HDMI接続した機器に映像を出力することができません。映像をHDMI出力するには [ プロキシー記録] を [切] に設定してください。(このとき [記録フレームレート] を [24p] 以外にすると、カメラのモニターには画像が表示されません。)
- [ 記録方式] が [XAVC S 4K] でHDMI接続しているときは、下記の機能に一部制約があります。
 -  AF時の被写体認識
 - マルチ測光時の顔優先

デジタルカメラ
ZV-1F

HDMI情報表示

カメラをテレビやモニターなどとHDMIケーブル（別売）で接続したとき、画像情報をテレビなどに表示するかどうかを切り換えます。

① MENU → （セットアップ） → [外部出力] → [HDMI情報表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

あり：

テレビに画像情報が表示される。

テレビにはカメラ映像および画像情報が表示されるが、本体のモニターには何も表示されない。

なし：

テレビに画像情報が表示されない。

テレビにはカメラ映像のみ表示され、本体のモニターにはカメラ映像および画像情報が表示される。

ご注意

- [▶■ 記録方式] が [XAVC S 4K] でHDMI接続しているときは、[なし] になります。

デジタルカメラ
ZV-1F

HDMI機器制御

HDMIケーブル（別売）を使ってテレビをつないだ場合に、テレビのリモコンをテレビに向けて、本機を操作できます。

① MENU → （セットアップ） → [外部出力] → [HDMI機器制御] → 希望の設定を選ぶ。

② テレビと本機を接続する。

テレビの入力が自動で切り替わり、本機の画像が表示される。

- 操作方法はお使いのテレビによって異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

メニュー項目の詳細

入：
テレビのリモコンで操作する。

切：
テレビのリモコンで操作しない。

ご注意

- HDMIケーブルで本機とテレビを接続する場合、操作できる項目が制限されます。
- テレビのリモコン操作で本機が不要な動きをする場合は、[HDMI機器制御] を [切] にしてください。

デジタルカメラ
ZV-1F

エリア/日時設定

カメラを使用するエリア、サマータイムの有無、日付表示形式、日時を設定します。

エリア/日時設定画面は、初回設定でスマートフォン登録を完了しなかったときや、内蔵バックアップ電池が消耗したときに自動で開きます。2回目以降に設定するとき、このメニューをお使いください。

① MENU →  (セットアップ) → [エリア/日時] → [エリア/日時設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

エリア設定：


カメラを使用するエリアを設定する。

サマータイム：

サマータイムの [入] / [切] を選ぶ。日本国内で使用するとき、[切] を選ぶ。

日時：

日時を設定する。

-  (削除) ボタンを押して、時刻の表示形式 (24時間表記または12時間表記) を切り替えられます。

表示形式：

日付表示順を選ぶ。

ヒント

- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時刻より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機でサマータイムを [入] にすると、時計が1時間進みます。
- 内蔵バックアップ電池を充電するには、カメラに充電されたバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。
- バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

デジタルカメラ
ZV-1F

電子音(撮影)

ピントが合ったときやセルフタイマー使用時の電子音を鳴らすかどうかを設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [サウンドオプション] → [電子音(撮影)] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入:全て:

シャッター音や、シャッターボタンを半押ししてピントが合ったときなどの操作音が鳴る。


入:シャッター音のみ:

シャッター音のみ鳴る。シャッターボタンを半押ししてピントがあったときなどの操作音は鳴らない。

切:

操作音は鳴らない。

ヒント

-  [サイレントモード] を [入] にすると、[電子音(撮影)] は [切] に固定されます。

関連項目

- [電子音\(起動/終了\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

電子音(起動/終了)

カメラの起動時や終了時に、電子音を鳴らすかどうかを設定します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [サウンドオプション] → [電子音(起動/終了)] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
起動音/終了音を鳴らす。

切：
起動音/終了音を鳴らさない。

ご注意

- [ サイレントモード] を [入] にすると、[電子音(起動/終了)] は [切] に固定されます。

関連項目

- [サイレントモード \(静止画/動画\)](#)
- [電子音\(撮影\)](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

録画ランプ

録画中に録画ランプを点灯させるかどうかを設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [セットアップオプション] → [録画ランプ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

録画中に録画ランプが点灯する。

切：

録画中に録画ランプが点灯しない。


ヒント

- 録画ランプの光がガラスなどに反射して映り込んでしまう場合は、[切] に設定してください。

デジタルカメラ
ZV-1F

バージョン


お手持ちのカメラのバージョンを表示します。本機のファームウェアのアップデートがリリースされたときなどに確認します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [セットアップオプション] → [バージョン] を選ぶ。

ヒント

- ダウンロードしたファームウェアデータをメモリーカードに保存して、メモリーカードを使ってカメラのファームウェアをアップデートすることもできます。

ご注意

- バッテリー残量が  (残量が3個) 以上でないと、アップデートは行えません。十分に充電したバッテリーをお使いください。

デジタルカメラ
ZV-1F

プライバシー通知

プライバシー通知画面を表示します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [セットアップオプション] → [プライバシー通知] を選ぶ。

デジタルカメラ
ZV-1F

認証マーク表示

本機が対応している認証表示の一部を確認できます。

1 MENU →  (セットアップ) → [セットアップオプション] → [認証マーク表示] を選ぶ。

デジタルカメラ
ZV-1F

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。[設定リセット] を実行しても、画像は削除されません。

① MENU →  (セットアップ) → [設定初期化] → [設定リセット] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細


撮影設定リセット：

主な撮影モードの設定のみを初期値に戻す。静止画撮影と動画撮影の両方の設定値が初期化される。

初期化：

カメラのすべての設定を初期化する。

ご注意

- 設定リセット中はバッテリーを抜かないでください。
- [ ピクチャープロファイル] で設定した値は、[撮影設定リセット]、[初期化] のいずれを行った場合もリセットされません。

デジタルカメラ
ZV-1F

スマートフォンでできること (Creators' App)

スマートフォン用アプリケーションCreators' Appを使って、スマートフォンからカメラを操作して画像を撮影したり、カメラで撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。

Creators' Appは、お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

Creators' Appについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sony.net/ca/>

ヒント

- カメラに表示されるQRコードをスマートフォンで読むことにより、Creators' Appをインストールすることもできます。

ご注意

- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

対応するスマートフォン

最新の情報はサポートページでご確認ください。

<https://www.sony.net/ca/help/mobile/>

- お使いのスマートフォンが対応しているBluetooth規格のバージョンは、スマートフォンの製品サイトでご確認ください。

デジタルカメラ
ZV-1F


カメラとスマートフォンをペアリングする（スマートフォン接続）

スマートフォン用アプリケーションCreators' Appを使用するために、カメラとスマートフォンを接続（ペアリング）します。

この機能は本体ソフトウェアVer.1.10以降で使用できます。

初めて電源を入れたときに、スマートフォンとの接続を行っていない場合は、下記の手順に従ってください。
ここではスマートフォンにCreators' Appを初めてインストールした場合の手順を説明します。

：スマートフォンでの操作

：カメラでの操作

① ：カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [ 接続/PCリモート] → [スマートフォン接続] を選ぶ。

② ：画面の指示に従って、[Bluetooth機能] を [入] にする。

アプリからの接続待ち画面が表示される。

- すでに [Bluetooth機能] が [入] に設定されている場合は、すぐにアプリからの接続待ち画面が表示されません。


③ ：スマートフォンでCreators' Appを起動する。

④ ：画面の指示に従って、カメラとスマートフォンをペアリングする。

- 接続が完了すると、スマートフォンに本機用の機能選択画面が表示されます。


⑤ ：スマートフォンの画面でお好みの機能を選ぶ。


別のカメラでCreators' Appを使用したことがある場合は

手順2の後で Creators' Appを起動し、[カメラ] 画面を開いて （カメラの追加） ボタンを選び、画面の指示に従って操作を続けてください。

スマートフォン接続時のアイコンについて

（Bluetooth接続中）：スマートフォンとBluetooth接続されています。

（Bluetooth未接続）：スマートフォンとBluetooth接続されていません。


（Wi-Fi接続中）：スマートフォンとWi-Fi接続されています。

（Wi-Fi未接続）：スマートフォンとWi-Fi接続されていません。

カメラとスマートフォンをペアリングしないで接続するには

ペアリングを行わずに接続する場合は毎回Wi-Fi接続の操作を行う必要があります。

1. カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [ 接続/PCリモート] → [スマートフォン接続] を選ぶ。
2. カメラの （削除） ボタンを押して、SSIDとパスワードの画面に切り換える。
3. スマートフォンのWi-Fi設定画面を開く。

4. スマートフォンのWi-Fi設定画面で、カメラに表示されているSSIDを選び、パスワードを入力する。
5. スマートフォンでCreators' Appを起動し、[カメラ]画面を開く。
6. [カメラ]画面右上から  (設定) ボタンを選び、[Wi-Fiのみを使って接続]を選ぶ。
7. スマートフォンのCreators' App画面で本機の機種名 (ZV-1F) を選ぶ。
スマートフォンがカメラに接続される。

ご注意

- [機内モード] が [入] のときは [スマートフォン接続] を実行できません。
- カメラと同時にBluetooth接続できる機器は2台までです。
- Bluetooth通信とWi-Fi (2.4 GHz) 通信は同じ周波数帯を使用するため、電波干渉が発生する場合があります。Wi-Fi接続が不安定な場合、スマートフォンのBluetooth機能を切ることで改善される場合があります。

関連項目

- [スマートフォンでできること \(Creators' App\)](#)
- [スマートフォンをリモコンとして使う](#)
- [カメラで選んで転送 \(スマートフォン転送\)](#)
- [電源OFF中の接続 \(スマートフォン\)](#)
- [スマートフォンから位置情報を取得する](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

スマートフォンをリモコンとして使う

Creators' Appを使うと、カメラの撮影範囲をスマートフォンの画面で確認しながら画像を撮影できます。このページの最後に記載している「関連項目」を参照して、カメラとスマートフォンを接続してください。スマートフォンから操作できる機能の詳細は、下記のサポートページをご覧ください。
<https://www.sony.net/ca/help/opr/>



関連項目

- [カメラとスマートフォンをペアリングする（スマートフォン接続）](#)
- [リモート撮影設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

リモート撮影設定

スマートフォンやパソコンを使ったリモート撮影時に保存される画像について設定します。

① MENU →  (ネットワーク) → [ 接続/PCリモート] → [リモート撮影設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

静止画の保存先：

リモート撮影中にカメラ本体側にも静止画を保存するかどうか設定する。（[接続先のみ] / [接続先+カメラ本体] / [カメラ本体のみ]）

保存画像のサイズ：

[静止画の保存先] が [接続先+カメラ本体] のときに、スマートフォンやパソコンにオリジナルサイズのJPEG画像を転送するか、2M相当のJPEG画像を転送するかを設定する。（[オリジナル] / [2M]）

ご注意

- 記録できないメモリーカードをカメラに挿入しているときは、[カメラ本体のみ] または [接続先+カメラ本体] を選んでも静止画を撮影できません。
- [静止画の保存先] で [カメラ本体のみ] または [接続先+カメラ本体] 選択時、カメラにメモリーカードが挿入されていない場合は、[カードなしリリース] が [許可] になっていてもシャッターは切れません。
- カメラ側で静止画を再生している間は、スマートフォンまたはパソコンによるリモート撮影はできません。

関連項目

- [スマートフォンをリモコンとして使う](#)













デジタルカメラ
ZV-1F

カメラで選んで転送（スマートフォン転送）

カメラで画像を選択してスマートフォンに転送できます。

あらかじめ、「[カメラとスマートフォンをペアリングする（スマートフォン接続）](#)」を参照してカメラとスマートフォンをペアリングしてください。

ここではカメラで表示中の画像を転送する手順を説明します。

- 1 MENU → （ネットワーク） → [ 接続/PCリモート] → [ カメラで選んで転送] → [転送画像サイズ]、
[ Px 転送対象] で希望の設定を選ぶ。
- 2 再生画面で転送したい画像を表示させる。
- 3 MENU → （ネットワーク） → [ 接続/PCリモート] → [ カメラで選んで転送] → [ 転送] → [この画像] を選ぶ。
 - （スマートフォン転送）ボタンを押しても、 [ 転送] の画面を表示できます。
- 4 スマートフォンでCreators' Appを起動する。
転送開始のメッセージが表示される。
- 5 スマートフォンの画面で [OK] を選ぶ。
画像がスマートフォンに転送される。
 - 転送が完了すると、カメラに （転送完了）アイコンが表示されます。
 - [ 転送] で [この画像] 以外を選ぶと、複数の画像をまとめて転送することもできます。

メニュー項目の詳細

転送：

転送対象を選択して、スマートフォンに画像を転送する。（ [この画像] / [このグループの全画像] / [この日付の全画像] / [画像を絞り込んで転送] / [画像選択] ）

- カメラで選択しているビューモードによって、表示される選択肢が変わることがあります。
- [画像選択] の場合は、コントロールホイールの中央を押して画像を選択後、MENU → [実行] を選ぶ。

転送画像サイズ：

スマートフォンにオリジナルサイズのJPEG画像を転送するか、2M相当のJPEG画像を転送するかを設定する。（ [オリジナル] / [2M] ）

転送対象：

動画を転送するときに、低ビットレートのプロキシ動画と高ビットレートのオリジナル動画のどちらを転送するかを設定する。（ [プロキシのみ] / [オリジナルのみ] / [プロキシ+オリジナル] ）

[プロキシのみ] を選択すると、オリジナル動画を転送するよりも早く転送することができます。

Shot Mark付き動画：

ショットマークを設定した位置を中心に、指定した秒数の動画をカットして転送する。（ [60秒にカット] / [30秒にカット] / [15秒にカット] / [カットしない] ）

転送画像のフィルタリング（画像を絞り込んで転送）

以下の条件により、転送する画像をフィルタリングすることができます。

- 対象範囲： [この日付] / [このメディア]
- 静止画/動画： [全て] / [静止画のみ] / [動画のみ]
- 対象画像(レーティング)： [★] ~ [☆☆]、 [★OFF]
- 対象動画(**S**)： [全て] / [Shot Mark動画のみ]
- 対象画像(プロテクト)： [全て] / [プロテクト画像のみ]
- 転送状態*： [全て] / [未転送画像のみ]



* スマートフォンで選択して転送した画像は、未転送画像として扱われます。

* [Shot Mark付き動画] を [カットしない] 以外に設定している場合、一度ショットマークを設定してカットされた動画を転送した後に異なる位置にショットマークを設定すると、ショットマークを設定した箇所すべての位置を対象にしてカットされた動画が未転送画像として再度転送されます。


動画にショットマークを付けるには

動画にショットマークを付けることで、動画の選択や転送時、編集時の目印になります。ショットマークを付けるには、動画の撮影中または再生中に画面上の **S1**（ショットマーク1追加）をタッチします。あらかじめ、[タッチ操作] を [入] に設定してください。

ヒント

- 2個目のショットマーク（ショットマーク2）を付けるにはカスタムキーを使います。またショットマーク1もカスタムキーを使って付けることができます。お好みのキーに以下の機能を割り当てて、撮影中または再生中にキーを押してください。
 - 撮影中にショットマークを付ける場合： [ カスタムキー設定] で [Shot Mark1追加] / [Shot Mark2追加] を割り当てる
 - 再生中にショットマークを付ける場合： [ カスタムキー設定] で [Shot Mark1追加/削除] / [Shot Mark2追加/削除] を割り当てる
- ショットマークが付いている動画では、一時停止中にタッチ操作アイコンをタッチすることで、ショットマークを付けた位置にジャンプすることができます。

ご注意

- スマートフォンで画像を選択して転送した場合、（転送完了）アイコンは表示されません。
- スマートフォンによっては、動画を滑らかに再生できなかつたり音声が出ないなど、正しく再生できない場合があります。
- 静止画/動画/スローモーション動画/クイックモーション動画の形式によっては、スマートフォンで再生できないことがあります。
- [機内モード] が [入] のときは接続できません。[機内モード] を [切] にしてください。




関連項目

- [スマートフォンでできること（Creators' App）](#)
- [カメラとスマートフォンをペアリングする（スマートフォン接続）](#)
- [機内モード](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

転送状態リセット（スマートフォン転送）

スマートフォンに転送した画像の転送状態をリセットします。一度転送した画像をもう一度転送したい場合などに使います。リセットしても転送された画像は削除されません。

- 1 MENU → （ネットワーク） → [ 接続/PCリモート] → [ 転送状態リセット] を選ぶ。
 - 確認画面で [確認] を押すと、スマートフォンに転送済みの画像がすべて未転送画像になります。




関連項目

- [カメラで選んで転送（スマートフォン転送）](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

電源OFF中の接続（スマートフォン）

カメラの電源OFF中に、スマートフォンからのBluetooth接続を受け付けるかどうかを設定します。[入] にしておくと、メモリーカード内の画像を閲覧したり、カメラから画像を転送したりできます。

① MENU → （ネットワーク） → [ 接続/PCリモート] → [ 電源OFF中の接続] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：


カメラの電源OFF中に、スマートフォンからのBluetooth接続を受け付ける。
電源OFF中にも少しずつバッテリーを消耗します。機能を使わない時は[切] にしてください。

切：


カメラの電源OFF中に、スマートフォンからのBluetooth接続を受け付けない。

画像を閲覧/転送するには

あらかじめ、「[カメラとスマートフォンをペアリングする（スマートフォン接続）](#)」を参照してカメラとスマートフォンをペアリングしてください。

1. [ 電源OFF中の接続] を[入] にする。
2. カメラの電源をOFFにする。
3. スマートフォンでCreators' Appを起動する。
4. スマートフォンで[見る・取り込む] を選ぶ。
 - カメラのメモリーカードに保存されている画像を閲覧/転送できる状態になります。

ご注意

- 一定時間スマートフォンを操作しないと、Bluetooth接続は解除されます。再度スマートフォンで[見る・取り込む] を選んでください。
- カメラの電源を入れるとカメラは撮影画面になり、スマートフォンとの接続が終了します。
- カメラとスマートフォンのペアリングをキャンセルしたりペアリングが失敗した場合は、 [ 電源OFF中の接続] は[切] になります。
- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - カメラが他の機器とBluetooth接続中でない、または接続中の機器が1台のみであることを確認する。（本機と同時に接続できる機器は2台までです。）
 - カメラの[機内モード] が[切] になっていることを確認する。
 - 上記の設定を確認しても解決しない場合は、カメラの[ペアリング済み機器管理] で、接続したい機器のペアリング情報を一度削除する。

関連項目


- [スマートフォンでできること（Creators' App）](#)
- [カメラとスマートフォンをペアリングする（スマートフォン接続）](#)
- [カメラで選んで転送（スマートフォン転送）](#)
- [Bluetooth設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F



スマートフォンから位置情報を取得する

Creators' Appを使って、Bluetooth通信で接続しているスマートフォンから位置情報を取得して、画像撮影時に位置情報を記録します。

あらかじめ、「[カメラとスマートフォンをペアリングする \(スマートフォン接続\)](#)」を参照してカメラとスマートフォンをペアリングしてください。

- 1 スマートフォンでCreators' Appを起動して、**【カメラ】**画面に移動し、**【セットアップ】** → **【位置情報連動】**をタップする。
- 2 Creators' Appの**【位置情報連動】**の設定画面で**【位置情報連動】**を有効にする。
 - カメラに  (位置情報取得アイコン) が表示され、スマートフォンがGPSなどで取得した位置情報が撮影時に記録されます。
 - **【自動時刻補正】** や **【自動エリア補正】** を有効にすると、スマートフォンと連動した情報を使って、カメラの日時設定やエリア設定が自動で補正されます。

位置情報取得時のアイコンについて

-  (位置情報取得) : 位置情報を取得できています。
-  (位置情報取得無効) : 位置情報を取得できません。

ヒント

- スマートフォンの画面がOFFの場合でも、Creators' Appが起動していれば位置情報連動します。ただし、カメラの電源がしばらく切れていた場合、電源を入れても位置情報がすぐには連動しないことがあります。このようなときは、スマートフォンでCreators' Appの画面を表示させるとすぐに位置情報が連動します。
- スマートフォンの再起動後などCreators' Appが動作していない場合は、Creators' Appを起動すると位置情報連動が再開します。
- 位置情報連動機能が正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - スマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
 - カメラが他の機器とBluetooth接続中でない、または接続中の機器が1台のみであることを確認する。(本機と同時に接続できる機器は2台までです。)
 - カメラの**【機内モード】**が**【切】**になっていることを確認する。
 - Creators' Appに登録されているカメラのペアリング情報を削除する。
 - スマートフォンのBluetooth設定に登録されているカメラのペアリング情報を削除する。
 - カメラの**【ペアリング済み機器管理】**で登録されているスマートフォンのペアリング情報を削除する。

ご注意

- カメラを初期化するとペアリング情報も削除されます。再度ペアリングするには、スマートフォンのBluetooth設定に登録されているカメラのペアリング情報とCreators' Appに登録されているカメラのペアリング情報を削除してから、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth接続が切断されたときなど位置情報が取得できない場合、位置情報が記録されないことがあります。
- カメラはBluetooth機器を15台までペアリングできますが、同時に位置情報連動できるスマートフォンは1台のみです。(ほかのスマートフォンと位置情報連動をする場合は、連動中のスマートフォンのCreators' Appで**【セットアップ】** → **【位置情報連動】**をオフにしてください。)
- Bluetooth通信が不安定な場合は、カメラとスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。

- 使用する環境によっては、Bluetooth機能とWi-Fi機能の通信距離が異なることがあります。

関連項目

- [スマートフォンでできること \(Creators' App\)](#)
- [カメラとスマートフォンをペアリングする \(スマートフォン接続\)](#)
- [Bluetooth設定](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F


パソコンの推奨環境

ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認ください。

<https://www.sony.net/pcenv/>

デジタルカメラ
ZV-1F

カメラとパソコンを接続する

- 1 十分に充電したバッテリーをカメラに入れる。
- 2 カメラとパソコンの電源を入れる。
- 3  (セットアップ) → [USB] → [USB接続モード] を [マスストレージ (MSC)] に設定する。
- 4 カメラのUSB Type-C端子とパソコンをUSBケーブルで接続する。
 - 初回接続時のみ、パソコンがカメラを認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。
 - [USB給電] が [入] になっているとき、パソコンとカメラをUSBケーブルでつなぐとパソコンから給電が始まります。(初期設定は [入] です。)
 - USBケーブルは、付属のケーブルまたはUSB規格に準拠したケーブルをお使いください。

ご注意

- カメラをUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。カメラが正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンからカメラを取りはずしてから行ってください。

関連項目

- [USB接続モード](#)
- [USB LUN設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

パソコンからカメラを取りはずす

パソコンからカメラを取りはずすときは、あらかじめパソコン側で以下の手順を行ってください。

1 タスクトレイの  (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す) をクリックする。

2 表示されたメッセージをクリックする。

上記の手順が完了したら、以下の操作が可能です。

- USBケーブルを抜く。
- メモリーカードを取り出す。
- カメラの電源を切る。

ご注意

- Mac使用時は、あらかじめメモリーカード、またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。
- お使いのパソコンによっては、切断アイコンが出ない場合があります。その場合は前記の手順を行わずに切断できます。
- アクセスランプが点灯しているときは、USBケーブルを抜かないでください。データが壊れることがあります。

デジタルカメラ
ZV-1F

パソコン用ソフトウェアの紹介 (Imaging Edge Desktop/Catalyst)

Imaging Edge Desktop

Imaging Edge Desktopは、パソコンからカメラを操作するリモート撮影や、カメラで撮影した画像の調整などの機能を含む、ソフトウェアシリーズです。

詳しい使いかたは、Imaging Edge Desktopのサポートページをご覧ください。

<https://www.sony.net/disoft/help/>

Imaging Edge Desktopをパソコンにインストールするには

以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

<https://www.sony.net/disoft/d/>

Catalyst Browse (無償) /Catalyst Prepare (有償)

クリッププレビューのためのソフトウェアです。Catalyst Browseを使って撮影したXAVC Sクリップのプレビューやメタデータの確認や編集、メタデータを使った手振れ補正*、カラー補正、ローカルハードディスクへのコピー、さまざまな形式へのトランスコードなどが可能です。

Catalyst Prepareは、Catalyst Browseの機能に加えて、ビンによるクリップ管理やストーリーボードを使った簡単なタイムライン編集などを行うことができます。

* 手振れ補正機能を利用するための条件は、サポートページをご確認ください。

Catalyst Browse/Catalyst Prepareをパソコンにインストールするには

以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

<https://www.sony.net/disoft/>

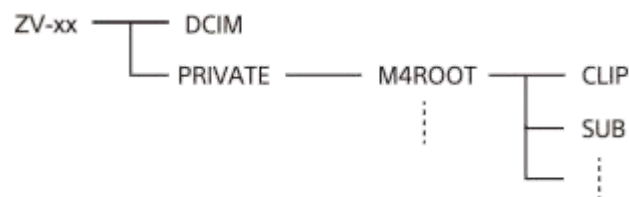
デジタルカメラ
ZV-1F

パソコンに画像を取り込む

USBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続したり、カメラのメモリーカードをパソコンに入れることで、撮影した画像をパソコンに取り込むことができます。

パソコンの画面で取り込みたい画像の入ったフォルダーを開いて、画像ファイルをパソコン内にコピーしてください。

例：マスタトレージでUSB接続している場合のフォルダー構造



DCIM: 静止画

CLIP: 動画

SUB : プロキシ動画

ご注意

- カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンからカメラの動画ファイルやフォルダーを操作した場合、動画ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。パソコンからカメラのメモリーカード上の動画を削除しないでください。このような操作をした結果に対し、当社は責任を負いかねます。
- カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンからカメラの画像の削除などを行うと、管理ファイルに不整合が発生する場合があります。管理ファイルの修復を行ってください。
- MTP接続している場合、フォルダー構造の見え方は上記とは異なります。

デジタルカメラ
ZV-1F

パソコンからカメラを操作する

USB接続で、パソコンからカメラを操作したり、撮影した画像をパソコンに保存したりできます。カメラとスマートフォンが接続されていると、パソコンからカメラを操作することができません。あらかじめ、カメラとスマートフォンが接続されていないことを確認してください。

1 カメラとパソコンを接続する。

- カメラのUSB Type-C端子とパソコンをUSBケーブルで接続してください。

2 パソコンでImaging Edge Desktop (Remote) を起動する。

Imaging Edge Desktop (Remote) を使ってカメラを操作できるようになる。

ヒント

- [接続/PCリモート] の [リモート撮影設定] で、PCリモート撮影での静止画の保存先や保存ファイルサイズを設定できます。

関連項目

- [パソコン用ソフトウェアの紹介 \(Imaging Edge Desktop/Catalyst\)](#)
- [リモート撮影設定](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

リモート撮影設定

スマートフォンやパソコンを使ったリモート撮影時に保存される画像について設定します。

① MENU →  (ネットワーク) → [ 接続/PCリモート] → [リモート撮影設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

静止画の保存先：

リモート撮影中にカメラ本体側にも静止画を保存するかどうか設定する。（[接続先のみ] / [接続先+カメラ本体] / [カメラ本体のみ]）

保存画像のサイズ：

[静止画の保存先] が [接続先+カメラ本体] のときに、スマートフォンやパソコンにオリジナルサイズのJPEG画像を転送するか、2M相当のJPEG画像を転送するかを設定する。（[オリジナル] / [2M]）

ご注意

- 記録できないメモリーカードをカメラに挿入しているときは、[カメラ本体のみ] または [接続先+カメラ本体] を選んでも静止画を撮影できません。
- [静止画の保存先] で [カメラ本体のみ] または [接続先+カメラ本体] 選択時、カメラにメモリーカードが挿入されていない場合は、[カードなしリリース] が [許可] になっていてもシャッターは切れません。
- カメラ側で静止画を再生している間は、スマートフォンまたはパソコンによるリモート撮影はできません。


関連項目

- [スマートフォンをリモコンとして使う](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

画像と音声をライブ配信する (USBストリーミング)



カメラにパソコンなどを接続し、カメラの映像と音声をライブ配信やWeb会議サービスに利用することができます。あらかじめ、MENU→ (セットアップ) → [USB] → [USB接続モード] を [接続時に選択] または [USBストリーミング] に設定してください。

1 カメラとパソコンなどの接続機器をUSBケーブルで接続する。

カメラの画面に [USBストリーミング:スタンバイ] が表示され、配信スタンバイ状態に切り換わる。


- [USB接続モード] を [接続時に選択] に設定している場合は、USB接続モードの選択画面で [ライブストリーミング (USBストリーミング)] を選んでください。
- 接続機器側の端子にあったケーブル、またはアダプターをお使いください。

2 お使いのライブ配信/Web会議サービスから配信を開始する。


カメラの画面に [USBストリーミング:出力中] が表示される。


- USBストリーミングを終了するには、本機の電源を切るか、USBケーブルを抜いてください。

ヒント

- [商品レビュー用設定]、[背景のボケ切替] を [▶■ カスタムキー設定] に割り当てておけば、USBストリーミング中でもこれらの機能を使えます。
- ストリーミングデータの形式は、以下のようになります。
 - 映像フォーマット: MJPEG
 - 解像度: HD720 (1280×720)
 - フレームレート: 30 fps
 - 音声フォーマット: PCM、48 kHz、16 bit、2ch
- USBストリーミング中はパソコンなどからカメラへの給電が行われます。パソコンなどの電源をなるべく消費したくないときは、[USB給電] を [切] にしてください。
- 外部マイクを使用する場合は、カメラの  (マイク) 端子に接続することで音声と口の動きのずれを最小限に抑えることができます。

ご注意

- USBストリーミングを実行中は、ストリーミング開始前の撮影モードにかかわらず常に動画撮影モードに設定されます。
- USBストリーミングを実行中は、以下のことができません。
 - 再生画面への遷移
 - ネットワーク機能 (PCリモート、スマートフォンによるリモート操作など)
- USBストリーミングを実行中は、以下の機能は無効になります。
 - ストリーミング動画の記録
 - メニュー画面の操作
 - カスタムホワイトバランスの取り込み
 -  ピクチャープロファイル

- パワーセーブ開始時間
-  モニター自動OFF
- 温度環境やWi-Fiの接続環境、ストリーミング開始前の使用状況により、カメラ内部の温度が上昇し、配信できる時間が短くなることがあります。

関連項目



- [USB接続モード](#)

5-041-856-03(1) Copyright 2022 Sony Corporation

デジタルカメラ
ZV-1F

バッテリーの使用時間と撮影可能枚数

静止画撮影時の撮影枚数

[ モニター自動OFF] が [しない] のとき	約360枚
[ モニター自動OFF] が [2秒] のとき	約540枚

動画撮影時の使用時間

実動画撮影	約60分
連続動画撮影	約90分

- 使用時間や撮影枚数は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間や枚数は減少する場合があります。
- 使用時間や撮影可能枚数は、お買い上げ時の設定で、以下の条件にて撮影した場合です。
 - 温度が25℃
 - 当社製のSDXCメモリーカード（U3）（別売）使用時
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値はCIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 動画画質：XAVC S HD 60p 50M 4:2:0 8bit
 - 実動画撮影：撮影、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。
 - 連続動画撮影：撮影開始と終了以外の操作はしない。

デジタルカメラ
ZV-1F

静止画の記録可能枚数

メモリーカードを入れて電源を入れると、画面に撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。

ご注意

- 撮影可能枚数が「0」でオレンジ色に点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください。
- 「NO CARD」がオレンジ色で点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。

1枚のメモリーカードで撮影できる枚数

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。
以下の条件で撮影した場合の数値です。

- 当社製メモリーカード使用時
- 画像サイズが [L: 20M]、[アスペクト比] が [3:2] のとき*¹

撮影状況および使用するメモリーカードによって記録可能枚数は異なります。

JPEG画質	SDカード	
	64GB	128GB
スタンダード	12 000枚	25 000枚
ファイン	8 800枚	17 000枚
エクストラファイン	5 000枚	10 000枚

*¹ [アスペクト比] を [3:2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます。

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9 999枚より多いときでも、「9999」と表示されます。

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

動画の記録可能時間

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。記録時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

▶ 記録方式	記録フレームレート	記録設定	SDカード	
			64GB	128GB
XAVC S 4K	30p	100M	1時間10分	2時間20分
		60M	1時間50分	4時間
XAVC S HD	60p	50M	2時間10分	4時間30分
		25M	3時間50分	7時間50分

[**Px** プロキシ記録] を [切] にして使用したときの数値です。

- 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。
- 連続動画撮影時間は、動画の記録方式や記録設定、使用するメモリーカード、温度環境やWi-Fi接続状況、動画撮影前の使用状況、バッテリーの充電状態により変動します。
一度の動画撮影で可能な連続撮影時間は、最大で約13時間です。（商品仕様による制限）

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit-Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な映像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

動画の連続撮影についてのご注意

- 高精細な動画撮影や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。
- しばらく電源を切った状態から出荷時設定で撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

[自動電源OFF温度]が[標準] のとき


▶ 記録方式	XAVC S HD	XAVC S 4K
環境温度： 25℃	約30分	約30分
環境温度： 40℃	約30分	約20分

[自動電源OFF温度] が [高] のとき

記録方式	XAVC S HD	XAVC S 4K
環境温度： 25℃	約60分	約60分
環境温度： 40℃	約60分	約60分

HD: XAVC S HD (60p 50M、Wi-Fi非接続時、モニター展開時)

4K: XAVC S 4K (24p 60M、Wi-Fi非接続時、モニター展開時)

- 連続動画撮影時間は温度環境や動画の記録方式・記録設定、Wi-Fiの接続環境、動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、連続動画撮影時間は短くなります。
-  (温度上昇警告) が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る

関連項目

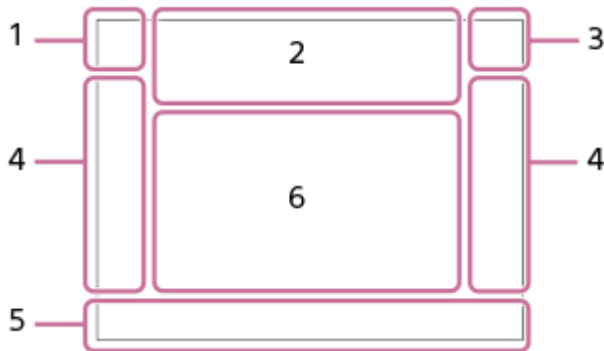
- [使用できるメモリーカード](#)
- [バッテリーの使用時間と撮影可能枚数](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

モニターに表示されるアイコン一覧

表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。
上段は、画面に表示されるアイコン、下段は、アイコンの意味を表します。

撮影画面のアイコン



1. 撮影モード/シーン認識マーク

撮影モード



シーン認識マーク (動き)

2. カメラの設定

メモリーカード

100/1h30m

撮影可能枚数/記録可能時間



データ書き込み中/書き込み残り枚数

20M / 18M / 17M / 13M / 10M / 7.5M / 6.5M / 5M / 4.2M / 3.7M

静止画の画像サイズ

J-X.FINE J-FINE J-STD

JPEG画質

XAVC S 4K XAVC S HD

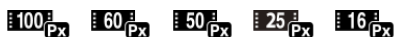
動画の記録方式

120p 60p 30p 24p

動画のフレームレート



動画の記録設定



プロキシ記録

4:2:0 8bit

動画のカラーサンプリング、ビット深度

120fps 60fps 30fps 15fps 8fps 4fps 2fps 1fps

スロー/クイックモーション撮影時のフレームレート



手ブレ補正オフ/オン、手ブレ警告



スマートズームのみ/超解像ズーム/デジタルズーム



PCリモート



ブライツモニタリング



サイレントモード



リモコン



Wi-Fi接続中/未接続



動画音声記録オフ



風音低減オン



ガンマ表示アシスト方式



フォーカス解除



トラッキング解除

スポットフォーカス

スポットフォーカス中



Bluetooth接続中/未接続



位置情報取得中/位置情報取得無効



機内モード



温度上昇警告



管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告



USB接続モード (USBストリーミング)

USBストリーミング : スタンバイ / USBストリーミング : 出力中

USBストリーミング状態

3. バッテリー



バッテリー容量



バッテリー残量警告



USB給電中

4. 撮影設定/タッチ操作アイコン



アイコンタッチ機能



クリエイティブルック



商品レビュー用設定



ドライブモード/動画セルフタイマー



露出補正



動画撮影スタート/ストップ



シャッター

ZOOM

ズーム



再生モード切替



ショットマーク1追加

5. フォーカス表示/露出設定



フォーカス

1/250

シャッタースピード

F3.5

絞り値



背景のボケ切替



露出補正/メータードマニュアル

ISO400

ISO AUTO



ISO感度



AEロック

6. ガイド表示/その他

● **フォーカス位置選択 入/切**

フォーカスエリア設定用ガイド表示

● **フォーカス解除**

フォーカス解除用ガイド表示

▼ **Av/Tv切り換え**

絞り/シャッタースピード切り換え用ガイド表示

C:32:00

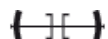
自己診断表示



スポット測光サークル



ヒストグラム



水準器

STBY REC

動画の録画スタンバイ/録画中

1:00:12

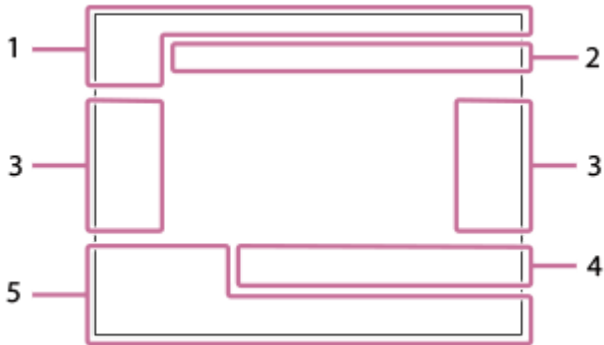
動画の撮影実時間 (時 : 分 : 秒)



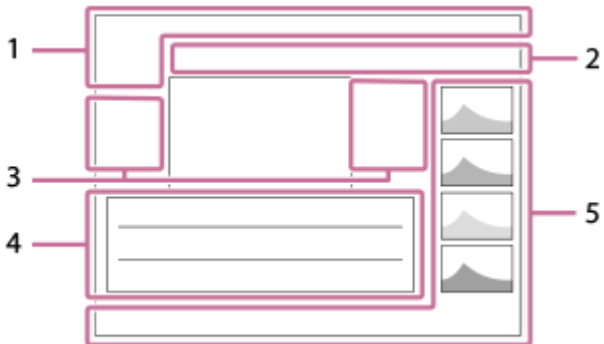
音声レベル

再生画面のアイコン

1枚再生画面



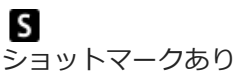
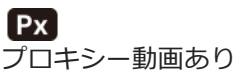
ヒストグラム画面



1. 基本情報



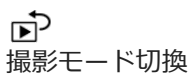
3/7
画像番号/ビューモード内画像枚数



2. カメラの設定

「撮影画面のアイコン」をご覧ください。

3. タッチ操作アイコン



ショットマーク1追加/削除



ショットマークの位置にジャンプ

4. 撮影時の設定

3:2 **4:3** **16:9** **1:1**

アスペクト比

HLG

HDR記録 (Hybrid Log-Gamma)

その他のアイコンについては、「撮影画面のアイコン」をご覧ください。

5. 画像の情報



緯度・経度情報

2022-1-1 10:37:00PM

撮影日時

 **100-0003**

フォルダー番号-ファイル番号

C0003

動画のファイル名



ヒストグラム (輝度/R/G/B)

デジタルカメラ
ZV-1F

主な仕様

本体

【形式】

カメラタイプ
デジタルカメラ

【撮像部】

撮像素子
13.2 mm×8.8 mm (1.0型)、CMOSイメージセンサー

カメラ有効画素数
約20 100 000画素

総画素数
約21 000 000画素

【レンズ】

ZEISSテッサーT*
f=7.6 mm (画角94° (35 mm判相当20 mm))、F2.0

【オートフォーカス】

検出方式
コントラスト検出方式

【モニター】

液晶モニター
7.5 cm (3.0型) TFT駆動、タッチパネル

ドット数
921 600ドット

【記録方式】

静止画記録方式
JPEG (DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.32、MPF Baseline準拠)

動画記録方式 (XAVC S方式)
XAVC Ver2.0 : MP4フォーマット準拠

映像 : MPEG-4 AVC/H.264

音声 : LPCM 2ch (48kHz 16bit) 、MPEG-4 AAC-LC 2ch*1

*1 プロキシ動画

【記録メディア】

メモリースティック、SDカード

【入/出力端子】

USB Type-C端子

USB通信 Hi-Speed USB (USB 2.0)

HDMI端子

HDMIタイプD マイクロ端子

 (マイク) 端子

Ø3.5 mmステレオミニジャック

[電源・その他]

定格

3.6 V 、1.5 W

動作温度

0 °C~40 °C

保存温度

-20 °C~55 °C

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) (約)

105.5×60.0×46.4 mm

質量

約256 g (バッテリー、SDカードを含む)

マイクロホン

ステレオ

スピーカー

モノラル

Exif Print

対応

PRINT Image Matching III

対応

[ワイヤレスLAN]

対応規格

IEEE 802.11 b/g/n

使用周波数帯

2.4 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK/WPA3-SAE

接続方式

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) /マニュアル

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

[Bluetooth通信]

Bluetooth標準規格Ver. 4.1

使用周波数帯

2.4 GHz帯

リチャージャブルバッテリーパック NP-BX1



定格

3.6 V 

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

デジタルカメラ
ZV-1F

商標について

- メモリースティックおよび  はソニーグループ株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよび  はソニーグループ株式会社の商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

デジタルカメラ
ZV-1F

ライセンスについて

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
 - (ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
- なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品に含まれるソフトウェアには、GPL v2およびソースコードの提供を伴うその他のライセンス条件のもとでライセンスされたソフトウェアが含まれています。GPLv2等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。

DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限りさせていただきます。

<https://www.sony.net/Products/Linux/>

デジタルカメラ
ZV-1F

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- 1 モニターに「C/E : □□ : □□」のような表示が出たときは、「自己診断表示」の項目をチェックする。
- 2 バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。
- 3 設定リセットをする。
- 4 最新サポート情報を確認する。
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
<https://www.sony.jp/support/digitalcamera/>
メモリーカード対応表
使用可能なメモリーカードを確認できます。
“メモリースティック”対応表
<https://www.sony.jp/rec-media/memorystick/compatibility/>
SDカード対応表
<https://www.sony.jp/rec-media/sd/compatibility/>
ソフトウェアのサポート情報
<https://www.sony.jp/support/r/disoft/>
- 5 相談窓口にお問い合わせる。

関連項目

- [自己診断表示](#)
- [設定リセット](#)

デジタルカメラ
ZV-1F

自己診断表示

モニターにアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。

下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるので相談窓口にご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常です。電源を入れ直してください。

C:13:□□

- データが読めない/書けない状態です。電源を入れ直すかメモリーカードを数回抜き差ししてください。
- フォーマットしていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください。
- 本機では使えないメモリーカードが入っています。またはデータが壊れています。メモリーカードを交換してください。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きています。設定リセットしてから、電源を入れてください。

E:94:□□

- データの書き込み、消去動作不良です。修理が必要です。相談窓口にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

デジタルカメラ
ZV-1F

警告表示

エリア/日付/時刻を設定してください

- エリアと日付、時刻を設定してください。長時間使用していない場合は内蔵の充電式バックアップ電池を充電してください。

このメモリーカードは使えません フォーマットしますか？

- パソコンでフォーマットを行ったため、ファイルシステムが変更されています。[実行]を選んでフォーマットを行ってください。本機で使用できるようになりますが、カード内のデータはすべて削除されます。また、フォーマットに多少時間がかかることがあります。それでもメッセージが出る場合は、カードを交換してください。

メモリーカードエラー

- 本機では使えないカードが入っています。
- フォーマットに失敗しています。再度フォーマットを実行してください。

メモリーカードが正しく読めません メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っています。
- メモリーカードが壊れています。
- メモリーカードの端子が汚れています。

メモリーカードが ロックされています

- 書き込み禁止スイッチまたは誤消去防止スイッチのあるメモリーカードを使用し、スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。

メモリーカードが入っていないので シャッターが切れません

- メモリーカードが入っていません。
- 本機にメモリーカードを入れずにシャッターを切る場合は、[カードなしリリース]を[許可]にしてください。その際、画像は保存されません。

このメモリーカードは 正常に記録・再生できない可能性があります

- 本機では使えないメモリーカードが入っています。

表示できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像や、パソコンで画像を加工した場合は表示できないことがあります。
- パソコンで画像の削除などを行うと、管理ファイルに不整合が発生する場合があります。管理ファイルの修復を行ってください。

しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください

- 連続撮影したため、本機の温度が上がっています。本機の電源を切って、本機の温度が下がり再び撮影可能になるのを待ってから撮影してください。

(温度上昇警告)

- 長時間撮影したため、本機の温度が上がっています。



(管理ファイルフル警告)

- 本機で日付を管理できる枚数を超過しています。

(管理ファイルエラー警告)

- 本機の管理ファイルへの記録ができません。すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカードを修復してください。

管理ファイルエラー

- 管理ファイルに何らかの異常が発生しています。MENU→/▶■(撮影) → [メディア] から [ 管理ファイル修復] を行ってください。

システムエラー

カメラエラー 電源を入れなおしてください

- バッテリーを一度取り出し、入れ直してください。何度も繰り返す場合は相談窓口にお問い合わせください。

管理ファイルに不整合が見つかりました 修復しますか？

- 管理ファイルが破損しているため、動画の撮影、再生ができません。画面の指示に従い修復してください。

拡大できません

回転できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像は、拡大/回転できないことがあります。

これ以上フォルダー作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダーがメモリーカード内にあります。本機でこれ以上のフォルダーを作成できません。

関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [エリア/日時設定](#)
- [フォーマット](#)
- [カードなしレリーズ](#)
- [管理ファイル修復 \(静止画/動画\)](#)